

2020年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科
天使大学大学院助産研究科

自己点検・評価報告書

目 次

1. 教育課程	1
1) 教務委員会	1
2) 看護学科	2
3) 栄養学科	5
4) 教養教育科	12
5) 看護栄養学研究科	13
6) 助産研究科	16
2. 学生の受け入れ	18
3. 教員組織	27
4. 研究活動・研究環境	28
5. F D S D活動	31
6. 社会貢献	32
7. 国際交流	34
8. 学生生活	36
9. 就職支援	64
10. 図書館	68
11. 情報処理システム	69
12. 施設・設備	71
13. 管理運営	72
14. 財務	73
15. 事務組織	74
16. 自己点検・評価活動	75

1. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>《活動目標》 看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整を図る。 (2020年度の重点) 1. 新しい教育課程の実施にあわせ、各種の規程などを見直し整備する。 2. 成績評価にGPA制度を導入する。 3. 学修成果を把握・活用し、公表する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準4：教育課程・学習成果 ①②③④⑤⑥⑦</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) II：教育の質保証体制の構築 II-3、4、5、6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い前期授業開始が大幅に遅れたこと、また対面による授業が制限されたことにより遠隔授業（オンライン化）への移行対応など大きな影響を受けた。前例のない事態の対応に追われた一年であったが、関係部署間との連携により調整をはかりながら円滑に行われたと評価する。</p> <p>1. 各種の規程などを見直し整備する。 <基準4-③><戦略目標II-4> 「臨時教職員に関する就業規則」が改正されたことにあわせ、非常勤講師などの委嘱手順や、授業内容の見直しについて検討した。</p> <p>2. 成績評価にGPA制度を導入する。 <基準4-②・④・⑤><戦略目標II-5> GPA制度については、「GPAで履修状況を確認する」の表現では、GPAを進級・卒業の判定に活用しているとは言えないとの結論に至り、履修規程の一部を改正した。</p> <p>3. 学修成果を把握・活用し、公表する。 <基準4-⑥・⑦><戦略目標II-6> 広報委員会やFDSD委員会、IR室との連携の下、学修成果にかかる各種の情報を把握するとともに、学生へフィードバックし、次年度に向けて対外的に公表出来るよう検討した。</p> <p>4. 3ポリシーとアセスメント・ポリシーの明確化 <基準4-①><戦略目標II-3> シラバスに、DPと科目の関連が見えるような記載を行った。また、学生の自己評価アンケートおよび教員の自己評価票においてもDPの達成を評価する様式とした。アセスメント・ポリシーの策定にむけて検討委員会が発足した（学長事項）。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>次年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応として、遠隔授業を中心に授業は実施されると予想している。この中では、看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため、関係部署間の調整を図るとともに、教育課程の確実な実施と改善・充実に努めることが課題である。次の項目を重点として掲げる。</p> <p>1. 学修成果を把握・活用し公表する。 2. 内部質保証委員会、FDSD委員会、IR室等と連携した委員会活動に努め、教育課程の質の充実・向上に努める。 3. 「ポストコロナ社会」における新しい授業のあり方を検討し、必要に応じて各種の規程などを整備する。 4. 国の動向を踏まえ、看護学科および教職課程（栄養学科・栄養教諭養成）の教育課程の改善を確実に実施する。 5. アセスメント・ポリシーの策定結果を活用して、教育課程の改善・充実の方策を検討する。</p>

1. 教育課程

2) 教育課程の運営

担当： 看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラム実施:教育目標達成度の評価と可視化</p> <p>1) 2020 年改正カリキュラムの浸透と効果的運用</p> <p>2) 2022 年度施行の指定規則改正カリキュラムの申請に向けての検討</p> <p>3) 理念教育による豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実：低学年から主体的学修習慣の獲得</p> <p>1) 低学年からの学修習慣獲得に向けた支援、アクティブラーニング導入</p> <p>2) 国家試験にむけた低学年からの基礎学力、実習状況を踏まえた支援</p> <p>3) 学習や生活支援の必要な学生への対応強化のための教職員の連携</p> <p>3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり</p> <p>4. 教育指導体制の充実</p> <p>1) P D C Aに基づく学科活動の推進</p> <p>2) 教員間の協働・連携の充実</p> <p>3) 教員の過重労働、高ストレス状態の改善、教育と研究の環境を整備</p> <p>4) 学部大学院の教員体制の構築と質保証体制の構築に向けた計画立案</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4:教育課程・学修成果①～⑦</p> <p>基準6:教員・教員組織①～⑤</p> <p>基準7:学生支援①～③</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II教育の質保証体制の構築 4.特色を生かしたカリキュラムの編成・充実</p> <p>III研究業績の向上</p> <p>IV教育に関するビジョンの構築</p> <p>VI包括的な学生支援の充実</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラム実施 (基準4 ①～⑦) (II-4・5)</p> <p>1) 2020 年改正カリキュラムの浸透と効果的運用</p> <p>新カリキュラム開始年であったが、コロナ禍によるオリエンテーションや指導者会議の中止等により、十分に周知できない面もあったが、多職種連携の科目では、新カリを意図した展開ができた。内部質保証に向け、DP、カリキュラムループリックを意識した科目評価、シラバス作成を実施した。次年度以降の栄養学科と合同の新科目は担当チームで準備中である。</p> <p>2) 2022 年度施行の指定規則改正カリキュラムの申請に向けての検討</p> <p>変更申請に向けての検討は遅れているが、指定規則改正に関する情報を共有し、改正意図を踏まえて教育課程を見直し、準備を行っている。</p> <p>3) 理念教育による豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>感染予防のため新入生オリエンテーションは中止となったが、学長よりメッセージを発信した。修養会は半日に縮小したが、各学年の特徴を踏まえたテーマで企画し実施した。講義から建学の精神に繋がる学びを得、内省の場となっていた。2年次生は対面で修養会を行い戴帽式に向かったが、感染拡大で延期となり、3月16日に実施。3年に向かう意志決定の場となった。</p> <p>3年次生はZoomで実施、自己を見つめ将来のキャリアを考える機会となった。</p> <p>4年次生の修養会は、Zoomでの実施となったが、77名が出席(出席率85%)した。卒業講演と合わせ、看護専門職として自分を見つめ未来を考える機会となっていた。</p>

チャペルアワー、行事等をとおしての理念教育は難しかった。

2. 主体性を育てる学生支援の充実（基準7①～③）

2020年度卒業生は、91名。就職80名、進学9名（助産師5名、保健師4名）、就職希望なし1名である。在籍数、休学、留年の3月末の状況は、1年101名（休学→退学1名）、2年99名（休学→退学1名）、3年99名（休学3名）、4年91名である。退学者は、1年1名（進路変更）であった。

1) 低学年からの学修習慣の獲得に向けた支援

感染拡大により、入学式・オリゼミの中止、5月からの遠隔授業の開始と通常とは異なる新年度の始まりであった。新入生には、学生支援教員の電話による個別支援、Zoomによるグループ支援等の支援を行った。

- ・アクティブラーニング導入については、急な遠隔授業の始まりとなったが、予習復習課題の提示、反転授業、ミニテスト、グループワーク等各教員が工夫した。遠隔授業では、学生自身の時間管理がより重要となるが、アルバイト等で十分に学習に臨めていない状況も見られ、生活リズムを整え学習習慣を獲得できるように支援する必要がある。長時間の遠隔授業による疲労の声も聞かれる。時間割の過密を避け、予復習の時間を確保するとともに、主体的取組を促す課題の提示や授業への有効な活用、自己学習意欲を高める授業の工夫など学修習慣獲得に向けた取り組みは全体の課題である。

2) 国家試験にむけた低学年からの基礎学力、実習状況を踏まえた支援

感染状況に応じて自宅受験などの対策をとったが、模擬試験は従来どおり実施することができた。模擬試験の結果を踏まえて解剖生理の補講を依頼し、実施した。また、個別面談を実施して、学生の状況に応じ支援した。

模試の状況等から取り組みが遅く、自主的計画的に学修を進められていない状況が伺われた。1～3年を対象に、国家試験が終わった4年次生から自身の学習方法を伝える場を設定した。国家試験合格率97.8%。

3) 学習や生活支援の必要な学生への対応強化のための教職員の連携

コロナのために前期の授業開始が遅れ遠隔授業中心となった。各学年の支援教員により学生の状況を確認した。大学生活、授業への適応困難な学生も見られ支援を必要とした。経済的支援に関する情報提供を行ったが、十分に活用されない状況もあり、効果的な周知や教員も活用の学習が必要である。

3. 教員の教育・研究能力の強化と研究推進の体制づくり（基準6①～⑤）

1) 教育能力の向上（学生の準備状況に応じた教育の実施、研修会の活用）

遠隔授業の開始時には、ワーキンググループによる遠隔授業に関する情報提供、支援が、非常に有効であった。

実習指導者研修会は、感染拡大の状況から、今年度は中止とした。

2) 研究の推進体制の強化、教員の研究能力の向上

2020年度科学研究費助成事業の申請は10件で、新規採択2件、継続5件、合計8件が助成を受けている。特別研究費は6件であった。年々、科研費の採択、特別研究費の獲得が増加した。さらなる応募と研究を遂行できる時間の確保が課題である。

昨年の教育研究費の見直し案に続いて、今年度は教員評価についての提案があり、継続した議論が必要となる。教員のモチベーションをアップし、教育、研究の質の向上につながる仕組み作りが重要である。

博士後期課程在籍者は3名（継続1名、新規2名）次年度、数名が希望。

	<p>4. 教育指導体制の充実（基準6①～⑤）</p> <p>1) P D C A に基づく学科活動の推進 感染拡大による講義等の変更等大学全体の動きの中で、調整する必要があり、実習については、施設と連絡調整を行い学科としての判断を行なった。また、実習に関する感染対策ガイドラインを作成し、全学に提案した。</p> <p>2) 教員間の協働・連携の充実 感染拡大に関連する対策で教務部、学生部の業務が拡大した。学生支援教員と連携をしながら活動を行ったが、学科の体制として整備する必要がある。</p> <p>3) 教員の過重労働、高ストレス状態の改善、教育と研究の環境を整備 前期は、急な授業形態の変更、実習も遠隔となり、変更に伴う教員の負担は大きかった。また、対面授業は、感染対策のための分散授業による複数回の実施により、業務量が増大した。感染予防と遠隔授業の都合上、一定期間在宅勤務が可能となり、状況に応じて一部の教員が在宅勤務を行った。</p> <p>4) 学部大学院の教員体制の構築と質保証体制の構築に向けた計画立案 2020年度教員体制は、33名中31名で始動した。9月に講師が退職したが、次年度採用とした。1名は募集を継続していたが補充できなかった。 看護学科は現在、教授9名、准教授3名、講師9名、助教9名、欠員3名。次年度は、教授10名、准教授7名、講師10名、助教6名で開始予定。 職位や年齢構成等将来を見据え博士後期課程も視野に入れた計画的な教員配置、各教員の教育・研究実績の積み上げ、キャリアアップが必要である。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラムの実施：教育目標達成と評価の可視化</p> <p>1) D P を意識した2020年改正カリキュラムの効果的運用と評価 カリキュラムルーブリックに基づく科目目標、内容の精選、評価の実施</p> <p>2) 2022年度指定規則変更意図の理解とD P、科目目標、内容の検討</p> <p>3) 理念教育による豊かな人間性を育む教育の充実</p> <p>2. 主体性を育てる支援の充実：学習習慣獲得に向けた学習と生活の支援</p> <p>1) アクティブラーニング、I C T の活用による自主学習支援</p> <p>2) 臨床判断能力の強化のための学習方略の強化</p> <p>3) 学習や生活上の支援が必要な学生の対応強化：連絡、情報共有 一年次生の支援強化。健康状態を把握し、実習の配慮等の調整を行う。 制度等の支援教員への周知の強化、学習の機会の設定（事例検討等）</p> <p>3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり</p> <p>1) 教育能力向上：学生指導能力、アクティブラーニング等教育能力の向上</p> <p>2) 研究推進体制の強化、教員の研究能力の向上</p> <p>4. 教育指導体制の充実</p> <p>1) P D C A サイクルに基づく学科活動の推進、教員の連携・協働の強化</p> <p>2) 学部・大学院の教員体制の構築と質保証体制構築に向けた計画立案</p> <p>5. 感染対策等による教務・学務委員の業務の膨大に対応する体制づくり</p> <p>6. 教育の質保証のために教育研究推進体制の整備、教員評価の継続検討</p> <p>7. 学部から大学院までを見据えたビジョンの作成、具体的戦略の検討</p> <p>1) 教員間で将来ビジョンを語り合う場を設定し、本学の特色を生かした教育とその発信方法等を検討する。</p> <p>2) 学部から修士課程に積みの教育をアピールし進学者の増加を図る</p>

1. 教育課程
3) 栄養学科

担 当： 栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>①専門教育科目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度から新カリキュラムでの開講がはじまる。一層の充実を図る。 ・日本栄養改善学会で検討された管理栄養士コア・カリキュラムを踏まえつつ、教育効果を高める授業展開を進める。学習成果の測定、カリキュラム評価は継続して実施する。 <p>②臨地実習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨地実習施設の確保と共に、臨地実習内容・実習期間の検討を、臨地実習担当教員を中心として学科教員全体の協力体制のもと実施する。 <p>③管理栄養士国家試験受験の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策WGを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討し、合格率100%を目指す。 <p>④正課外教育である修養会や大学行事への参加率の学年差異がある状況を踏まえ、支援教員の指導による理念教育の充実を目指す。</p> <p>2. 就職支援対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職希望先が管理栄養士資格必須と必須でない場合とで多様化している。学科と就職委員会の連携強化・指導体制の充実を図り、就職率100%を目指す。 ・就職試験の受験指導対策の充実を図る。 ・公務員試験、自治体栄養職員、栄養教諭採用試験の支援・対策の充実を図る。 <p>3. 研究活動および社会・地域貢献の一環として地域連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の研究活動の充実に向けて努力する。科学研究費をはじめとする外部資金を積極的に獲得するように一層努める。また企業や団体との連携、共同研究において促進していくよう努める。 <p>4. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める。</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ③ - ⑤⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ④</p> <p>基準7 学生支援 ②</p> <p>基準9 社会連携・社会貢献②</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>Ⅱ：教育の質保証体制の構築 Ⅱ-4（1）</p> <p>Ⅲ：研究業績の向上 Ⅲ-1（4）</p> <p>Ⅳ：教育に関するビジョンの構築 Ⅳ-1（2）</p> <p>Ⅵ：包括的な学生支援対策の充実 Ⅵ-1（1）（2） Ⅵ-2（2） Ⅵ-3（2）（3）（4）</p> <p>Ⅶ：地域連携と社会貢献の促進・充実 Ⅶ-1（4）</p>
-----------------	---

<p>活動内容の評価</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い授業開始が遅れたこと、対面による授業が制限されたこと、学外関係者との面談が制限されたことにより、講義・学内実習・臨地実習にも大きな影響を受けたが、遠隔授業（オンライン化）移行や一部学内実習に移行、関係実習施設間との連携により随時調整を図りながら円滑に行われたと評価する。</p> <p>1. 正課教育、正課外教育の充実</p> <p>①専門教育科目について <u>基準4-④ 戦略目的Ⅱ-4（1）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度新カリキュラム開始年であったが、コロナ禍によるオリエンテーションや会議の中止等により十分な周知はできなかった。 ・1年次の「人間形成とキャリアデザイン」などの科目では、新カリを意図した展開ができた。 ・DP、カリキュラムルーブリックを意識した科目評価、シラバスの作成を実施した。 <p>②臨地実習について <u>基準4-③④ 戦略項目Ⅵ-3（4）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため、実習施設の確保は困難を極め、文科省・厚労省合同通知に基づき、一部の学生は臨地実習に相当する学内実習となった。そのような状況下でも、新規開拓、あるいは再開要請にて実習先を確保できた例もあった。臨地実習施設の確保と共に、臨地実習内容・実習期間の検討をし、臨地実習担当教員を中心として学科教員全体の協力体制のもと実施された。 <p>③管理栄養士国家試験受験の支援について <u>基準4-⑦ 戦力項目Ⅵ-3（3）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家試験対策WGを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討した。コロナ禍のため、一部自宅受験となったが、業者模擬試験は従来どおり実施することができた。また、対策講義はGoogle Classroomを利用して実施した。4年次支援教員による個別指導も対面に加えて電話やZoomも併用して実施した。 <p>④学内にて修養会は実施し、学外講師、支援教員の指導による理念教育の充実を図った。</p> <p><u>基準7-②</u></p> <p>2. 就職支援対策の充実 <u>基準7-② 戦略項目Ⅵ-3（2）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。2月16日現在の内定率78.2%（前年度74.7%）、公務員関係では札幌市2名、旭川1名、栄養教諭採用登録者は8名であった。 ・卒業生1名が天使大学大学院博士前期課程に入学した。 <p>3. 研究活動および社会・地域貢献の一環として地域連携の推進</p> <p><u>基準9-② 戦略項目Ⅲ-1（4）、Ⅶ-1（4）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費3件の採択、新規で日本医療研究開発機構での共同研究を行っている。 ・道民の課題を解決するための共同プロジェクトとしてHTB、イオン北海道との「どうみん健康化計画プロジェクト」を立ち上げへの協力と実施。 <p>4. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める</p> <p><u>基準5-④</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者増の対策は今年度コロナ対策が優先され特に検討まで至らなかったが、2021年度の入学試験では受験者が増加した（入試広報からは隔年現象があるとの情報あり）。
<p>次年度への課題</p>	<p>次年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から、多方面での活動制限が見込まれるが、学科教員全体の協力体制のもと教育の改善と充実に努めることが重要である。</p> <p>1. カリキュラムの充実を図るために、2020年度から開講された新カリキュラムの完成年度に向けた評価を行う。</p> <p>2. 将来ビジョンに向けては、学部から大学院博士後期課程までを見据えたビジョンの</p>

	<p>作成、具体的戦略の検討を行う。</p> <p>3. 臨地実習施設の確保と共に、臨地実習内容・実習期間の検討を、臨地実習担当教員を中心として学科教員全体の協力体制のもと実施する。担当教員の実習遂行に関わる時間数の把握を行い、業務量を明確にする。</p> <p>4. 国家試験対策WGを中心として支援教員の学習指導、学科教員による対策講義および専門業者等による対策について検討し、合格率100%を目指す。</p> <p>5. 学科と就職委員会の連携強化・指導体制の充実を図り、就職率100%を目指す。</p> <p>6. 教員の研究活動の充実に向けて努力する。科学研究費をはじめとする外部資金を積極的に獲得するように一層努める。また企業や団体との連携、共同研究において促進していくよう努める。</p> <p>7. 天使大学栄養学科への受験者増に向けた対策について学科で検討を進める。そのためには、「高校生にとって魅力ある大学」へ向けての課題整理を行う。</p>
--	---

1. 教育課程

3) 栄養学科－教職課程

担 当： 教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を実施する。 2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。 3. 栄養教諭免許状更新講習を実施する。 4. 教職課程の自己点検・評価等を検討する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準3 教育研究組織－②、 基準4 教育課程・学習成果－②～⑦ 基準5 学生の受け入れ－①、基準6 教員・教員組織－②、④ 基準7 学生支援－①～③、 基準9 社会連携・社会貢献－②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) 戦略目標Ⅱ－3(3)、 戦略目標Ⅳ－3(5)、 戦略目標Ⅶ－1(6)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 栄養教諭養成のための教育を実施 <基準4－②～⑦> <基準7－①～③> 戦略目標Ⅳ－3(5)</p> <p>1) 現場の栄養教諭による授業(講演)の実施(4年次生対象) * 4年次生対象に3回の特別講師による授業を実施し、教員としての自覚を高めた。</p> <p>2) 外部との連携による教育の充実 <別紙1参照></p> <p>①北海道大学での農場体験 ・農作物の収穫、田植え、稲刈り、官能評価など(1年次生対象) * コロナ禍のため、全ての農場体験が中止を余儀なくされた。</p> <p>②小学校での夏休みインターンシップ体験 ・連携学校:札幌市立の美香保・新琴似・北光小学校(2年次生対象・正課外) * コロナ禍のため、全ての学校での実習が中止を余儀なくされた。</p> <p>③学外での栄養教育体験・ボランティア活動 ・教職総合演習、教職実践演習(3・4年次生対象)等 ・小学校授業参観(1年次「教職概論」、札幌市立小学校1校) ・中学校授業参観(3年次「教職総合演習」、札幌市立中学校1校) ・学校給食センター参観(3年次「教職総合演習」) * コロナ禍のため、全ての体験活動が中止を余儀なくされた。代替として、教職実践演習では、ICTを活用した栄養教育動画の作成を行い、学生の感想から学習効果が高かったことが確認できた。</p> <p>3) 履修カルテ活用の充実 ・履修カルテ活用の点検・充実 * 7月に Google Classroom で1年次生に履修カルテの記入・活用のガイダンスを実施。1月に全学生の記入状況を点検した。また、12月～1月に3年次生対象に履修カルテを活用した面接を行い、4年次生の教職実践演習では履修カルテを活用した授業を行った。</p> <p>4) 教員採用試験対策ゼミの実施 <別紙1参照></p> <p>・教員採用試験ガイダンスⅡ(4月、4年次生対象、27名に資料送付) ・1次直前ゼミ(5月、4年次生対象、3日間、22名に資料送付) ・2次直前ゼミ(7～8月、4年次生対象、6日間、12名参加) ・教員採用試験ガイダンス(12月、3年次生対象、1日間、19名参加) ・春期ゼミ(2月、3年次生対象、4日間、20名参加)</p>

* 教員採用試験ガイダンスⅡ、1次直前ゼミは、コロナ禍のため資料を郵送して質問に対応した。それ以外の令和3年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援等は、外部講師を含めて対面形式で予定通り実施した。

* 1次合格者12名中6名が採用登録。本学現役受験者の合格率は42.9%、合格者全体の現役学生の占有率は28.6%であった（前年度は現役8名が登録、合格率67%、占有率42%）。

2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援 <基準5-①>

・ 教職課程科目の履修を希望する科目等履修生の受入れと支援

* 本学の卒業生と他大学出身者を1名ずつ、計2名の受け入れを行い、実習先を確保するとともに、3科目（計5単位）を認定した。

3. 栄養教諭免許状更新講習を実施

<基準9-②> 戦略目標Ⅶ-1(6)【別紙2参照】

・ 栄養教諭を対象とした講習を実施

・ 小、中、高等学校教員を対象とした講習を実施

* 文部科学省からの要請を受けて、2019年度と同様に3科目を3日間で計画し、新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮しつつ、円滑に運営した。なお、免許状更新講習の有効期間延長の特例措置により、受講者総数は20名と昨年度の74名から大幅に減少した。

* 多くの受講者からは、講習内容が概ね良好との評価が寄せられた。

講習名	講習日	参加者数
「みること」をいかして引き出すアクティブ・ラーニング	8月5日	4名
学校で役立つ食物アレルギーの知識とアレルギー対応	8月6日	13名
児童・生徒のエネルギー摂取量と味覚教育	8月7日	3名

4. 教職課程の自己点検・評価等の実施

<基準3-②> <基準6-②、④> 戦略目標Ⅱ-3(3)

1) 教職課程FD研修会の実施

・ 実施日時：2021年1月29日14:50~16:00

・ 出席者：34名（教職課程に関わる専任教員・非常勤講師・職員8名、学生17名、その他の本学教員9名）

・ 講師：札幌市教育委員会教職員育成担当課 研修担当係長 伊藤 猛 氏
札幌市教育委員会保健給食課 栄養指導担当係長 竹腰 恵 氏

・ 演題：「札幌市における栄養教諭の教員育成指標と教員育成機関への期待」

* 栄養教諭の教員育成指標の解説とともに、札幌市が期待する教員像の説明もあり、教員のみならず学生にとっても大変有益な研修会となった。

2) 自己点検・評価の実施と評価結果の公開

・ 2月上旬~下旬に教職課程の2~4年次学生と教職員を対象とした自己点検・評価を実施した（回答数：2年次10名、3年次15名、4年次17名、教職員9名）。

・ 評価結果を3月11日の委員会で分析し学長に報告するとともに、4月中に本学ホームページで公開を予定している。

<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養教諭養成のための教育を円滑に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4年次生の人数増加に対応した授業内容等の改善を行う。 ・ 教職課程委員会業務の円滑な実施と分担の均一化を図る。 2. 科目等履修生の栄養教諭免許状取得を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 科目等履修生への指導・支援を強化する。 3. 栄養教諭免許状更新講習を円滑に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭が3日間参加できる講習内容を確実に実施する。 4. 教職課程の自己点検・評価、FD研修会等を確実に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己点検・評価の結果を教職課程の質保証・向上に役立てる。 ・ 教職課程の第三者評価について調査・検討する。 5. ICTに関する内容充実のために教育課程を改善する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICTに関する科目について教育課程を見直し新設科目の導入を検討する。 ・ ICTに関する内容を充実するため該当科目の内容を改善する。
----------------	---

2020年度 教職課程委員会の行事等一覧

<別紙1>

<2020.4.9 教職課程委員会決定>
<2021.2.18 同 実施状況報告>

区分名	期日	時間	行事名	対象者など	担当者1	担当者2	備考
ガイダンス	4月20日(月) 5月8日(金)	12:50~13:30	栄養教諭教職 ガイダンス	1年次生	松下		希望者:新入生オリエンテーション内 ●GCで実施
	4月14日(火) 5月12日(火)	13:10~13:30	教職課程履修の手引 ガイダンス	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内) ●GCで実施
	7月21日(火) 8月18日(火)	14:00~14:20	履修カルテの活用・記 入方法ガイダンス	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内) ●GCで実施
栄養教育 実習	5月25日(月) ~6月5日(金)	●9月28日(月) ~12月11日 (金)に変更	栄養教育指導の 巡回指導	4年次生	教職課程委員全員 +栄養学科教員		科目責任者:松下 事務業務:高山
北大関係 ●全て中止	5月30日(土)	9:30~11:30	田植え	1年次生	新井	松下	土曜開講日、午後授業
	7月14日(火)	13:10~14:10	収穫体験1	1年次生	新井		教職概論受講者(授業内)
	8月27日(木)	9:30~11:30	収穫体験2	1年次生	新井		
	#	11:40~14:00	調理実習	1年次生	松下・ 高桑	長谷川	学内の実習室
	9月9日(水)	15:10~17:10	搾乳体験	1年次生	新井	松下	
	9月19日(土)	9:30~11:30	稲刈り	1年次生	新井	長谷川	大学院入試
	11月初~中旬	12:15~13:00	お米の味くらべ	1年次生	長谷川	松下・ 高桑	お米料理教室の前の週
	11月14日(土)	10:30~13:30	北大生のお米料理教室	北大1~4 年次生	長谷川	松下・ 高桑	学内の実習室、4年次生補助 北大への連絡:新井 土曜開講日
インターン シップ ●全て中止	8月31日(月) ~9月11日 (金)のうちの1 週間	8:30~15:30	学校インターンシップ	2年次生	新井・ 長谷川	高山	・4月下旬学校訪問 ・5月初旬:2次調査 ・5月中旬:学校決定 ・6月初旬:依頼文書発送 ・実習中:学校訪問
教員免許制 更新講習	8月5日(水)	9:00~17:00	教員免許制更新講習	教諭全般	鹿内・講師	受付等: 委員	事務業務:高山
	8月6日(木)	9:00~17:00	教員免許制更新講習	教諭全般	武蔵・ 志賀		
	8月7日(金)	9:00~17:00	教員免許制更新講習	栄養教諭	山口・ 長谷川		
教員採用 対策	4月21日(火)	17:00~17:30	教員採用試験 ガイダンスⅡ	4年次生	高山	新井	・東京アカデミー講話資料:新井説明 ・依頼:学務課西村、願書配布・説明:高山 ●資料を郵送し質問に対応
	5月19日(火)	15:00~17:00	1次直前ゼミ	4年次生	新井		●資料を郵送し質問に対応
	5月20日(水)	10:00~12:10	1次直前ゼミ	4年次生	新井		●資料を郵送し質問に対応
	5月21日(木)	10:00~12:10	1次直前ゼミ	4年次生	新井	松下	●資料を郵送し質問に対応
	6月29日(月)	18:10~18:50	自己採点・教員採用 2次ガイダンス	4年次生	新井	松下	・自己採点シート手配・送付:学務課西村 ・2次対策資料配付:新井 ●自己採点は遠隔、資料は予定通り配布
	8月3日(月)	10:00~12:10	2次直前ゼミ	4年次生	教職課程委員全員 +栄養学科教員		計画の確定は、7月31日の1次合格発表 後、定期試験日
	8月4日(火)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			8月5日(水)=(定期試験日&教員免許制講 習日)を予備日とする。
	8月6日(木)	9:00~12:10	2次直前ゼミ	4年次生			●1次発表が8月7日(金)で変則の対応 をする。
	8月24日(月)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			再試験日
	8月25日(火)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			再試験日
	8月26日(水)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			再試験日
	12月11日(金)	15:30~16:25	教員採用試験 ガイダンス	3年次生			新井
	2月初旬~2月 中旬の4日間	10:00~12:10	春期ゼミ	3年次生	新井	長谷川	●時間割の関係で、1月25日、2月1日、 5日、12日の4日間を実施した。

※1: 北大関係は、北大に打診して確定済である。

※2: 教職実践演習・教職総合演習の行事は省略したが、新米フェアは、10月17日(土)・18日(日)である(確認済)。

※3: 教員採用対策は、2020年度の実施要項に準じた日程である。2次直前ゼミの一部は定期試験日と重複し学生の数も多い。

1. 教育課程

4) 教養教育科

担 当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 初年次教育関連 (1) 英語：習熟度別授業を実施し、各学生の英語力にあった指導を行うことで学生一人一人の英語力の増強を図る。 (2) 共通基礎科目：高等学校の教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。 (3) 専門基礎科目との連携：新しい教育課程の下、効果的な連携を目指す。</p> <p>2. 学外研修関連 教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</p> <p>3. その他 その他、昨年度の状況を踏まえ、教養教育科の活動を充実させる。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準3 教育研究組織 ①② 基準4 教育課程・学修成果 ③～⑧</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>IV-1 (3)、VII-3 (1)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 初年次教育関連 (入学前教育・導入教育を含む) ◎ 英語：プレイスメントテスト及び到達度テストはコロナ禍のため実施できなかった。プレイスメントテストの代わりに、英語のクラス分けは、高校における英語の評定値やセンター試験 (英語) 及び一般入試 (英語) の得点等を参考に実施した。例年実施している到達度テストは最終評価の20%を占めているが、本年度は実施できなかったため、最終評価は各教員に100%委ねた。 ◎ 共通基礎科目： ○ 化学・生物学… 例年通り、化学基礎・生物基礎・有機化学の問題集を12月初旬に配布し自学自習を促すとともに、推薦入学予定者には問題集の答案を提出させ、2月中旬に添削して返却した。 予定していた診断テストを実施できなかった。代わりに、化学 (基礎・発展) のクラス分けは、高校における化学の履修の有無と、化学、化学基礎の評定値、理科全体の評定平均値を用いて実施した。 ○ 基礎学修演習… 遠隔授業に対応して授業をおこなった。 専門教育科目との連携：(未実施)</p> <p>2. 学外研修関連 新型コロナウイルス感染症の流行により集会等は中止となった。</p> <p>3. その他 学園中期計画および、客観的指標調査などを踏まえ、今後の教養教育科のあり方について検討を始めた。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 初年次教育関連 (入学前教育・導入教育を含む) を継続する。 2. 学園中期計画および、客観的指標調査などを踏まえ、今後の教養教育科のあり方について検討を進める。</p>

1. 教育課程

5) 看護栄養学研究科

担 当： 看護栄養学研究科

本年度の活動目標	<ul style="list-style-type: none">1. 将来構想<ul style="list-style-type: none">・学部卒業生の進学機会の拡大に向けた大学院体制の検討（教員体制、課程・分野・コースの拡大）・看護栄養学研究科としての特色の明確化 課程毎の学位授与の方針、教育課程の編成・実施方針と学生の受け入れ方針を作成し公表している。この内容を課程の特色として分かりやすく広報していくことを検討する。・教育課程のP D C Aサイクルの確立 評価方法を明確化し、学習成果を効果的に測定する体制づくりを行う。2. 教育課程<ul style="list-style-type: none">1) 新カリキュラムの検討<ul style="list-style-type: none">・共通科目の内容・展開等の見直し・大学院の時間割運営2) 教務等の委員会や職員体制の検討3) ディプロマ・ポリシーに明示した学修成果についての適切な把握および評価について検討する。3. 大学院生定員確保のための対策<ul style="list-style-type: none">1) 入試科目・学費の見直し2) 大学院の広報活動（広報委員会、入試広報室との連携）<ul style="list-style-type: none">・大学院ホームページの見直しと充実（専攻分野等の紹介）・大学院説明会の実施、公開授業、特別講義等の実施・オープンキャンパスでの大学院のPR、大学院ブースの設置、大学院生の活用・ホームページに大学院に関する記事の掲載・大学院生募集のPR（大学院看護栄養管理栄養学専攻の案内送付）・実習指導者会議、実習巡回時等の機会を活用してのPR、大学院案内、募集要項の配布等・学部生の進学支援の推進。奨学金制度の拡充案の策定と他大学院の情報収集。3) 学部生に対する大学院進学に対する意識づけ<ul style="list-style-type: none">・大学院説明会の開催など・学部生と大学院生、修了生との交流4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援<ul style="list-style-type: none">1) 院生PCソフトのバージョンアップ、院生学習室の備品等の購入2) 本学で使用しているWeb会議システム「LiveOn」ASP版（ジャパンメディアシステム株式会社、東京）を活用した授業・単位認定の栄養管理栄養学専攻での実施と看護学専攻での検討3) 職業実践力育成プログラム認定制度（文科省）の申請の検討5. 教育実践・研究活動<ul style="list-style-type: none">1) 看護栄養学研究科としてのFDの企画・運営2) 看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上3) 両専攻の協働研究・協働事業の検討
----------	---

	<p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準4 教育課程・学修成果 ①-⑦</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①-④</p> <p>基準7 学生支援 ①-③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-3 3ポリシーとアセスメント・ポリシーの明確化 (1) (2)</p> <p>II-4 特色を生かしたカリキュラムの編成・充実 (1)</p> <p>II-5 学修成果の可視化 (4)</p> <p>II-6 FD・SD活動の充実、強化 (1)</p> <p>IV-1 学部・大学院の将来ビジョンの再構築 (4)</p> <p>V-1 学生の受入れ拡充 (3)</p> <p>V-2 入学者選抜への対応 (4)</p> <p>VI-1 学生支援策の充実 (2) (3)</p> <p>VI-3 キャリア支援の充実・強化 (1) (2)</p> <p>VII-1 地域との連携 (5)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2020年度は看護学専攻修士課程8名(保健師コース7名、ホスピス緩和ケアCNSコース1名)が修士(看護学)を取得した。栄養管理学専攻は博士前期課程1名が修士(栄養学)と栄養教諭専修免許を取得した。また、がん看護専門看護資格試験に過年度生を含め3名合格した。</p> <p>活動目標に対する評価を次に示す。</p> <p>1. 将来構想(将来ビジョン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理学専攻においては来年度に向けて所属教員を3名増やし、教員体制を強化する。栄養管理学専攻は社会人向けの制度充実を図ってきた。これに加えて学部生に魅力ある大学院について、さらに検討していく必要がある。 ・看護栄養学研究科としての特色の明確化については、3つのポリシーを作成し、これに基づいた教育の推進を今後も継続する。 ・教育課程のPDCAサイクルの確立については、内部質保証推進委員会と連携し、2021年度も継続し体制整備を行う。 <p>2. 教育課程</p> <p>1) 新カリキュラムの検討</p> <p>保健師コースの新カリキュラム検討に合わせ、共通科目の内容・展開等の見直しを行っている、2021年度5月に完成を目指す。2021年2月の看護学専攻定例会議で原案が提示された。</p> <p>2) 教務等の委員会や職員体制の検討</p> <p>栄養管理学専攻においては来年度に向けて所属教員を3名増やし、教員体制を強化する。これにより委員会活動の強化、学部学生への大学院周知の拡大等の効果が期待できる。看護学専攻においては、これまで学部の委員会に相当する担当者が決まっていなかったため、担当者を割り当てて専攻の活動を進めやすくすることにした。</p> <p>3) ディプロマ・ポリシーに明示した学修成果についての適切な把握および評価について。リサーチルーブリックの作成を行い、次年度はそのブラッシュアップと、アセスメント・ポリシーの作製を行う。</p>

	<p>3. 大学院生定員確保のための対策</p> <p>1) 入試科目・学費の見直し</p> <p>今年度は入試科目の見直しは行わなかったが、入試の過年度問題を公開し、受験者に配慮した。学費は今年度から本学卒業生を主とし減額措置を実施した。</p> <p>2) 大学院の広報活動（広報委員会、入試広報室との連携）</p> <p>今年度はコロナ禍の影響で活動の制限があったが、以下の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学部生を対象に大学院進学への意識づけのために説明会を、Zoom ミーティングで実施した。看護学科 7/3 は Zoom により実施し 11 名（4 年生 2 名、3 年生 9 名）1/27 は対面で実施し 9 名（3 年）であった。栄養学科 7/20 12 名（1 年 8 名 2 年 4 名）、7/28 9 名（3 年 6 名 4 年 3 名）の参加であった。 ・2021 年度入試結果、看護学専攻は修士課程に保健師コース 2 名、ホスピス緩和ケアコース 2 名、計 4 名が合格した。栄養管理学専攻は博士前期課程に 1 名、博士後期課程に 1 名が合格した。 ・看護学専攻で、本学の 13・14・15 回生を対象に保健師コースを紹介するチラシを郵送した。 <p>4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <p>今年度はコロナウイルス感染症対策を行いながら、院生室の使用認めることとした。備品の購入・ソフトウェアのアップデートについては SPSS 3 台の購入を行った。コロナ禍の影響で栄養管理学専攻の院生研究が、滞る事態が生じ、これの救済措置として、修了年次における長期履修制度への切り替えを認める特別措置を実施した。</p> <p>5. 教育実践・研究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科としての F D 第 1 回（看護学専攻担当）1/19「ケア・いのち・エスノグラフィー」北海道大学大学院文学研究院 小田 博志 教授の講演は 32 名（学内教員 26 名、院生 6 名）の参加があった。第 2 回（栄養管理学専攻担当）3/3「カリキュラム評価研修」大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部 佐藤 浩章 准教授の講演は学内教員 23 名の参加があった。 ・看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上と両専攻科の協働研究・協働事業の検討は進展がなかった。今後も継続して検討を行う事とする。 ・栄養管理学専攻の演習科目でもある天使健康栄養クリニックについて、栄養学科の天使健康栄養クリニックスタッフで、「天使健康栄養クリニックのあり方検討」として取りまとめ、研究科長から学長へ提出された。これは教育研究評議会に報告事項として付議され、次年度全学的に検討することとなった。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大。 2. 内部質保証システム整備のための実質的な検討として、教育課程の P D C A サイクルを確立する。 3. アセスメント・ポリシーの専攻毎の検討と策定を早急に行う。学位授与方針に明示した学修成果についての適切な把握および評価について検討する。 4. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の業務軽減のための方策検討 5. カリキュラムについて、看護学専攻では指定規則の改正に伴い、2022 年度に向けて新カリキュラムを検討する。また、栄養管理学専攻においても、カリキュラムの評価・検討を行う。 6. 看護学専攻では、論文コース、保健師コース、高度実践看護師コースの 3 コースが明確にわかるように、配布物や HP の整備に取り組む。

1. 教育課程

6) 助産研究科

担 当：助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 実習施設の安定的な確保 2. 教員の実習指導体制の見直しと検討 3. ルーブリック評価の活用拡大 4. カリキュラムの見直しと新カリキュラムの検討</p> <p>(助産評価機構)</p> <p>2章 教育課程</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準1-①</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-4-(1)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>※カリキュラム運営：新型コロナウイルス感染拡大の影響で、時間割変更があり、授業形態も4月から6月までの3ヶ月間は、遠隔（Zoom）授業のみ。7月からは、遠隔授業と対面授業が半々の形態であった。遠隔授業のために、自己学修課題の「学習ガイド」と必読教科書を郵送し、遠隔授業開始までに、自己課題が終了できる体制をとった。例年なら4月から5月の2ヶ月間で集中講義をしていたマタニティサイクル助産ケアⅠ（妊娠期）、マタニティサイクル助産ケアⅡ（出産期）、マタニティサイクル助産ケアⅢ（産褥・新生児期）が、前期に予定していたマタニティサイクル助産ケア基礎実習が大学の方針で中止になったため、週1～2コマの進捗で授業展開ができ、院生の事前学習、事後学習に時間的余裕をとることができ、学修効果が上がった。</p> <p>1. 実習施設の安定的な確保</p> <p>①マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、前年度に新規施設を3施設確保できていたが、コロナ禍で、大学方針として、実習を中止とした。そのため確保した新規3施設での実習はできなかった。基礎実習は学内実習に変更した。</p> <p>②マタニティサイクル独立助産実習は実習施設が神奈川県と東京都であった為、緊急事態宣言が発出され実習中止となった。実習施設は確保できていた。</p> <p>③マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰは4施設のうち、1施設が実習開始1週間で実習中止。もう1施設は6週間で実習中止となった。中止となった実習施設の院生は、天使病院で実習（産褥・新生児期2事例のみ）ができたが、出産期の目標数の4割しか達成できず、次年度に6割の分娩介助補習実習をする必要がある（国家試験受験要件確保のため）、出産数の多い実習施設確保が必須である。</p> <p>④マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱは、前年に統合実習Ⅰを行った施設4か所で19名全員が目標（2週間）達成できた。</p> <p>⑤国際助産学実習はコロナの影響で、海外実習は中止となり、それに代わるオンライン研修（4回）、特別講師による講演で、実習目標達成に近づけた。次年度はコロナ状況を見ながら、場所、時期、期間等の検討が必要。</p> <p>⑥性教育実習は例年実施しているミッション高校でピュアエデュケーションを2クラスに実施し、目標達成した。次年度も同校より依頼を受けた。</p> <p>2. 教員の実習指導体制の見直しと検討</p> <p>唯一できた統合実習Ⅰでは、地方の2実習施設がコロナ影響で途中で実習中止になった</p>

	<p>ため、市内の実習施設に教員2名を追加配置し、他の2名を学内実習担当に追加することで、複数教員が学生指導に対応でき、実習指導効果向上につながった。また、学内業務の時間も確保できた。</p> <p>3. ルーブリック評価の活用拡大</p> <p>マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲは、学内実習に変更したためルーブリック評価表も修正した。マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰは、形成評価を行い、自己課題を明確にして統括評価へ繋げた。</p> <p>しかし、統合実習Ⅰについては実習内容・目標達成にバラツキがあり、ルーブリックによる評価基準判定は難しいと判断し、「可否」の評価としたが、院生の自己評価、教員評価はルーブリックの評価規準を活用する。</p> <p>4. カリキュラムの見直しと新カリキュラムの検討</p> <p>新カリキュラム検討のプロセスとして、①全国助産師教育協議会の将来構想委員会主催の大学院コア・カリキュラム研修会を5回 Zoom で視聴。</p> <p>②新カリキュラム指定規則と授業内容の確認。③大学院コア・カリキュラムと授業内容の確認。④日本助産師会コア・コンペテンシーと授業内容の確認。⑤ICM コア・コンペテンシーと授業内容の確認。⑥カリキュラム MAP による科目配置検討。⑦科目および単位検討。</p> <p>⑦新カリキュラム変更申請書作成。</p> <p>定員見直しについては、次年度に持ち越す。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎分野院生の実習施設開拓（特に出産期実習の施設）。 2. 助産師養成所指定規則変更に伴うカリキュラムの見直し、科目内容の検討。定員見直し。 3. メンターシップによる院生支援の充実。 4. 教育指導体制の充実。 5. 教員の教育・研究能力の推進と体制づくり。

2. 学生の受け入れ

担 当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 各種入学者選抜について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。</p> <p>2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学者選抜制度と内容について検討を継続する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>V-1、V-2、VI-4、VIII-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>【活動目標に対する評価（総評）】</p> <p>入試委員会では、以下の改善を行い、2021年度入学者選抜においては、試験・採点・合否判定・発表を公正かつ適正に進め、大きなミスなどもなく終了することができた。</p> <p>各選抜当日は、主に新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、不測の事態が起こっても対応できるように事前に、学長、入試委員会、入試・広報室の連携の下で準備を行い、リスクを回避した。</p> <p>また、懸案となっていた予備問題の制作についても今年度実現させた。</p> <p>【改善事項等】</p> <p>1. 2021年度入学者選抜に関する改善点は以下のとおり。</p> <p>① 志願者が、アドミッション・ポリシーや入試概要などの情報を入手しやすくするため公式ホームページに入学者選抜関連資料（大学案内、学生募集要項、各種入試広報資料）をまとめたページを作成した。（基準5-①）</p> <p>② 文部科学省の方針が決定した後に、本学の入学者選抜制度について迅速に機関決定をし、道内大学の中で最も早く学生募集要項を発行した。（基準5-①）</p> <p>③ すべての選抜において「学力の3要素」を評価する選抜制度への改正を進めてきたが、新型コロナウイルス感染の影響により、一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜の個人面接試験の実施を見送ったため、結果的に学校推薦型選抜のみで実施した。</p> <p>なお、「学力の3要素」の評価方法については学生募集要項に掲載した。（基準5-①）</p> <p>② 中期V-2（2）</p> <p>④ 2021年度から学校推薦型選抜において「学力の3要素」を評価するために、指定校制の試験科目として小論文試験を追加し、さらに指定校制・公募制の共通事項として主体性評価等に使用するための活動報告書（概要）を志願者全員に提出させ、個人面接試験の資料として活用した。（基準5-② 中期V-1（1））</p> <p>⑤ 学校推薦型選抜において、面接試験を午前・午後に分け受験生を分散するように実施した。小論文試験を午後実施したため、当日に行う採点時間は例年より少なくなったが予備の日程を確保し対応できるようにした。なお、小論文試験の採点基準について点検・評価を行い改善できることがあれば見直すこととした。（基準5-②）</p> <p>⑥ 学校推薦型選抜、社会人選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜の選抜方法（合否判定方法）を各々、学生募集要項へ掲載した。（基準5-②）</p>

	<p>⑦ 志願者が、新型コロナウイルス感染症等に罹患しても受験の機会を失わないよう各選抜に特例追試験日を設けた。(基準5-② 中期V-2 (2))</p> <p>⑧ 各選抜の志願者に向けて新型コロナウイルス感染予防への要請等を公式ホームページから行った。(基準5-② 中期V-2 (2))</p> <p>⑨ 不測の事態を想定し、各選抜における予備の教職員を昨年以上に配置した。(基準5-② 中期V-2 (2))</p> <p>⑩ 大学入学共通テストにおいては、様々な変更点がある中で、藤女子大学試験場の責任大学としてリーダーシップを発揮して3大学の試験場本部員を束ねた。 また、大学入学共通テストを含む本学が実施したすべての入学者選抜においては、文部科学省のガイドライン等に則り、試験の運営及びコロナ対策を実施し、いずれも不備なく終了することができた。 体調不良者への対応マニュアルの作成、試験問題の仕分け作業の改善なども行った。(基準5-② 中期V-2 (2))</p> <p>⑪ 一般選抜における出題ミスの防止対策として、問題作成及び校正スケジュールを早め、第三者機関による点検後に問題を修正する時間を昨年度よりも長く確保した。(基準5-④ 中期V-2 (2))</p> <p>⑫ 特例追試験が行われることを想定し、毎年の課題であった予備問題を作成した。今後の課題として、取扱い等を定めることとした。(基準5-④ 中期VII-6 (3))</p> <p>⑬ ソーシャルディスタンス、不正防止、問題訂正の3つの条件を満たす方法を模索して、各試験室の座席を配置した。(基準5-②、④ 中期VII-6 (3))</p> <p>⑭ その他、各種入学試験に関するアンケートを教職員対象に実施し、その結果等をもとに入試委員会で検討し、改善を続けている。(基準5-②、④ 中期V-2 (2))</p> <p>2. 中期的課題への取り組み</p> <p>① WEB 出願の検討に向けた情報収集(目的、費用、成果等)を引き続き行った。情報収集を行った結果、教務や就職関係にも関わる内容なため他部署との意見交換を働き掛けていく。(基準5-④ 中期V-2 (3))</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜において、特例追試験及び面接試験を実施するか検討する。</p> <p>2. 一般選抜において作成した予備問題の使用・保管方法を検討する。</p> <p>3. 学校推薦型選抜における小論文試験の採点基準を点検し見直す。</p>

2. 学生の受け入れ

担 当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>目標 1. 入学志願者数及び入学者数の安定的確保 目標 2. 入学者の学力的質保証 目標 3. 内部質保証のための P D C A の循環</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 5 学生の受け入れ ② ③ ④ (改善課題・是正勧告) 改善課題No.3 (2018 年度認証評価 基準 5)</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項目の基準番号等記入欄) 戦略目標 V-1. 学生の受入れ拡充 (2) (3) 【大学基準協会の点検・評価項目と広報委員会目標との対応表】</p> <table border="1" data-bbox="483 669 1372 891"> <thead> <tr> <th>大学基準協会の点検・評価項目</th> <th>広報委員会活動目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準 5 ②</td> <td>目標 1・2</td> </tr> <tr> <td>基準 5 ③</td> <td>目標 1</td> </tr> <tr> <td>基準 5 ④</td> <td>目標 3</td> </tr> <tr> <td>改善課題No.3</td> <td>目標 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中期計画戦略目標と広報委員会目標の対応表】</p> <table border="1" data-bbox="483 934 1372 1066"> <thead> <tr> <th>中期計画戦略目標に該当する項目</th> <th>広報委員会活動目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戦略目標 V-1 (2)</td> <td>目標 1</td> </tr> <tr> <td>戦略目標 V-1 (3)</td> <td>目標 1</td> </tr> </tbody> </table>	大学基準協会の点検・評価項目	広報委員会活動目標	基準 5 ②	目標 1・2	基準 5 ③	目標 1	基準 5 ④	目標 3	改善課題No.3	目標 1	中期計画戦略目標に該当する項目	広報委員会活動目標	戦略目標 V-1 (2)	目標 1	戦略目標 V-1 (3)	目標 1
大学基準協会の点検・評価項目	広報委員会活動目標																
基準 5 ②	目標 1・2																
基準 5 ③	目標 1																
基準 5 ④	目標 3																
改善課題No.3	目標 1																
中期計画戦略目標に該当する項目	広報委員会活動目標																
戦略目標 V-1 (2)	目標 1																
戦略目標 V-1 (3)	目標 1																
<p>活動内容の評価</p>	<p>【大学基準協会点検・評価項目 基準 5 ②関連】 <<目標 1・2 関連>> 1. 教職員参加型の広報活動 ①オープンキャンパス (OC)、進学相談会、校内ガイダンス・・・例年全員参加を原則にしているが、今年度はコロナ禍につき一部の教職員に限定した。 ②模擬授業 (学内外)・・・教員 ③高校訪問・・・職員 ④併設大学院説明会 (本学学生対象)・・・各専攻教員 2. 教職員等との情報共有 本学の OC 参加者数、模擬試験の希望者数を基にした分析情報を共有 ①学長、研究科長、学科長、部長、事務局管理職との共有・・・教育研究評議会 ②教職員との共有・・・広報活動勉強会 (コロナ禍による資料配付のみ) 学校推薦型選抜全体説明会 (志願状況分析報告) 3. 情報収集及び情報発信システムと管理体制 ①教職員への学内情報提供の依頼及び発信 (コロナ禍の活動情報を発信) ②日本私立看護系大学協会主催研修会「広報に活用する I R～危機管理を含めて～」へ参加 (Zoom)</p> <p>【大学基準協会点検・評価項目 基準 5 ③関連】 <<目標 1 関連>> 1. 学生数の管理 2020 年 5 月 1 日現在における看護栄養学部の在籍者数については、看護学科 391 名 (収容定員充足率 108%)、栄養学科 364 名 (105%) で、両学科ともに収容定員を適正に管理している。</p>																

大学院看護栄養学研究科については、看護学専攻が16名(57%)、栄養管理学専攻が10名(83%)と収容定員を満たしていない。

【大学基準協会点検・評価項目 基準5 ④関連】《目標3関連》

1. 内部質保証(点検評価)に向けたデータ整理・活用

次の活動評価指標を整理し、データを蓄積して、改善につなげている。

- 入試データ ●新入生アンケート ●OCデータ
- OC参加者アンケートデータ(2020年度はコロナ禍で実施せず)
- 進学相談会等・校内ガイダンス相談者等集計(2020年度はコロナ禍でほとんど開催なし)
- 模擬試験データ ほか

2. コロナ禍における志願者・入学者確保のための活動

本学の内部質保証システムの一貫として、広報委員会では次年度予算案作成時及び新年度4月に活動計画書(改善計画)を作成していたが、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、当初の計画を実行するのが困難であると判断し、5月26日付で次のとおり広報活動計画を変更した。

□重点項目

(1) 受験生や高校への必要な情報提供については、ダイレクトメール(DM)などを複数回にわたり郵送で実施し、浸透を図る。

(2) OCについては、受験生の情報格差を生じさせないためにWeb型を中心に実施する。

(3) 公式ホームページ(HP)によるPRの強化を図る。

(4) 受験生や保護者、高校教員などの個別の問い合わせに対して丁寧に対応する。

(5) 学生、保護者への経済支援に関する取り組みについてもPRを強化する。

(6) 入学者選抜及びOC等についての変更は、HPで連絡することを周知する。

(7) その他

□執行状況・評価

上記の重点項目(1)～(7)について、次のとおり実施した。

(1) ダイレクトメール(DM)

①受験生向け

本学に資料請求があった高校3年生及び既卒者には6月、7月、8月、9月、12月に、高校2年生には3月に、資料やクリスマスカードを送付し、大学案内パンフレット、学生募集要項、OC案内等の情報提供等とフォローアップを行った。

②高校進路指導部向け

6月、7月に大学案内パンフレット、学生募集要項、OC案内等を送付した。

(2) オープンキャンパス(OC)

①来学型

コロナ対策に留意しながら、人数制限、規模縮小、時間短縮で、かつ本学及び高校の土曜開講に配慮して日曜日に開催した。

主なコンテンツは、学科・職業紹介、模擬授業、学生発表、施設見学である。

- 6月及び8月：コロナ禍による中止
- 9月：高校3年生・既卒者を対象に学科別実施
- 3月：高校2年生を対象に学科別実施

②Web型

6月及び8月の来学型OCの中止に伴い、8月、9月、3月にWeb型を実施し

た。対象は受験生及び保護者で、主なコンテンツは、学科紹介、入学者選抜ガイダンス、奨学金・一人暮らし・学生サポート、予備校講師による入学者選抜対策講座（小論文、英語）である。

（3）公式ホームページ（HP）によるPR強化

①基礎資料の掲載

大学案内パンフレット、学生募集要項、各種広報チラシ、Web型OC資料などのラインナップの充実を図り、閲覧及びダウンロードを可能にした。

②入学者選抜及びOC情報の提供

高校3年生にとって最大の関心事である入学者選抜情報については、度重なる文科省通達などにも迅速に対応し、他大学に先駆けて決定し、情報提供を行った。

③コロナ禍の活動を紹介

オンライン授業や行事の様子などをHPへ掲載し、コロナ禍でも学習を止めないことを広報した。

（4）個別相談・問い合わせへの対応

OCでの個別相談に代わる問い合わせをメール、電話等で受付けたが、利用者は少なかった。

（5）経済支援・学習支援に関するPR

本学が行ったコロナ禍における在学生への経済支援及び学習支援等について、OC、HP、高校訪問等で紹介した。また、Web型OCでは学務課員による奨学金等に関する解説動画を公開した。

（6）入学者選抜及びオープンキャンパスの変更連絡に関する周知

上記（3）のとおり。

（7）その他

①高校訪問

学生募集要項が完成した7月下旬から、志願者数が一定数いる高校を対象に絞って訪問した。複数の高校から「各大学の入学者選抜制度が決まらないので、高校3年生が不安になっている。そうした中で天使大学が、速やかに学生募集要項を持ってきてくれたことを評価する」とのコメントをいただいた。

②進学相談会・校内ガイダンス

予定していた高校及び業者主催の企画は、ほとんどが中止となったが、秋以降のいくつかの相談会等には入試・広報室員等が参加した。

③模擬授業

ほとんどが中止となったが、一部の高校で実施し、教員に参加を依頼した。

④併設大学院説明会（本学学生対象）

オンラインで実施した。

【改善課題No.3 関連】【中期計画戦略目標 戦略目標V-1（3）関連】

大学院広報の次の事項について新規に対応した。《目標1 関連》

1. 大学案内パンフレットの一部改訂

両専攻のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの掲載、ページ構成の変更、過去の修士論文及び遠隔授業に関する掲載を行った。

2. 看護学専攻のチラシ制作及び卒業生へのダイレクトメール

同窓会と連携し、本学の看護学科卒業生へチラシを送付し、各コース及び学費の減額措置について案内した。

3. 過去問題の公表（栄養管理学専攻で配付・閲覧可、看護学専攻は次年度から）
 4. その他、広報委員会から各専攻に対する課題別の意見聴取を複数回行った。

【中期計画戦略目標 戦略目標V-1 (2)関連】《目標1関連》

1. 学科長への分析情報等の提供及び要望

今年度に交代した栄養学科長へ、栄養学科の志願状況、受験生のニーズ、学生募集上の課題等について説明し、栄養学科との連携を要望した。

【内部質保証に関する活動評価指標】（一部抜粋）

1. 2021年度入学者選抜結果

単位：名

	看護学科		栄養学科	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
指定校推薦	6 (±0)		2 (-3)	
公募制推薦	37 (-22)		55 (+20)	
社会人	0 (-3)		0 (±0)	
一般	232 (-55)		83 (+10)	
共通テスト利用	176 (+26)		75 (+23)	
計	451 (-54)		215 (+50)	

	看護学専攻		栄養管理学専攻	
	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
推薦	1 (±0)		—	
一般 (Ⅰ期)	1 (-2)		0 (-1)	
一般 (Ⅱ期)	2 (±0)		2 (±0)	
計	4 (-2)		2 (-1)	

2. オープンキャンパス参加者数

単位：名

①来学型（申込を学科ごとに100名以内に制限）

	第1回	第2回	第3回	第4回	計
	6/13	8/4・5	9/6・27	3/28	
看護学科	コロナ感 染対策の ため中止	コロナ感 染対策の ため中止	90		
栄養学科			92		
学科未定			0		
計			182		

②Web型

	第1回	第2回	第3回	計
	8月	9月	3月	
看護学科	118	52		
栄養学科	75	52		
学科未定	5	1		
計	198	105	0	

3. 進研模試（高校3年7月）における天使大学希望者数

単位：名

学科	選抜種別	B判定値	志願者数		上位者数	
			2020	前年比(%)	2020	前年比(%)
看護学科	一般	64	196	83	20	71
	共通	64	167	115	17	142
栄養学科	一般	54	128	98	55	128
	共通	56	86	113	21	111

4. 併設大学院説明会参加者数（本学学生対象、オンライン形式）

看護学専攻 保健師コース 11名（7/3）、9名（1/27）

栄養管理学専攻 21名（7/20・28）

【総評】

1. 広報委員会活動目標（1～3）及び中期計画戦略目標に対する評価

看護栄養学部の志願者数については、概ね今年度並みを維持することができた。9月の教育研究評議会で報告した上記の模擬試験データの傾向がそのまま志願者数に表れ、看護学科の学校推薦型選抜及び一般選抜で志願者数を減らし、看護学科の大学入学共通テスト利用選抜及び栄養学科のすべての入学者選抜で志願者数を増加させた。

その最大の要因については、文部科学省による入学者選抜制度の改正及びコロナ禍における各大学の試験科目等の変更が、受験生等に不安を与え、安全に合格できる大学を受験する「超安全志向」が強まった（進研模試B判定値50台の大学への希望者が多い）ためであり、このことについては、模擬試験のデータを基に分析し、9月の教育研究評議会及び学校推薦型選抜全体説明会で説明している。

このような状況と広報活動が大きく制限される中、広報委員会では5月時点で接触（対面）型から非接触型（Web型OC、DM、HP等を活用した広報活動）の広報活動へ重点に置く方針転換をし、迅速かつ柔軟、さらに受験生や高校教員を混乱させることなく対応することができた。

また、Web型OC、3月のOC等の新規事業を実施し、入学者選抜情報の迅速な公表、コロナ禍におけるオンライン学習等の紹介、在学生による母校訪問等にも力を注いだ。

今後の課題としては、HPの充実などが挙げられるが、一方で、こうした広報のみでは効果が限定的であるため、従来行われてきた接触型と非接触型のハイブリット式の広報活動の回復が望ましい。また、看護学科志願者数の減少の背景には、「本学に魅力を感じていながらも、合格することが難しいため、他大学を受験する」と考える敬遠層が多いことがあり、この点を考慮して対策を講じる必要がある。

入学者の学力的質保証については、これまでに培った偏差値や伝統などのブランド力を背景とした天使大学の社会的評価が受験生や高校関係者に認知されたことによって、例年並みまたはそれ以上の学力を有した入学者を獲得できる見通しである。

内部質保証に向けた取組みについては、IR活動の展開を先読みしながら活動評価指標を整理し、データ作成・活用を積み重ねて、広報活動の点検評価を日常的に行い、改善につなげている。

大学院看護栄養学研究科については2のとおり。

	<p>2. 大学基準協会の点検・評価項目に対する評価</p> <p>基準5 学生の受け入れにかかる点検・項目(②・③・④)と広報委員会活動目標とを関連づけて計画を立案し、総評の1のとおり活動目標をクリアしたため、大学基準協会の点検・評価項目の基準についても概ね満たされていると評価する。</p> <p>ただし、改善課題として指摘されている大学院看護栄養学研究科における在籍学生比率の向上については、十分な成果が得られていない。</p> <p>これは広報活動の改善・強化だけでは解決しえない課題であり、収容定員の見直し、経済的負担の少ない学生生徒納付金、奨学制度の充実、オンラインによる授業及び研究支援の充実などについて全学的に検討しなければならない。</p> <p>また、本学卒業生からの入学者数を増やしていくためには、学部生と大学院生の交流及び授業や活動の見学等が必要であり、各専攻との連携が求められる。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>【目標】 2020年度と同じ3項目(目標1～3)</p> <p>【重点課題】 1. HP(公式HP)の充実 2. 大学院入学者数の増加</p>

2. 学生の受け入れ

担 当：助産入試広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 限られたマンパワー・予算の中で、「アドミッション・ポリシーに適った志願者」が増加するよう、広報効果の最大化を図る。</p> <p>2. 入試選抜のミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない選抜の実施・運営に万全を期する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準5 学生の受け入れ ①、②、③、④</p> <p>日本助産評価機構基準番号 第3章 入学者選抜 3-1-1、3-1-2、3-1-4、3-1-5</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>V-1、V-2</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 広報についての活動目標を達成するために行った活動と評価は以下のとおり。</p> <p>①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定していた6月のオープンキャンパスを中止した。8月のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、北海道内在住かつ2021年度受験対象者を限定し開催した。昨年度実施したオープンキャンパス参加者数と比較すると大幅に減少しているが、出願に直結しているオープンキャンパスができた。(参加者8名中6名出願)</p> <p>②オンラインによるオープンキャンパスを10月に開催した。</p> <p>③助産研究科ちらし・ポスター・パンフレット・学生募集要項を病院・看護大学等に一齐送付した。</p> <p>2. 入試についての活動目標を達成するために行った活動と評価は以下のとおり。</p> <p>①志願者が新型コロナウイルス感染症などに罹患しても対応できるよう追試験の日程を定めた。あわせて、各選抜当日は面接試験室ドアを開放・手指消毒の呼びかけ等の感染予防を徹底した選抜を行った。</p> <p>②万全体制で試験実施を行うため、事務局(入試・広報室員)を1名増員した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. webサイトについて、引き続き、他の大学院との違い等訴求内容が伝わりやすいよう見直しを行う。</p> <p>2. 魅力あるオープンキャンパスへの動員および出願者を増加させるため、引き続き、オープンキャンパスの魅力あるコンテンツの検討を行う。</p> <p>3. 天使大学 看護学科学生に対する広報活動を強化する。</p> <p>①看護学科学生に向けた、授業公開や院生との交流会の実施を検討する。</p> <p>②学部進学者のメリット(入試、学費等)を検討する。</p> <p>4. 看護系大学や病院等への広報活動を強化する。</p> <p>①道内看護系大学 ②教育分野受験生への広報(ペリネイタルケア広告)</p> <p>5. 入試ミス防止に十分配慮するとともに、円滑で遺漏のない入学試験の実施・運営に万全を期する。限られた人員で実施するため、事務局の協力も含めた体制を検討する。</p>

3. 教員組織

担 当： 教育研究評議会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 求める教員像等についてより明確にして、人事方針等に反映する。</p> <p>2. 教授については、嘱託教員や特任教員が多く、昇任を含めて専任教授の確保に向けて取り組む。</p> <p>3. 教養教育科のあり方について検討する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6 教員・教員組織 ①、②、③、⑤</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標IV 教育に関するビジョンの構築</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2021年度人事方針において、「教員には建学の精神を理解し、使命感と倫理観、そして愛情をもって学生の学修を支援すると共に専門職分野の発展に寄与することが期待されます。特に、看護職・管理栄養士養成の長い歴史を持つ本学の課題として、教育・研究活動の源泉たる大学院の充実が挙げられます。こうした観点に立って、優れた教員の確保に努め、必要な組織・人事体制の整備に努めることが求められております。」とより具体的に記載している。</p> <p>2. 教員組織について</p> <p>(1) 看護栄養学部の教員定数は66名とし、その内訳は、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科6名である。</p> <p>栄養学科の教員定数と配置数の相違については、整理が必要である。</p> <p>(2) 大学基準協会の指摘のとおり嘱託教員及び特任教員が多く高齢化しているので人事方針において教員昇任時期を4月及び10月の年2回にする方針に改め、関係規程を改正し、学内教員の昇任機会を増やした結果、次のとおり昇任した。</p> <p>教授への昇任者：2名、准教授への昇任者：4名、講師への昇任者：4名</p> <p>(3) 嘱託教員の退職を見据えて、専任の教授及び准教授を計4名採用した。</p> <p>3. 教養教育科のあり方については、十分な検討ができず提案に至らなかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 教員採用を早期に実施できるよう、学内関係学科、研究科、科からの意見聴取を早期に行い、人事方針の策定に努める。</p> <p>2. 大学院教育の充実に向けて、大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置に向けた取組みを推進するため、教員確保や整備内容の検討を進める。</p> <p>3. 専門職大学院助産研究科の持続的な教員体制を整備するため、将来を担える若手の教授、准教授の確保に努める。</p> <p>4. 教養教育科のあり方について検討する。</p> <p>5. 非常勤講師の委嘱について、学内教員が対応できる科目については学内で対応し、該当する教員が学内にいない場合にのみ非常勤講師を委嘱することの原則について周知徹底する。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当： 学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を開催する。 2. 紀要第 21 巻(第 1 号・第 2 号)を発刊する。 3. 特別研究費による研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。 4. 投稿実績のある教員に特別研究費を多く配分し、研究意欲の発揚を促す。 <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>・基準 2 内部質保証 ④ ・基準 8 教育研究等環境</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費獲得のための講習会や特別研究費による研究報告会については、出席者の感染リスクを回避するため、昨年度に続き、今年度も取り止めとした。 代わりに、2019 年度及び 2020 年度に特別研究費を取得された教員に A 4 判 1 枚程度の研究要旨を作成して頂き、図書館 HP にある研究成果の頁に掲載することとした。 2. 紀要第 21 巻第 1 号については、2 件の投稿があった。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新井英志・村田尋如共著：『総合的な学習の時間』における栄養教諭の食に関する指導の現状と課題―北海道における実態調査を踏まえて― 2) 福田早織・中村恵子共著：卒後 3 年以下の看護師が手術室勤務を継続する過程 3. 紀要第 21 巻第 2 号については、3 件の投稿があり、現在査読を行っている。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 新井英志他：栄養教諭の食に関する指導の現状と課題の考察―北海道における実態調査を踏まえて― 2) 中洞真理子他：模擬患者(Simulated Patient)養成講座プログラムの実際と評価 3) 田中さおり他：学内実習プログラムで実施した小児看護学実習における学生の学び 4. コロナ禍について収束の気配が見えず、日々の消毒、三密回避、換気などを継続して行い、感染拡大を辛うじて食い止め、研究環境の維持を図っている。 5. コロナウイルスの変異が新たな脅威となっているため、今後も事態を注視し、予防対策を講じて、研究活動及び研究環境の維持に努める。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を開催する。 2. 紀要第 22 巻(第 1 号・第 2 号)を発刊する。 3. 特別研究費による研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。 4. 投稿実績のある教員に特別研究費を多く配分し、研究意欲の発揚を促す。

4. 研究活動・研究環境

担 当：研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 迅速な倫理審査の実施 2. 現行の倫理指針に沿った審査手続きの遂行 3. 研究倫理に関する研修活動および関連する情報提供の実施</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準8 教育研究等環境⑤</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) Ⅷ-6 (2) 科研費補助金の不正受給の防止対策の推進</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2020年度は2019年度と同数の32件の研究倫理審査申請があった。これまでは提出書類に軽微な不備があった場合に審査結果を保留にすることがあったが、今年度の委員会では、申請内容が倫理指針に抵触していないことが確認できた場合は、研究開始前に修正した書類を提出することを条件に申請を承認し、これまで以上に迅速な倫理審査に努めた。</p> <p>2. 現行の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた委員会規程に則って委員会構成員（学外委員の登用）、委員会審議事項への利益相反の明記などを盛り込んだ委員会規程の下で業務を遂行した。</p> <p>3. 2020年度はコロナウイルス感染症の影響により研究倫理研修会を初の試みとなるウェブセミナー形式で9月に開催した。9月までに研究倫理申請があった申請者には、日本学術振興会によるeラーニングによる研修を受講してもらい対応した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 従来どおりの迅速な研究倫理審査を実施すること。 2. 新型コロナウイルス感染症の影響により対面形式の研究倫理研修会実施の可否について。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当：病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 天使学園病原体等管理委員会規程（規程）および天使大学病原体等安全管理マニュアル（マニュアル）に従い病原体を安全に管理する。</p> <p>2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。</p> <p>3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準8 教育研究等環境①、④</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 「病原体等安全管理委員会規程」および「天使大学安全管理マニュアル」に従い、天使大学が保有する病原体等を安全に管理し、病原体等を扱う研究者に対して、研究環境を整備している。</p> <p>2. 病原体の譲渡申請が1件あったが、その後、申請が取り下げられたため2020年度の分与および譲渡はなかった。</p> <p>3. 2020年12月25日付で依頼のあった文部科学省研究振興局の「病原性微生物の保管・管理の徹底および保管状況調査」について、調査報告書を提出し、適切に対応した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 保有している病原体等を、引き続き安全に管理する。</p> <p>2. 病原体等の入手・分与の際には、安全性を考慮し、適切に対応する。</p> <p>3. 関係省庁の病原性微生物の保管・管理に関する調査へ随時対応する。</p>

5. F D S D活動

担 当： F D S D委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 本学の教育理念並びに教育目標に基づき、授業参観、FD研修会、学生による授業評価アンケートの実施を中心に、授業内容及び方法の改善・向上並びに教員の資質向上のための諸活動を行う。</p> <p>2. 教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を行う。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準6、基準10</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-6</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2020年度は、FDSD委員会としての活動、初年度であった(2019年度まではFD委員会)。</p> <p>1. FDSD活動実施要項を策定したことで、学内で実施する全てのFDSD活動をFDSD委員会が把握できる体制が整った。</p> <p>2. FD活動について</p> <p>1) 授業参観は、後期からオンライン等授業の動画をGoogle Classroomに掲載して、視聴参観する方法を取り入れた。しかし2021年2月現在、動画登録は14件、参加人数は1割にとどまった。</p> <p>2) 学生による授業評価アンケートは、昨年度改訂した調査項目とアンケートの回答方法をWebに変更して実施した。回答方法をWebに変更したことによって、オンライン授業が多くなった今年度においてもアンケートを滞りなく実施することができた(回収率全体平均:約71%)。</p> <p>3) その他、FDSD研修会、大学院看護栄養学研究科各専攻の大学院担当教員向けFD研修会、教職課程担当教員向けFD研修会など、教員の資質向上を図る多様なFDが実施された。</p> <p>3. SD活動について</p> <p>大学運営の視点からの教職員の資質向上を図るため、建学の精神についての研修、本学園の財務状況等に関する研修を実施した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2020年度に策定された「天使大学における人材育成の目標・方針とFDSD実施計画」に掲げる、本学が求める教職員像(人材育成の目標・方針)の実現に向けた教職員の能力・資質向上を目指したFDSD活動を企画・実施する。</p> <p>2. 全学的な課題を捉え、研修の内容が改善に直結し、取り組みが定着するFDSDを模索する。</p> <p>3. 学内で実施する研修会の開催時期がなるべく分散するように、年度計画を立てる工夫を検討する。</p> <p>4. 2019年度から義務化した「授業参観」が、定着するような実施方法を検討する。</p>

6. 社会貢献

担 当：地域連携等委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2020 年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び 2021 年度公開講座の企画 2. 東区役所との連携事業及び 5 者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握 5. 国・行政の地域連携の施策等の把握</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄） 基準 9 社会連携・社会貢献 ①、②、③</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄） VII：地域連携と社会貢献の促進・充実 VII-1</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2020 年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び 2021 年度公開講座の企画 2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施を中止した。2021 年度については、オンラインも含め、北海道科学大学と連携していくことが課題である。</p> <p>2. 東区役所との 5 者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進</p> <p>1) 5 者連携事業のイベントである「ひがしく健康・スポーツまつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止となった。</p> <p>2) 「ひがしく健康づくりフェスティバル」は新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度に引き続き開催中止となった。その代替開催である「東区健康づくりパネル展」に参加協力し、学生有志の成果（「タッピーウォーキング～みんなでコツを育てて元気に暮らそう～」）を発表展示した。</p> <p>3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 北海道科学大学が実施する「夕張地域医療体験」については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、昨年度に引き続き開催中止となった。</p> <p>4. 地域・他大学との連携事業の実態把握</p> <p>1) 本学と地域・他大学との連携事業については、本学と介護予防センターとの連携を次年度以降も継続する。（今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のために中止となった。）</p> <p>2) 本学 Web サイトトップページに「地域連携等活動」のバナーを掲載すると共に本学の地域連携等活動について集約したページを 2021 年 3 月に掲載した。</p> <p>5. 国・行政の地域連携の施策等の把握 文部科学省策定の「地域連携プラットフォーム構築に関するガイドライン」について、委員会で情報共有するとともに、札幌市東区役所担当者にも情報提供を行った。今後の動向について引き続き把握していく。</p> <p>※2020 年度は新型コロナ感染拡大の影響によりほぼ事業が中止となったが次年度も引き続き、連携先との調整が課題である。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 5 者連携事業をはじめ、東区役所との連携を一層推進していく。</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域連携活動について、実施方法（オンライン等）について検討していく。</p> <p>3. 本学 web サイトに社会貢献・地域連携活動の情報を集約・充実させる。</p> <p>4. 北海道科学大学・介護予防センター等との連携について検討する。また、他大学が実施している地域連携事業内容も把握する。</p> <p>5. 国・行政の地域連携の施策の動向を把握し、本学の取組について検討していく。</p>

6. 社会貢献

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康増進や子育て支援に関する事業に協力する。 2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準9 社会連携・社会貢献②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) VII：地域連携と社会貢献</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康増進や子育て支援に関する事業に協力する。 1) 妊婦向け母親学級の企画・作成し、YouTube で配信した。 新型コロナウイルス感染予防として、多くの医療機関や自治体主催の母親学級が中止となり、妊婦の妊娠出産に対する不安が大きいとの情報から妊婦向け母親学級（出産準備・子育て準備教育）を院生と企画・作成し YouTube で配信した。 長期間にわたり多くの閲覧があった。 2) 「いのちの教育・性教育」の授業を企画・実施した。 女子高校からの出前授業の依頼を受け、将来にわたる自分自身の健康管理、自分らしく生きるために、をテーマに「いのちの教育・性教育」授業を院生とともに企画し、2回実施した。受講した女子高校生からは高い評価を受けた。</p> <p>2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全への事業に協力する。 1) 一般社団法人北海道助産師会の会長、副会長、委員として専門職の職能団体の運営、助産ケアの向上および安全への教育プログラムの企画、助産師活動の啓蒙に貢献した。 (教授2名、助教1名) 2) 全国助産師教育協議会の組織会員として、北海道・東北地区研修会を企画し、オンラインで実施した。(参加者68名)(助産研究科教員全員) 3) 日本災害看護学会の査読委員として、研究の質向上に貢献した。 (教授1名) 4) 北海道思春期研究会幹事として、活動の企画・運営に参画した。 (教授2名)</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 地域の女性や母子の健康増進や子育て支援に関する事業への協力。 2. 助産ケアおよび看護ケアの質の向上と安全に関する事業への協力。</p>

7. 国際交流

担 当： 国際交流委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 2019年8月に加盟した、ASEACCU（東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟）国際会議への参加、交流について具体的に検討する。</p> <p>2. 国際連携協定を締結した、韓国カトリック大学校と交流の推進を図る。</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>VII-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国外はもとより国内出張もできない状況となり、委員会として目標を達成するための具体的な活動はできなかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2021年8月にカンボジアで開催されるASEACCU（東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟）国際会議のプログラム内容によって、参加日程及び参加者について検討する。ASEACCU国際会議に本学学生を参加させるのであれば、事前に英語のトレーニングの準備と引率教員が必要である。</p> <p>2. 韓国カトリック大学校との連携協定の継続可否の検討を進める。</p>

7. 国際交流

担 当： 助産研究科教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 国際助産学実習の円滑な実施。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等の記載)</p> <p>基準9：社会連携・社会貢献</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VII-3：国際交流の推進</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 国際助産学実習の円滑な実施。</p> <p>今年度の国際助産学実習の実習国としてカンボジアで調整していた。日本のNGOが支援し設立したカンボジア国内にある病院を実習拠点とし、日本人ワーカー（医師や助産師、看護師）、現地スタッフとの交流や病院内での実習、院生が準備した衛生教育に関する啓蒙活動の展開を計画していた。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の国内外における感染拡大を受け、他国への訪問実習は困難となった。</p> <p>今年度については、実習内容を以下のプログラムで行った。</p> <p>1) 国際保健基礎講座（国立国際センター主催）の4回をZoomで受講し、ディスカッションを行った。</p> <p>受講プログラム：①国際保健の基礎のキソ！ ②国際保健を支える保健人材 ③低中所得国における医療の質改善 ④女性とこどもの健康改善</p> <p>2) 国際的な活動を行っているNPO（国境なき医師団、プラン・インターナショナル）のワーカー報告をZoomで視聴し、ディスカッションを行った。</p> <p>3) キリスト教医療NPO（日本キリスト教海外医療協力会）からタンザニアに助産師として派遣され、一時帰国中の雨宮春子氏を特別講師として迎え、現地での活動、国際母子保健活動の意義等について講義とその後に院生との意見交換を行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 国際助産学実習の円滑な実施。</p>

8. 学生生活

担 当：学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 危機管理マニュアルの「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。</p> <p>2. 「2020年度 天使祭」は新棟完成や中庭整備の影響で、初めて天使祭の会場として使用する場所が多くあることから、新しい場所の有効活用のアドバイス、音響等設備使用のレクチャー等、学生が支障なく天使祭を実施・運営できるようにサポートする。また、引き続き4号館1・2階改修工事が開始されることにともない、「使用施設の制限」、「建設工事の騒音」等により、学生生活の質が低減しないように努める。</p> <p>3. 「2020年度 学生生活についての調査（生活実態調査・学生満足度調査）」の実施に向け、質問項目の精査、調査方法・委託業者の検討を行う（調査は2021年度1～3月にかけて行い、その集計、評価・分析は2021年度に行う予定）。</p> <hr/> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄）</p> <p>基準7 学生支援 ①～③</p> <hr/> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄）</p> <p>VI 包括的な学生支援策の充実</p> <p>1 学生支援策の充実</p> <p>2 健康管理面の支援</p> <p>4 学生情報の適正管理と活用</p> <p>VII 地域連携と社会貢献の促進・充実</p> <p>1 地域との連携</p> <p>3 国際交流の推進</p> <p>VIII 経営基盤の充実</p> <p>7 危機管理体制の整備</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、これに関連した業務に予期せず注力した1年となった。新型コロナウイルスに関する対応は以下の通り。</p> <p>○学生に対し、新型コロナウイルスの基本的な感染防止策の徹底、感染防止意識の醸成、（オンライン授業等の）環境の変化に対する励まし等について、T-NAVI・メールを通じて定期的に発信した。</p> <p>○2020年3月（新型コロナウイルス第1波 感染拡大期）、春季休業中に海外渡航した学生の有無について調査を行った。</p> <p>○2020年4月、新型コロナウイルスの影響で学生は原則「入校禁止」となり、特に1年次生は一度も登校できない中でオンライン授業が開始される状況に鑑み、学生委員会から各学科・学年の学生支援教員に対し、「電話」等により体調、アルバイト、不安なこと等についてヒアリングするよう要請した。また、ヒアリング結果を集計し、必要部署にフィードバックした（資料①）。</p> <p>○新型コロナウイルスの収束にむけて「ステイホーム」が求められる中、孤独やストレスにより心身に不調を感じているであろう学生に対し、保健相談室、学生相談室に相談するよう T-NAVI・メール等で呼びかけた。</p> <p>○新型コロナウイルスの影響で経済的に逼迫した学生（あるいはそのご家庭）が必要な経済支援を受けられるように、本学w e b サイト 新型コロナウイルスまとめページに「経済支援」の項目を設け、「学費等 中長期的な経済支援」、「生活費等 短期的な経済支援」の2つにカテゴライズした上で情報をまとめた。また、学生にこのページについて十分に周知した（資料②）。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大により、アルバイトの休業・自粛を余儀なくされ、生活に困窮し、当面の食費がない、家賃・光熱費等を支払うことができない切迫した学生を対象に「天使大学 応急学生支援金（給付額5万円）」を創設した。26名の</p>

	<p>学生が申し込み、そのうち 13 名を採用した（資料③）。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大により、アルバイト収入の大幅な減少、経済状況の困窮等に苦しむ学生を対象に、文部科学省は「学生支援緊急給付金（住民税非課税世帯は 20 万円、それ以外は 10 万円）」を創設し、第 1 次募集、第 2 次募集あわせて 172 名が採用された。給付総額は 1,980 万円（資料④）</p> <p>○天使大学同窓会に経済的支援を要請し、新型コロナウイルスの感染拡大により経済的に苦境に立たされた学生（あるいはそのご家庭）を対象に、後期（2020 年 8 月）に「天使大学同窓会給付奨学金 第 2 次募集」を行った。16 名の学生から申し込みがあり、そのうち 13 名が採用された（資料⑤）。</p> <p>○新型コロナウイルスの感染拡大により経済的に苦境に立たされた学生を支援することを目的に、日本学生支援機構から 80 万円、日本私立看護系大学協会から 10 万円の助成金をいただいた。それを原資として「天使大学 学生支援緊急給付金」を創設し、9 名の学生から申し込みがあり、9 名を採用した（資料⑥）。</p> <p>○新型コロナウイルスの影響により学生の登校が限定的であり、例年通りのオフィスアワーでは、学生の教員に対する相談の機会が十分に確保できないことから、その代替として教員のメールアドレス・電話番号等を一覧にして学生に発信した。また、それ以外の「問い合わせ・相談先」も一覧にし、本学 w e b サイト新型コロナウイルスまとめページに掲載した（資料⑦）。</p> <p>○「新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドライン」を作成し、学生・顧問に発信した（資料⑧）。</p> <p>○2020 年度 合唱コンクール、天使祭、体育祭、海外研修は、新型コロナウイルスの感染リスクを抑制することが難しいため中止とした。合唱コンクールは 2021 年度の中止もすでに決定している。2021 年度 天使祭は「オンライン」で開催する方向で、現在葦の会が企画中である。2021 年度体育祭の開催は現在未定で、2021 年 11 月の感染拡大状況により実施可能であった場合は、本学体育館で開催する予定である。2021 年度海外研修は、キャンセル料等のリスクを考慮し「実際に海外に渡航しての海外研修」は実施しない。現在、「オンラインによる海外研修」を実施するか否かについて検討中である。</p> <p>1. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」に着手する予定であったが、新型コロナウイルス関係の業務に追われ、今年度は進捗しなかった。次年度あらためて着手する。</p> <p>2. 新型コロナウイルスの感染拡大により、2020 年度天使祭は中止となった。また、2020 年度前期は、原則学生は「入校禁止」となったため、学生は 4 号館改修工事の影響を知らずも受けなかった。</p> <p>3. 「2020 年度 学生生活についての調査（生活実態調査・学生満足度調査）」を 2020 年 12 月～2021 年 1 月にかけて実施した。アンケートの質問項目を精査し、オンライン授業に際した自宅のパソコン・インターネット環境の調査、新型コロナウイルスに対する大学の対応への評価、新棟 2 号館への評価等を追加した（資料⑨）。新型コロナウイルスの影響で各学科・学年が極端に減ったため、従来の「対面でのアンケート用紙への記入」から「Google フォームを利用したオンライン上での回答」に回答方式を変更した。また、未回答者に何度も催促することにより、回答率は「91.8%（前回 88.6%）」、回答件数は「716 件（前回 646 件）」であった（資料⑩）。</p>
--	--

<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の新型コロナウイルス感染防止に資する施策を講じるとともに、感染防止策等の十分な周知に努める。また、新型コロナウイルスの影響による学生の経済状況の変化を引き続き観察・調査し、必要な支援を行う。 2. 「高等教育の修学支援新制度」の開始等にともない、「奨学金制度検討ワーキンググループ」を中心に「新しい本学奨学金制度」を構築し直し、2022年4月の運用を目指す。 3. 「2020年度 学生生活についての調査」を集計し、報告書を作成する。報告書が完成した後は、内部質保証推進委員会と連携し、学生の意見・要望に対する「大学としての回答」を作成する。 4. 内部質保証推進委員会と連携しながら、「卒業生・修了生に対するアンケート」を実施する。 5. 新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、「オンライン天使祭」の実施・運営をサポートする。 6. 危機管理マニュアル「学生関連個別マニュアル」の「事例ごとの対応」を、優先度の高いものから順次整備する。
----------------	--

学生支援教員各位

学生部長 小澤 芳子

学生支援教員による学生への電話連絡について（依頼）

新年度が始まり 2 週間が経ちましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、いまだ学生の登校がかなわない状況が続いております。特に地方から札幌に出てきたばかりの 1 年次生は、初めて親元を離れ友達も少ないなか、非常に心細い思いをしていることは想像に難くありません。

そこで学生支援教員の皆さまに、ご担当の学生に対して一度直接お電話にてお声かけいただきたく存じます。お忙しいところ大変恐縮ではありますが、以下をご参照いただき、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1. 連絡方法：電話

T-NAVI・メールではなく、直接お電話でお声かけください。Zoom 等を利用されても構いません。ご自分が担当される学生の携帯番号は、T-NAVI から確認できます。

2. 連絡期間：2020 年 4 月 20 日（月）～24 日（金）

遅くとも、4 月 28 日（火）までに連絡をお済ませください。

3. ヒアリング事項（学生委員会からの要望）

学生へのヒアリングの内容を、「学生への電話連絡_ヒアリング内容一覧」に記入してください。学生委員会が要望するヒアリング内容以外にも、学生支援教員として確認したいことをお聴きください。

体調	◆特筆すべき症状があれば、ご記入ください。
アルバイト	◆大学として、感染リスクを抑えるため「人と対面するアルバイト（居酒屋等）」の自粛を強く要請していることをお伝えください。 ◆学費、生活費等の理由でどうしてもアルバイトをしなければならない特別な事情がある学生には、以下のことを必ず守るようにお伝えください。 ・三密（密集場所、密閉空間、密接場面）の環境は絶対に避けてください。 ・アルバイト中は必ずマスクをしてください。 ◆アルバイトをしなければいけない特別な事情が認められないが、「人と対面するアルバイト」を行いたいと主張する学生には、自分が感染するリスクがあることだけでなく、感染後に「無症状」のまま登校し、多くの友達に感染させてしまうリスクもあることもお伝えし、理解を促してください。 ◆奨学金に関する相談は、「学務課に相談してください」とお伝えください。 ◆アルバイトを休むにあたり、雇用者と十分相談するようご指導ください。

現在居る場所	◆実家にいる場合、実家の場所（函館市など）、「通学時の自宅」に戻る予定日をご記入ください。 ◆実家にいる場合、「通学時の自宅」にすぐ戻るよう促す必要はありません。ただし、学生が東京等、感染拡大地域にいる場合は、直ちに札幌に戻り、2週間の自宅待機をするようご指導ください。
現在不安なこと	◆特筆すべきことがあればご記入ください。
その他	◆特筆すべきことがあればご記入ください。

4. 学生委員会へのフィードバック

学生からのヒアリング内容を、個人情報に配慮しながら、学生委員会として生活実態の把握等に使用させていただきます。ご協力ください。

- (1) 提出期限 : 4月30日(木)
- (2) 提出先 : 看護学科 : 船木学生委員
栄養学科 : 高桑学生委員
- (3) 提出方法 : Excel ファイルにパスワードを付けて、メールでお送りください。
メールタイトルは「教員氏名_〇〇学科〇年_学生への電話連絡」、
パスワードは「tenshi2020」としてください。

以上

<p>本件に関するお問い合わせ先 事務局学務課 渡邊 泰央 (内線:607)</p>
--



◆経済支援

【学費等 中長期的な経済支援】

- ・（日本学生支援機構）新型コロナウイルス感染症に係る影響を受けて家計が急変した方への支援
- ・日本学生支援機構奨学金 給付奨学金（家計急変）
- ・（学部）日本学生支援機構奨学金 貸与奨学金（家計急変）
- ・（大学院）日本学生支援機構奨学金 貸与奨学金（家計急変）
- ・日本学生支援機構 緊急特別無利子貸与型奨学金（申込は終了しました）
- ・生活福祉資金 総合支援資金 生活支援費 特例貸付
：単身世帯は月15万円以内貸与、2人以上世帯は月20万円以内貸与
- ・生活福祉資金 教育支援資金
：月6万5千円以内貸与
- ・母子父子寡婦福祉貸付金（母子・父子・寡婦家庭対象）
- ・日本政策金融公庫の教育ローン
：学生1人あたり350万円以内貸与
- ・生活を支えるための支援のご案内（厚生労働省）

【生活費等 短期的な経済支援】

- ・遠隔授業環境整備支援金（申込は終了しました）
：学生全員一律5万円給付、1人1回限り
- ・学生支援緊急給付金（申込は終了しました）
：住民税非課税世帯の学生 20万円給付
上記以外の学生 10万円給付
- ・天使大学 応急学生支援金（申込は終了しました）
：5万円給付、1人1回限り
- ・生活福祉資金 緊急小口貸付 特例貸付
：20万円以内貸与、1世帯1回限り
- ・特別定額給付金
：1人あたり10万円給付

天使大学 応急学生支援金について

新型コロナウイルスの感染者増加を受け、4月16日（木）、政府は全国的に緊急事態宣言を発出し、北海道を「特別警戒都道府県」に指定したことは周知のとおりです。それにより、学生の多くはアルバイトの休業もしくは自粛を余儀なくされ、あるいは親からの仕送りが減少し、経済的に非常に厳しい状況に立たされています。

そうした状況をふまえ、生活に困窮し、当面の食費がない、家賃・光熱費等を支払うことができない切迫した学生を対象に、「天使大学 応急学生支援金」として「5万円」を迅速に給付する制度を新設しました。

◆対象者：**新型コロナウイルスの影響で、食費、光熱費、水道料、家賃等が支払えず、至急金銭が必要な学生**

◆給付額：**5万円**（1人1回限り）

◆提出書類：

- ①天使大学 応急学生支援金申込書
- ②学生本人の金融機関預金通帳のコピー（学生本人名義の預金通帳すべて、残高がわかるもの）
- ③アルバイトの給与明細（直近2カ月、休業等により収入が0の場合は提出不要）
- ④奨学金振込口座届

◆採用方法：提出書類を基に申込者全員に電話によるヒアリングを行い、別紙採用基準により選考。

◆申込期間：2020年5月1日（金）～8日（金）

◆採用人数/申込人数：13名/26名
《採用者内訳》

学科学年	人数	学科学年	人数
看護学科1年	2	栄養学科1年	3
看護学科2年	1	栄養学科2年	1
看護学科3年	2	栄養学科3年	0
看護学科4年	3	栄養学科4年	1

◆支援金入金日：2020年5月20日（水）

以上

学びの継続のための「学生支援緊急給付金」 第2次募集について

今般の新型コロナウイルス感染症の影響で学生等が修学をあきらめることがないように、アルバイト収入の大幅な減少等に苦しむ学生を現金給付で支援するため、文部科学省は「学生支援緊急給付金」事業を実施しました。6月に行われた「学生支援緊急給付金 第1次募集」に引き続き、今回はその第2次募集です。

1. 支給金額

- ・住民税非課税世帯の学生 20万円
- ・アルバイト収入の激減等支給対象要件を満たす、上記以外の学生 10万円

2. スケジュール

- ・申込期日：2020年7月16日（木）
- ・看護栄養学部・大学院 合同奨学生選考委員会：2020年7月28日（火）

3. 本学が推薦できる上限額

1,280万円（第2次募集）

※第1次募集は1,100万円

4. 申請者数、推薦者数

- ①申請者数：83名（うち看護学科44名、栄養学科32名、助産研究科2名、看護栄養学研究科5名）
- ②推薦者数：83名（うち看護学科44名、栄養学科32名、助産研究科2名、看護栄養学研究科5名） 合計880万円

【参考】第1次募集 結果

- ①申請者数：106名（うち看護学科55名、栄養学科43名、助産研究科7名、看護栄養学研究科1名）
- ②推薦者数：89名（うち看護学科47名、栄養学科34名、助産研究科7名、看護栄養学研究科1名） 合計1,100万円

5. 第1次募集、第2次募集の給付対象者数、給付総額

- ①給付対象者数：172名（うち看護学科91名、栄養学科66名、助産研究科9名、看護栄養学研究科6名）
- ②給付総額：1,980万円

以 上

天使大学同窓会給付奨学金（第2次募集） 申込要項

1. 採用対象	<p>○学部生（全学年）、大学院生（全学年）が対象です。</p> <p>○新型コロナウイルスによって経済的な影響を受けた学生・ご家庭の採用を優先します。</p> <p>○今回に限り、学業成績は不問とします。</p> <p>○本奨学金に採用された学生は、同窓会誌「プラタナス」に寄稿してもらいます。</p> <p>○以下の学生は採用対象となりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学生支援機構 給付奨学金 第Ⅰ・Ⅱ区分に採用された学生（第Ⅲ区分の学生は採用対象とします） ・今年度、天使大学の給付奨学金（天使大学シスター川原ユキエ記念奨学金、天使大学給付奨学金、天使大学同窓会給付奨学金）に採用された学生
2. 給付額	100,000円（年額）
3. 採用人数	13名以内
4. 天使大学同窓会給付奨学金の概要	<p>○本奨学金に申し込む学生は「同窓会入会費」を必ず納めてください（通常、1年次後期に納入します）。</p> <p>○採用は今年度のみです。</p> <p>○給付の名目は「後期授業料の減免」です。</p>
5. 「申込」から「採用決定」までの流れ（予定）	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">申込（9月28日（月）締切）</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">選考（10月中旬）</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">採用決定通知（10月下旬）</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">給付額の入金（11月）</div> </div>
6. 提出書類等	<p>提出書類：①天使大学奨学金申込書</p> <p>②保証人の所得に関する証明書</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆保証人は原則あなたの父母です。父母がいない場合は4親等以内の親族としてください。 ◆原則、父母ともに「収入に関する証明書のコピー」を提出してください。 ◆【重要】母親が主婦の場合、所得金額0円と記載のある「所得証明書」の提出が必要です。 ◆【重要】原則、給与を受けている方は「源泉徴収票のコピー」を、自営業等の方は「確定申告書（第一表と第二表）のコピー」を提出してください。 ◆【重要】新型コロナウイルスの影響を受けて、親の給与が減った場合、「（昨年度の同時期と比べ）最も減少した月の給与明細」も、併せて提出してください。 ◆以下に該当する方は、必要書類を提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・傷病手当金を受給中：傷病手当金通知書のコピー ・雇用保険基本手当（失業保険）を受給中：雇用保険受給資格者証のコピー

・年金を受給中（遺族年金を含む）：**年金振込通知書のコピー**
— or **年金額改定通知書のコピー**

・生活保護を受給中：**生活保護決定（変更）通知書のコピー**

・祖父母（または親戚等）から援助金をもらっている、離婚後の養育費をもらっている：**援助の年額の証明**（様式自由で、援助者の署名・押印があるもの）

・児童扶養手当、児童手当等を受給中：**通知書のコピー**

※別紙「天使大学奨学金 収入に関する証明書類」を必ず参照し、必要な書類を提出してください。

③（該当者のみ）特別控除の証明書

別紙「天使大学奨学金 特別控除に関する証明書類」を必ず参照し、必要な書類を提出してください。

④金融機関通帳のコピー

採用された際に入金する通帳で、金融機関名、店名・店番号、預金種目、口座番号、名義人のカナ氏名等が表記されているページのコピーを提出してください。

※証明書は、原則3カ月以内に発行したものを提出してください。

【注意】提出する際は「天使大学奨学金申込書」を一番上にして①～④の順に並べ、左上をクリップ留めしてください。

提出期限：**9月28日（月）17時 期限厳守**

※やむをえない事情で提出が遅れる場合は、必ず学務課学生担当に連絡してください。 学務課 tel 011-792-9204

提出先：**学務課学生担当**

以上

天使大学学生支援緊急給付金 申込要項

1. 採用対象	○新型コロナウイルス等の影響で、経済的に困窮し、支援を必要とする者。 →「北海道信用金庫奨学財団給付型奨学金 不採用者 6名」、「天使大学同窓会給付奨学金（第2次募集）不採用者 3名」を対象とします。 ※上記奨学金に不採用となりましたが、現時点において奨学金を切に必要としている事情に鑑み、大学として特別に支援します。
2. 給付額	100,000円（年額）
3. 採用人数	9名
4. 天使大学学生支援緊急給付金の概要	○採用は今年度のみです。 ○給付の名目は以下のとおりです。給付金は、その名目に従ってお使いください。 ・遠隔授業を受けるための通信費 ・学生生活を送るための食費 ・修学のための教材（参考図書など）の購入費 ・一時的な帰省、または帰省先から戻るための交通費
5. 「申込」から「採用決定」までの流れ（予定）	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">申込（11月6日（金）締切）</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">採用決定通知（11月中旬）</div> <div style="font-size: 2em; margin: 5px 0;">▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">給付金の入金（11月下旬～12月）</div> </div> <p>※「採用決定」から「給付金の入金」まで時間を要する場合があります。事前にご了承ください。</p>
6. 提出書類等	<p>提出書類：①天使大学学生支援緊急給付金申込書 ②金融機関 通帳のコピー 採用された際に入金する通帳で、金融機関名、店名・店番号、預金種目、口座番号、名義人のカナ氏名等が表記されているページのコピーを提出してください。 ※以前、すでに提出している方は、再度提出する必要はありません。</p> <p>提出期限：<u>11月6日（金）17時</u> 期限厳守</p> <p>※やむをえない事情で提出が遅れる場合は、必ず学務課学生担当に連絡してください。学務課 tel 011-792-9204</p> <p>提出先：学務課学生担当</p>

以上

学生各位
部顧問 教員各位

天使大学 学生委員会

新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドライン

以下のガイドラインは、本学の部に所属する学生だけでなく、他大学の部・サークルに所属する本学学生にも遵守していただきます。

1. 「新型コロナウイルス感染防止対策について（第5報、今後も更新予定）」に従って行動してください。
2. 感染防止に最大限配慮した上で、部活動を認めますが、飲食・宿泊を伴う活動は自粛してください。
3. 活動する際はその内容を任意の用紙にまとめ、必ず顧問に提出した上で説明し、許可をもらった上で活動してください。
4. 当面の間、学内施設の貸し出しは行いません。
5. 当面の間、コンパ、打ち上げ、会食は自粛するよう要請します。
6. 「換気の悪い密閉空間」、「多数が集まる密集場所」、「間近で会話や発声をする密接場面」のいわゆる「三密」の環境での活動は避けてください（音楽のLIVE活動は、当面の間、自粛してください。）。
7. 長時間の室内ミーティングは避け、オンラインでのミーティングやSNSを活用した会議・情報共有を推奨します。短時間の室内ミーティングを行う場合も、必ず2mのソーシャル・ディスタンスを確保し、マスクを着用してください。また、なるべく対面に座ることを避け、定期的に換気をし、大声で話すことは控えましょう。
8. 大人数での移動は極力避け、少人数グループに分かれた移動を推奨します。

9. 道外等への移動について

- (1) 感染予防のため、不要不急の道外への移動は自粛しましょう。また、感染者が多い地域への移動は原則禁止とします。
- (2) 感染者が多い地域は、以下の都府県とします(2020年8月17日更新)。
→東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、石川県、愛知県、大阪府、兵庫県、京都府、奈良県、徳島県、福岡県、佐賀県、沖縄県

10. 運動系の部は、以下のことに気を付けてください。

- (1) 運動の際は、身体的接触を避け、お互いが2mの距離を保つようにしてください。
よって、お互い2mの距離を保つことが難しい試合、試合形式の練習はできません。
- (2) 飲み物、タオル等は他人と共有しないでください。
- (3) 感染リスクが高い箇所・用具の清掃・消毒を頻繁に行ってください。
- (4) マスクの着用は、状況に応じて判断してください。マスクを着用して運動した場合、体温が下がりにくくなり、熱中症を引き起こす危険性があります。息苦しさを感じた場合は、人との距離が十分確保できる場所でマスクを外し、水分補給や休憩をとるなど決して無理をしないでください。

以上

2020年度 学生生活についての調査

【所要時間 10分程度】

本調査は、天使大学学生の学生生活についての実態を把握するとともに、学生生活満足度の現状を明確にして今後の学生支援に役立てるために行うものです(3年に1度、調査しています)。回答結果は在学生の皆さんに公表します。その際、個人が特定されることはありませんので、ぜひ忌憚のないご意見をお寄せください。

なお、2020年度は新型コロナウイルス感染防止のため、施設の使用を一部制限し、皆さんに多大なるご不便をおかけいたしました。皆さんのご理解、ご協力に深く感謝いたします。当調査の一部(アッセンブリー・アワー、学校行事等)については、2020年度以前の、新型コロナウイルスによる制限がなかった時期を念頭に、ご回答ください。また、1年次生におかれましては、「参加したことがない」を選択してください。

問1 所属と学年を教えてください

- ① 看護学科1年 ② 看護学科2年 ③ 看護学科3年 ④ 看護学科4年
⑤ 栄養学科1年 ⑥ 栄養学科2年 ⑦ 栄養学科3年 ⑧ 栄養学科4年
⑨ 大学院看護栄養学研究科

問2 性別を教えてください

- ① 男性 ② 女性

■ 学生生活実態調査

【住居・通学】

問3 現在の住居形態はどれですか？

- ① 実家(家族と同居) ② アパート・マンション(実家以外) ③ 学生会館
④ その他

問4 [問3で②、③と答えた人] 家賃はいくらですか？

- ① 4万円未満 ② 4万～6万円未満 ③ 6万～8万円未満 ④ 8万～10万円未満
⑤ 10万円以上

問5 夏季の通学手段はどれですか？(複数回答可)

- ① 徒歩のみ ② 自転車 ③ 公共交通機関(地下鉄) ④ 公共交通機関(JR) ⑤ 公共交通機関(バス)
⑥ 公共交通機関(市電) ⑦ その他

問6 自宅を出てから大学に着くまで、どれくらいの時間がかかりますか？

- ① 10分未満 ② 10分～30分未満 ③ 30分～60分未満 ④ 60分以上

【食事】

問7 毎日、3食をとっていますか？

- ① 必ず3食食べる ② 時々欠食することがある ③ 欠食することが多い ④ 3食食べることはほとんどない

問8 [問7で②～④と答えた人] 欠食しがちなものはどれですか？(複数回答可)

- ① 朝食 ② 昼食 ③ 夕食 その理由

【健康】

問9 現在、喫煙していますか？ ① はい ② いいえ

問10 [問9で「①はい」と答えた人] 1日何本程度吸いますか？

- ① 3本以下 ② 4～5本 ③ 6～10本 ④ 11分以上

問11 [問9で「①はい」と答えた人] これまで禁煙をしようとしたことがありますか？ ① はい ② いいえ

問12 酒類をどの程度、飲みますか？

- ① 毎日飲む ② 時々飲む ③ ほとんど飲まない ④ 飲まない

問13 あなた自身、または身近な人に法律で禁じられている薬物を使用した人がいますか？ ① はい ② いいえ

問14-1 「実習期間以外の平日」の平均睡眠時間は何時間程度ですか？

- ① 5時間未満 ② 5時間台 ③ 6時間台 ④ 7時間台 ⑤ 8時間以上

問14-2 「実習期間中」の平均睡眠時間は何時間程度ですか？

- ① 5時間未満 ② 5時間台 ③ 6時間台 ④ 7時間台 ⑤ 8時間以上

問15 睡眠で休養が十分とれていますか？ ① はい ② いいえ

【学習】

問16 学校行事と課題・実習等が重なり、負担に感じたことはありますか？ ① はい ② いいえ

問17 [問16で「①はい」と答えた人] 負担に感じたのはどの学校行事ですか？(複数回答可)

- ① イースターの集い ② 合唱コンクール ③ 天使祭 ④ 体育祭 ⑤ 修養会 ⑥ クリスマスの集い
⑦ 戴帽式 ⑧ ステップアップ・セレモニー ⑨ その他

問18-1 「学内」で授業時間以外で、週にどのくらい学習しますか？

- ① 学習しない ② 2時間未満 ③ 2時間台 ④ 3時間台 ⑤ 4時間以上

問18-2 「学外」で授業時間以外で、週にどのくらい学習しますか？

- ① 学習しない ② 2時間未満 ③ 2時間台 ④ 3時間台 ⑤ 4時間以上

【情報処理室、パソコン、携帯電話、SNS】

問19 1週間に授業以外で何日程度、情報処理室を利用しますか？

- ① 1～2日 ② 3～4日 ③ 5～6日 ④ 毎日 ⑤ 利用しない

問20 「休日」に情報処理室を利用することがありますか？ ① はい ② いいえ

問21 遠隔授業を受講する際にあなたが使用するパソコンは以下のうちどれですか？

- ① 自分専用パソコン ② 家族共用パソコン(遠隔授業時、優先的に利用できる)
③ 家族共用パソコン(遠隔授業時、優先的に利用できない) ④ パソコンを持っていない

問22 [問21で「①～③」と答えた人] あなたが持っているパソコンの種類は何ですか？(複数回答可)

- ① デスクトップ型 ② ノート型 ③ タブレット型

問23 [問21で「①～③」と答えた人] あなたが持っているパソコンのOS(オペレーティングシステム)は何ですか？(複数回答可)

- ① Windows ② Mac OS ③ その他

問24 [問21で「①～③」と答えた人] あなたが持っているパソコンにカメラ・マイク(外付けも含む)は付いていますか？(複数回答可)

- ① カメラが付いている ② マイクが付いている ③ 両方とも付いていない

問25 [問21で「①～③」と答えた人] あなたが持っているパソコンで「Microsoft Office」は利用できますか？

- ① 利用できる ② 利用できない

問26 自宅のインターネット環境を以下から選択してください

- ① 一軒家・マンション等の有線LAN・無線LAN(Wi-Fi) ② モバイルWi-Fiルーター
③ スマートフォン・タブレット端末等(テザリング) ④ その他

問27 天使大学の無線LAN(tenshiWLAN)を使ったことがありますか？

- ① よく使用する ② たまに使用する ③ ほぼ使用しない ④ 使用したことがない

問28 あなたはスマートフォンを使用していますか？ それともフィーチャーフォン(ガラケー)を使用していますか？

- ① スマートフォン ② フィーチャーフォン ③ どちらも使用していない

問29 あなたはどのようなSNSを利用していますか？(複数回答可)

- ① LINE ② Instagram ③ twitter ④ facebook ⑤ TikTok
⑥ いずれも利用していない ⑦ その他

問30 あなたは今まで、SNSでトラブルになったことがありますか？ ① ある ② ない

問31 [問30で「①ある」と答えた人] それはどのようなトラブルですか？

【経済】

問32 アルバイトをしていますか？ ① はい ② いいえ

問33 [問32で「①はい」と答えた人] 学期中、アルバイトを平均週何時間程度していますか？

- ① 10時間未満 ② 10時間～20時間未満 ③ 20時間～30時間未満 ④ 30時間以上

問34 [問32で「①はい」と答えた人] アルバイトによる学業への影響はありますか？

- ① ある ② あまりない ③ まったくない

問35 [問32で「①はい」と答えた人] アルバイトをしている理由は何ですか？(複数回答可)

- ① 学費のため ② 生活のため ③ サークル活動や趣味のため ④ その他

問36 [問32で「①はい」と答えた人] アルバイトの職種は何ですか？(複数回答可)

- ① 家庭教師・塾講師 ② 一般事務 ③ 配達・運搬 ④ 接客サービス(喫茶・飲食・ファストフード)
⑤ 接客サービス(販売・コンビニ・ホテル等 飲食以外) ⑥ 調理(ホール) ⑦ イベントスタッフ ⑧ 清掃
⑨ 天使大学(図書館、情報処理室等) ⑩ その他

問37 [問32で「①はい」と答えた人] 1カ月のアルバイト収入は平均いくらですか？(新型コロナウイルスの影響は考えないものとします)

- ① 3万円未満 ② 3～5万円未満 ③ 5～10万円未満 ④ 10万円以上

問38 現在、生活費は十分ですか？ ① はい ② いいえ

【課外活動】

問39 「学内」の部・サークルに所属していますか？ ① はい ② いいえ

問40 「他大学・外部団体」の部・サークル等に所属していますか？ ① はい ② いいえ

問41-1 [問40で「①はい」と答えた人] 所属する「他大学・外部団体」の部・サークル等の名称を教えてください

問41-2 [問40で「①はい」と答えた人] 所属する「他大学・外部団体」の活動内容を教えてください

問41-3 [問40で「①はい」と答えた人] 所属する「他大学・外部団体」の所属先を教えてください(〇〇大学etc、所属先がなければ「特になし」と記入してください)

問42 大学入学後、ボランティア活動をしたことはありますか？ ① はい ② いいえ

問43 [問42で「②いいえ」と答えた人] これからボランティアを経験してみたいですか？ ① はい ② いいえ

【オフィスアワー】

問44 あなたはこれまでにオフィスアワーを利用したことがありますか？

- ① はい ② いいえ

【その他】

問45 あなたはこれまでに自己開発セミナーや新興宗教(カルト)に参加したことがありますか？

- ① はい ② いいえ

問46 [問45で「①はい」と答えた人] それは何という団体ですか？

問47 あなたはこれまでにキャッチセールス、マルチ商法、インターネットのワンクリック詐欺等の被害にあったことがありますか？

- ① ある ② ない

問48 [問47で「①ある」と答えた人] それはどのような被害ですか？

問49 あなたは今まで学内でハラスメント(セクシャルハラスメント・アカデミックハラスメント等)を受けたことがありますか？

- ① ある ② ない

問50 [問49で「①ある」と答えた人] それはどのようなハラスメントでしたか？

■ 学生満足度調査

満足度

- ①満足 ②どちらかといえば満足 ③どちらかといえば不満足 ④不満足 ⑤経験していない
使用したことがない

【施設・設備】

問51 駐輪場を使用したことがありますか？ ① ある ② ない

問52 [問51で「①ある」と答えた人] 駐輪場にかかわる、次の項目について満足していますか？

- ・広さ・駐輪台数 ① ② ③ ④ ・場所 ① ② ③ ④

駐輪場に関する意見

問53 ロッカー室・ロッカーにかかわる、次の項目について満足していますか？

- ・ロッカー室の広さ ① ② ③ ④ ・ロッカーの大きさ ① ② ③ ④ ・場所 ① ② ③ ④ ・室温 ① ② ③ ④

ロッカー室・ロッカーに関する意見

問54 トイレにかかわる、次の項目について満足していますか？

- ・広さ ① ② ③ ④ ・数 ① ② ③ ④ ・場所 ① ② ③ ④ ・室温 ① ② ③ ④

トイレに関する意見

問55 講義室にかかわる、次の項目について満足していますか？

《2号館》2303(大講義室)

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤
・Wi-Fi 環境 ① ② ③ ④ ⑤

2号館の講義室に関する意見

《3・4号館》 3205、3206、3207、3301(階段教室)、3302、3305、4202(大講義室)、4203(大講義室)、4303(階段教室)

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤
・Wi-Fi 環境 ① ② ③ ④ ⑤

3・4号館の講義室に関する意見

《6・7号館》 6101、6301、6303、7302、7405

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤
・Wi-Fi 環境 ① ② ③ ④ ⑤

6・7号館の講義室に関する意見

問56 実習室・実験室にかかわる、次の項目について満足していますか？

《2号館》 2302(看護実習室)、2404(生理学実験室)、2411(理化学実験室)

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤
・Wi-Fi 環境 ① ② ③ ④ ⑤

2号館の実習室・実験室に関する意見

《6号館》 6401(第1看護実習室)、6505(第2看護実習室1_地域)、6506(第3看護実習室_母性等)、6507・6508(第4・5看護実習室)

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤
・Wi-Fi 環境 ① ② ③ ④ ⑤

6号館の実習室・実験室に関する意見

《7号館》 7102・7103(給食経営管理実習室)、7203(第2臨床栄養実習室)、7304(食品・調理実験実習室)、7406(栄養教育実習室)

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤
・Wi-Fi 環境 ① ② ③ ④ ⑤

7号館の実習室・実験室に関する意見

問57 ゼミ室にかかわる、次の項目について満足していますか？

- ・広さ(席数) ① ② ③ ④ ⑤ ・数 ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤ ・室温 ① ② ③ ④ ⑤

ゼミ室に関する意見

問58 体育館にかかわる、次の項目について満足していますか？

- ・広さ ① ② ③ ④ ⑤ ・明るさ ① ② ③ ④ ⑤
・室温 ① ② ③ ④ ⑤ ・視聴覚機器・音響 ① ② ③ ④ ⑤

体育館に関する意見

問59 図書館にかかわる、次の項目について満足していますか？

- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| ・広さ(席数) | ① ② ③ ④ | ・明るさ | ① ② ③ ④ |
| ・室温 | ① ② ③ ④ | ・開館時間 | ① ② ③ ④ |
| ・蔵書の種類 | ① ② ③ ④ | ・蔵書数 | ① ② ③ ④ |
| ・AV 視聴室 | ① ② ③ ④ | ・グループ学習室 | ① ② ③ ④ |
| ・Wi-Fi 環境 | ① ② ③ ④ | ・担当者の対応 | ① ② ③ ④ |

図書館に関する意見

問60 学内の自習場所(図書館も含めて)の数について満足していますか？ ① ② ③ ④

自習場所に関する意見

問61 情報処理室(大学院生の場合は「院生学習室」)にかかわる、次の項目について満足していますか？

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| ・パソコン台数 | ① ② ③ ④ ⑤ | ・プリンター台数 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| ・明るさ | ① ② ③ ④ ⑤ | ・室温 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| ・開室時間 | ① ② ③ ④ ⑤ | ・機器の性能 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| ・担当者の対応 | ① ② ③ ④ ⑤ | | |

情報処理室・院生学習室に関する意見

問62 シスター川原ユキエFMM記念チャペルにかかわる、次の項目について満足していますか？

- | | | | | | |
|---------|-----------|------|-----------|-----|-----------|
| ・広さ(席数) | ① ② ③ ④ ⑤ | ・明るさ | ① ② ③ ④ ⑤ | ・室温 | ① ② ③ ④ ⑤ |
|---------|-----------|------|-----------|-----|-----------|

シスター川原ユキエ FMM 記念チャペルに関する意見

問63 マリアホール(2号館1階フロア全体)にかかわる、次の項目について満足していますか？

- | | | | | | |
|-----------|-----------|------|-----------|-----|-----------|
| ・広さ(席数) | ① ② ③ ④ ⑤ | ・明るさ | ① ② ③ ④ ⑤ | ・室温 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| ・Wi-Fi 環境 | ① ② ③ ④ ⑤ | | | | |

マリアホール(2号館1階フロア全体)に関する意見

問64 学部生ラウンジ(3号館1階)にかかわる、次の項目について満足していますか？

- | | | | | | |
|-----------|-----------|------|-----------|-----|-----------|
| ・広さ(席数) | ① ② ③ ④ ⑤ | ・明るさ | ① ② ③ ④ ⑤ | ・室温 | ① ② ③ ④ ⑤ |
| ・Wi-Fi 環境 | ① ② ③ ④ ⑤ | | | | |

学部生ラウンジ(3号館1階)に関する意見

【学生支援】

問65 本学に入学後、奨学金を希望したことがありますか？

- ① 希望したことがある ② 希望したことがない

問66 [問65で「①希望したことがある」と答えた人] 奨学金にかかわる、次の項目について満足していますか

・奨学金の種類 ① ② ③ ④ ・手続方法 ① ② ③ ④ ・金額 ① ② ③ ④ ・担当者の対応 ① ② ③ ④

奨学金に関する意見

問67 学生相談室にかかわる、次の項目について満足していますか？

・開室時間 ① ② ③ ④ ⑤ ・場所 ① ② ③ ④ ⑤ ・担当者の対応 ① ② ③ ④ ⑤

学生相談室に関する意見

問68 保健相談室にかかわる、次の項目について満足していますか？

・開室時間 ① ② ③ ④ ⑤ ・場所 ① ② ③ ④ ⑤ ・担当者の対応 ① ② ③ ④ ⑤

保健相談室に関する意見

問69 就職相談室にかかわる、次の項目について満足していますか？

・開室時間 ① ② ③ ④ ⑤ ・場所 ① ② ③ ④ ⑤
・就職に関する情報提供 ① ② ③ ④ ⑤ ・担当者の対応 ① ② ③ ④ ⑤

就職相談室に関する意見

問70 学生支援教員の対応について満足していますか？ ① ② ③ ④

学生支援教員に関する意見

問71 学内に相談できる人はいますか？(複数回答可)

① 学生支援教員 ② 学生支援教員以外の教員 ③ 職員 ④ 友人・先輩 ⑤ いない
⑥ その他

問72 学生に対する職員の対応について満足していますか？

・総務課 ① ② ③ ④ ⑤

総務課に関する意見

・学務課 ① ② ③ ④ ⑤

学務課に関する意見

・財務室 ① ② ③ ④ ⑤

財務室に関する意見

・入試・広報室 ① ② ③ ④ ⑤

入試・広報室に関する意見

・警備員 ① ② ③ ④

警備員に関する意見

【アッセンブリー・アワー】 学部生のみ回答してください

問73 アッセンブリー・アワーのプログラム内容について満足していますか？ ① ② ③ ④ ⑤

問74 [問73で③・④と答えた人] どのプログラムに不満を持っていますか？(複数回答可)

① 学生委員会関係 ② 就職委員会関係 ③ 宗務委員会関係 ④その他

アッセンブリー・アワーに関する意見

【学校行事・ミサ】

問75 次の学校行事・ミサについて満足していますか？

(1) 全員回答してください

・イースターの集い ① ② ③ ④ ⑤ ・クリスマス集い ① ② ③ ④ ⑤ ・毎週のミサ(昼休み) ① ② ③ ④ ⑤

(2) 学部生のみ回答してください

・合唱コンクール ① ② ③ ④ ⑤ ・天使祭 ① ② ③ ④ ⑤ ・体育祭 ① ② ③ ④ ⑤

・修養会 ① ② ③ ④ ⑤ ・チャペルアワー ① ② ③ ④ ⑤

学校行事・ミサに関する意見

【学生支援ポータルサイト T-NAVI、学内Wi-Fi環境】

問76 学生支援ポータルサイト T-NAVIについて満足していますか？(使いやすさ・便利さ等) ① ② ③ ④

学生支援ポータルサイト T-NAVIに関する意見

問77 学内のWi-Fi環境について満足していますか？(つながりやすさ、つながる範囲、接続方法等) ① ② ③ ④

・Wi-Fiのつながりやすさ ① ② ③ ④ ⑤ ・Wi-Fiのつながる範囲 ① ② ③ ④ ⑤

・Wi-Fiの接続方法 ① ② ③ ④ ⑤

学内 Wi-Fi 環境に関する意見

【本学での学生生活満足度、その他】

問78 新型コロナウイルスに対する大学の対応について満足していますか？

・感染防止対策 ① ② ③ ④

・経済支援 ① ② ③ ④

・授業(遠隔・対面) ① ② ③ ④

新型コロナウイルスに対する大学の対応に関する意見

問79 2020年3月に完成した2号館(新棟)、4号館・外構・中庭の改修について満足していますか？

① ② ③ ④

2号館(新棟)、4号館・外構・中庭の改修に関する意見

問80 総合的にみて、あなたは本学での学生生活に満足していますか？

① ② ③ ④

その理由

問81 その他、本学の学生生活についての意見、施設・設備等に関する要望がありましたら、自由に記入してください

ご協力ありがとうございました。

2020年度学生生活についての調査

(4) 調査対象と回収率

〔看護栄養学部〕

学科学年	在学者数	回収枚数	回収率
看護学科 1年	101	94	93.1%
看護学科 2年	99	91	91.9%
看護学科 3年	99	91	91.9%
看護学科 4年	91	77	84.6%
看護学科 合計	390	353	90.5%

学科学年	在学者数	回収枚数	回収率
栄養学科 1年	92	84	91.3%
栄養学科 2年	86	84	97.7%
栄養学科 3年 ※1	98	90	91.8%
栄養学科 4年 ※1	88	82	93.2%
栄養学科 合計	364	340	93.4%

看護栄養学部 合計	754	693	91.9%
--------------	-----	-----	--------------

〔大学院〕

専攻コース学年	在学者数	回収枚数	回収率
成人看護学コース 1年	1	1	100.0%
保健師コース1年	1	0	0.0%
老年看護学 CNSコース1年	2	2	100.0%
精神看護学コース 2年	2	2	100.0%
保健師コース2年	8	8	100.0%
ホスピス緩和ケア 看護学コース2年	1	1	100.0%
老年看護学 CNSコース2年	1	1	100.0%

専攻コース学年	在学者数	回収枚数	回収率
栄養管理学専攻 博士前期課程2年	3	2	66.7%
栄養管理学専攻 博士後期課程1年	2	2	100.0%
栄養管理学専攻 博士後期課程3年	5	4	80.0%

大学院 合計	26	23	88.5%
--------	----	----	--------------

総計	780	716	91.8%
----	-----	-----	--------------

在学者数 2021年1月1日現在

8. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 新入生及び在学生に対して、学生が安心して学生生活を送れるように、ハラスメントに対する知識を深めるため、講習会を実施する。</p> <p>2. 新規の内容が反映されたガイドラインを作成し、学生に周知する。</p> <p>3. より効果的な啓発活動について検討し、ハラスメントに対する啓発活動を行う。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>7. 学生生活支援 1-② ③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>IV-2-(4) ハラスメントへの対応</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. ハラスメント防止に関する学生への啓発活動は、コロナ感染拡大のため全て中止になった。このことにより、学生に対してハラスメント防止に関する学習機会を提供することができなくなった。また、啓発し利用の配布を検討したが、学生の登校がほとんどなかったため、状況に適した配布物の検討ができなかった。We bを活用した実施、啓発資料などの配布が課題となった。</p> <p>2. 昨年度の規程の改訂を受けて、「天使大学ハラスメント防止および問題解決のためのガイドライン」および「天使大学キャンパス・ハラスメント相談員のための対応マニュアル」を学内の現状に合わせて修正し、かつ、相談の流れがより分かりやすくなるよう、フローチャートを作成した。これらのガイドラインは、学内の教員及び学生に学内L A N及びT-NAVI を使って周知した。</p> <p>3. 学生生活実態調査の際にハラスメント調査を実施した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 新入生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。</p> <p>2. 実習に行く前に、言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、3年生を対象とした講演会を開催する。</p> <p>3. ポケットカードを作成・配布し、防止のための啓発活動を行う。</p> <p>4. 定期的なキャンパス・ハラスメント実態調査アンケート実施に向けて検討を行う。</p> <p>5. 相談員及びキャンパス・ハラスメント対策委員会構成員を対象とするハラスメントに関する研修会を実施する。</p>

8. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 3. カトリックの精神に基づく宗教的環境を整備する。 4. カトリックの精神に基づく研修会へ参加する。 5. カトリックセンターとの連携を図る。 6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 7. 2020 年度カトリック医療関連学生セミナーに学生の参加を促す。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準1 理念・目的 ①、②、③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>I-1 建学の精神の浸透</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 天使大学の理念である「愛をとおして真理へ」を実践するために、宗教的行事の中で人間育成を図った。</p> <p>2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。</p> <p>1) 学生および教職員を対象とする宗教的行事を実施した。</p> <p>①クリスマスの集いを企画運営し宗務委員等で実施した。学部1年次生はZoom配信し、100名の参加があり、クリスマスプレゼントを配布した。また、2年次以降の学生へGoogle Classroomを利用して、チャペルで録画した動画を配信し、73名の参加があった。</p> <p>②週日のミサの企画運営をした。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、7月より開催した。</p> <p>③その他の宗教的行事（クリスマスツリー点灯式、灰の儀式）の企画運営を行った。</p> <p>④卒業・修了感謝のミサを企画運営した。今年度は午前と午後の2回分けて、分散開催とした。</p> <p>2) 学生を対象とする宗教的行事を実施した。</p> <p>①前期チャペルアワーは、ケン神父のメッセージを録画した動画を配信した。 後期チャペルアワーは、学部1年次生のみ、ケン神父のメッセージをZoomで実施した。63名の参加があった。</p> <p>②学生修養会でケン神父が講話、祈り、ミサを担当した。</p> <p>3) 教職員を対象とする宗教的行事を実施した。</p> <p>①教職員修養会のミサの役割者を決め依頼し、当日参加者と録画動画の視聴者に分けて実施した。 対象教職員 105名 出席者 100名（出席率95.2%） アンケートの結果：満足した44.2%、ある程度満足した47.7%、あまり満足しなかった8.1%、不満足0%</p> <p>②退職される教職員への感謝ミサの企画運営をした。</p> <p>※上記の宗教的行事を実施するにあたり、T-NAVI やメール配信を利用し、行事の目的や内容などの周知をはかり、学生や教職員の参加を促した。</p> <p>3. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。 ミサを実施するにあたり、チャペルに生花を飾った。</p>

	<p>クリスマスに向けてチャペル、学生・正面玄関にクリスマスツリーを設置した。 クリスマスキャロルをお昼休みに流し、クリスマスに向けての雰囲気づくりを行った。</p> <p>4. カトリックの精神に基づく研修会へ参加する。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で参加することを中止した。</p> <p>5. カトリックセンターとの連携を図る。 カトリックセンターとの連携し、教職員修養会のミサの役割者を決め依頼し、当日の運営を行った。</p> <p>6. アッセンブリー・アワーの日程・運営を調整する。 各学科、学生支援教員、各位委員会等の希望を伺い日程・運営を調整したが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、アッセンブリー・アワーの時間を授業に振り替えたため中止した。</p> <p>7. 2020年度カトリック医療関連学生セミナーに学生の参加を促す。 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、来年度に延期になった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の発症状況下での宗教的行事（イースターの集い、チャペルアワー、クリスマスの集い）の運営方法等について検討する。</p> <p>2. カトリック精神を涵養する宗教的行事等について、ホームページやT-NAVI、メールなどを利用し、行事の目的や内容などの周知を行い、学生・教職員の参加率を上げる。</p> <p>3. 新任教職員へ建学の精神の説明を行い、キリスト教精神に基づく人間の育成を図る。</p> <p>4. カトリック精神に基づく研修会・セミナーへ積極的に参加を促す。</p> <p>5. 宗教的環境を整備する。</p> <p>6. カトリックセンターとの連携を図る。</p>

8. 学生生活

担 当：助産研究科（教務委員会）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学生生活全般への支援 2. 学生の健康支援 3. 学生生活実態調査実施</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) (日本助産評価機構 基準番号) 4-1-1、4-2-1・2</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) VI-1 (3) (4) (5) VI-2 (1) (2) (3)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 学生生活全般への支援</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、新学期から登校が始まるまでの間は、電話、T-NAVI、オンラインを活用し、また登校が始まった7月から引き続き以下のことを行った。</p> <p>1) メンターシップによる学修・生活支援の充実</p> <p>入学時から学生一人ひとりにメンター（よき助言者）となる専任教員をおき、学習進捗を確認し、学生の専門職者としての自己課題の発見および成長に必要な指示、方向付け、フィードバックなどの支援を行った。また、学生生活全般（健康状態を含む）についての相談役となり、支援を行った。特に実習上問題や困難が生じた者については、その都度個人面談を行い、方向付けをした。</p> <p>（休学・復学時の前後にも個人面談を行うとともに休学期間の生活についての助言・指導を行った。）</p> <p>特に4月から6月までの入構禁止期間においては、メンターより一人ひとりの院生と連絡を取り、不安や孤独感の軽減を図るとともに学修支援を行った。</p> <p>2) 学生の経済的支援</p> <p>奨学金は、天使大学奨学金、天使大学同窓会、日本学生支援機構奨学金、日本助産師会奨学金、北海道看護職員修学資金等を紹介した。また、道内病院の奨学金、地方自治体や団体等の奨学事業も積極的に紹介した。</p> <p>2019年度の修了生、成績優秀者1名の日本学生支援機構奨学金の免除申請の推薦を行った。</p> <p>3) 学生生活ガイドブックの充実</p> <p>学生生活ガイドブックを全院生・教職員へ年度初めに配布（郵送）した。学生生活全般について理解できるよう内容の充実に努めた。</p> <p>4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急増するSNSのトラブルと使用上の注意点等について、登校時や実習前に繰り返し、喚起した。 ・災害傷害保険（日本看護学校協議会共済会の共済制度「WILL」）への加入を義務づけ、実習中等に傷害・賠償・感染事故が発生した場合の対応策をとった。 <p>2. 学生の健康支援</p> <p>1) 保健相談室の現状</p> <p>学生の定期健康診断はセット検診（X線撮影、身体計測、聴力、聴打診、血液採取等）を実施した。また、季節性のインフルエンザ感染予防対策としてマタニティサイクル助産ケア統合I実習の開始前に予防接種を奨励し、全員が接種した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、3密を避けること、ソーシャルディスタンスの保持、使用後の物品の消毒を徹底することを繰り返し注意喚起した。さらに実習</p>

	<p>施設からの要請により、実習前にPCR検査を行った。</p> <p>2) 学生相談室の現状</p> <p>学生相談室の相談員を2名体制とし週5日の開室日を設けていること、月曜日から金曜日までいつでも相談を受けられる体制であることを周知した。</p> <p>3. 学生生活実態調査「天使大学大学院生学生生活についての調査」を教育分野・基礎分野2年次生に修了前に実施した。</p>
<p>次度への課題</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら、学生生活全般にわたる支援。</p> <p>2. 経済的支援として、各種奨学金紹介のより一層の充実を図るとともに、給付型奨学金の掘り出しと紹介。</p> <p>3. 学生相談室、保健相談室の相談員と連携し、学生の心身両面への健康支援についての更なる充実。</p> <p>4. 社会問題となっているSNSのトラブルと個人情報の漏洩防止について、特に実習開始前並びに実習中にも注意喚起を継続。</p>

9. 就職支援

担 当： 就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 2. 就職活動に関する支援活動 3. 求人開拓の実施 4. 教職課程（栄養教諭）履修者への就職支援 5. 就職相談室の環境整備 6. 就職状況調査の実施、分析・評価 7. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 8. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援</p> <p>（大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄） 基準7 ①～③</p> <p>（中期計画戦略目標に該当する項番記入欄） VI-VI-3（1）～（2）、VI-VI-4（3）</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施</p> <p>1) 就職ガイダンス・セミナーの企画 各学科学年の就職活動時期に合わせガイダンス・セミナーを企画した。</p> <p>2) 就職ガイダンス・セミナーの内容の充実・強化 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ガイダンス・セミナーの実施に制限はあったが、実施方法を対面からオンライン、T-NAVI に切り替えることで内容を精査、吟味し強化に努めた。</p> <p>3) 就職ガイダンス・セミナーの実施 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、企画どおりの日程、内容では実施することができなかったものもあったが、実施方法を対面からオンラインに切り替え、内容を吟味し実施した。また、T-NAVI を利用し、就職活動に役立つ常に最新情報を配信した。</p> <p>例年1月に実施している栄養学科3年次生対象の「就職活動終了者の体験談」はオンラインで実施し、講師の栄養学科4年次生5名には自宅から体験談を話してもらい、その後、希望業種別に分かれグループワークを行った。3年次生がこれから始まる就職活動に向けての疑問、不安な点等を積極的に質問し、活発なグループワークが行われた。</p> <p>4) 学内企業説明会の企画・開催 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面ではなくオンラインで栄養学科3年次生対象に9回（16社）開催し、延べ346名の学生が参加した。</p> <p>2. 就職活動に関する支援活動</p> <p>1) 就職相談員による個人面談・面接演習・履歴書添削等の支援 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制で行った。午前は就職相談室資料閲覧、午後からはZoom、電話、メールによる個人面談、面接演習、履歴書添削、小論文添削等の支援を行い内定につなげた。</p> <p>就職相談：307回 書類添削：159回 面接練習：164回（2021年2月末現在） 内定率 看護学科：98.8% 栄養学科：82.8%（3月5日現在）</p> <p>2) 就職委員による就職活動全般の支援 各学科の就職委員、学生支援教員、学務課で連携し、就職活動全般の支援を行った。</p> <p>3) 札幌新卒応援ハローワークによる模擬面接演習 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学内での学卒ジョブサポーターによる模</p>

擬面接演習は実施しなかった。しかし、学卒ジョブサポーターと求人情報等の情報交換を行い、学生を内定につなげることができた。

3. 求人開拓の実施

1) 病院・福祉施設等への求人票の送付

学生のニーズに対応するため栄養学科実習施設や企業、病院等に求人依頼のパンフレット等を配布した。今年度は、関東の病院（400床以上）にも送付し新規開拓に努めた。

2) 一般企業（食品・栄養関係）新規求人開拓

2月末に食品・栄養関係、調剤薬局等へ求人依頼のパンフレット等を発送した。

3) 病院・企業訪問の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、病院・企業訪問は行わなかったが、オンラインで採用担当者と情報交換を行った。

4. 教職課程（栄養教諭）履修者への就職支援

1) 教職課程委員会との連携

教職課程委員会と連携し、教職課程履修者への就職活動支援を行った。

2) 教員採用試験出題傾向分析と試験対策ガイダンス等の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4年次生対象の教員採用1次ガイダンスは、対面では実施できず、願書、資料等を教職課程履修者へ送付した。教員採用試験後に実施している自己採点会も対面では実施できず、オンラインで行った。2次検査対策直前セミは、教職課程担当教員等が出題傾向等の分析を行い、対面で行った。その結果、北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、6名（一次合格者11名受験中）であった（全採用登録者21名）。

5. 就職相談室の環境整備

1) 相談・資料閲覧しやすい環境の整備

就職相談室の4号館1階（4113室）への移動（7月）に伴い、学生が求人票、受験報告書等の資料を閲覧しやすいように書棚、閲覧テーブル等を配置し、環境の整備を行った。入口には、手指消毒用アルコールを設置した。閲覧テーブルには、飛沫防止パーティションを設置し、常に換気し、感染対策を行った。

6. 就職状況調査の実施、分析・評価

1) 就職状況調査の実施

2019年度卒業・修了生198名（看護91名、栄養91名、助産14名、看栄研2名）を対象に就職状況調査（2020年12月～2021年2月末）を実施した。今年度は、教育内容の質の向上、改善に役立てるための質問項目を追加した。

2) 就職状況調査の分析・評価

調査の回答率は、全体で41.6%（前年度41.7%）であった。コロナ禍での調査であったため回答率の低下を予想していたが、例年どおりの回答率であった。今後、調査結果を分析し就職活動支援に役立てる。

3) 評価による問題点等の改善検討

集計結果を基に課題等を洗い出し、分析し、問題点は改善し、就職活動支援につなげる。

7. 就職・採用状況等に関する情報交換及び最新情報収集

1) 他大学との情報交換及び最新情報収集

例年に比べ他大学との情報交換は出来なかったが、オンラインでの日本私立大学協会北海道支部就職指導研究協議会に参加し、コロナ禍での就職支援方法、内定率、感染対策等について情報交換を行った。

	<p>2) 日本私立大学協会・日本私立大学北海道支部との情報交換及び最新情報収集 オンラインでの日本私立大学協会北海道支部就職指導研究協議会に参加し、コロナ禍での就職支援方法、内定率、感染対策等について情報交換を行った。各大学からコロナ禍に対応した取り組み等を伺うことができ、とても有意義な協議会であった。</p> <p>3) 全国私立大学就職指導研究会との情報交換及び最新情報収集 全国私立大学就職指導研究会には、参加できず、情報交換をすることが出来なかった。</p> <p>4) 就職情報関連企業との情報交換及び最新情報収集 就職情報会社から病院、企業等の採用数、採用状況、内定状況等の最新情報を収集し、電話、Zoom等で情報交換を行った。</p> <p>5) 就職関連研修会・セミナー等への参加 対面での研修会・セミナー、合同企業説明会には、出席できなかったが、オンラインでの研修会等に参加し、最新情報の収集を行った。</p> <p>8. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援</p> <p>1) 求人情報の配信 求職登録者に求人情報等を配信し、就職支援を行った。 求職登録者数：15名 内定者数：1名</p> <p>2) 直接来室した場合の就職支援 受験報告書、求人票の閲覧に3名の卒業生が来室し、対応した。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. コロナ禍での就職ガイダンス、セミナーの企画 当面の間は、オンラインでの就職ガイダンス、セミナーの企画となるが、感染状況をふまえ、感染対策をしっかりと行った上で対面での就職ガイダンス、セミナーの企画を検討する。</p> <p>2. 就職相談室を利用しない学生への積極的就職支援 4年次の11月末までに一度も就職相談室を利用していない学生を対象に面談を実施し、就職活動状況の把握を行い、希望する就職先への内定につなげる。</p> <p>3. 就職状況調査（離職調査）の回答率の向上 在学中に卒業後「就職状況調査」を実施することについて説明を行い、回答の協力を求める。回答方法（Google Forms等）、調査内容については今年度に引き続き検討する。</p> <p>4. 就職面談室（4107）の利用方法の検討 オンラインによる就職相談や採用試験等に対応できるように通信環境を整備する。</p>

9. 就職支援

担 当：助産研究科（教務委員会）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学生のニーズに応じた就職支援体制の強化 2. 就職相談室との連携の強化</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) (日本助産評価機構 基準番号) 4-2-3</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) VI-3 (1) (2) VI-4 (3)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 就職支援 当初予定をしていた、就職に向けてのガイダンス並びに接遇（就職面接に向けて）は、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止とした。尚、それに変えて次のことを実施した。 1) エントリーシート（自己PR）の書き方について「マイナビ」と「リクナビ」で行っているオンライン講座を学務課より「T-NAVI」にて配信した。 2) オンラインによる合同病院セミナー（説明会）の紹介 3) 就職ガイドブックの配布（郵送） 4) 就職活動と就職支援に関する調査の実施</p> <p>2. 就職相談室との連携 1) 就職相談室によるセミナー（求人情報の閲覧）を「密」を避けるために予約制にして行った。 2) 就職相談員より面接練習、履歴書等の作成について、電話、Zoomで行った。 3) メンターを中心に就職に関する質問、相談を行った。 4) 就職状況の調査を学生課（就職担当・就職相談室）と連携を取りながら行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学生のニーズに応じた支援体制の強化。 2. 就職相談室との協働支援の強化。</p>

10. 図書館

担 当：図書情報課委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 図書館が新しくなり、またラーニングコモンズが新設されたことから、学生のアクティブ・ラーニングが実践される環境づくりを進めるとともに、本学の建学の精神を生かした活用法を具現化していくことを次の課題としたい。</p> <p>2. 施設面での環境整備が引き続き行われるため、より良いスペースとなるよう、全学をあげて、協力体制をとることとしたい。</p> <p>3. 学科・科・研究科と連携し、図書館のさらなる活用方法を考え、実践していく。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準2 ④</p> <p>基準8 ③</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 新図書館とラーニングコモンズについては、コロナ対策として、三密回避や換気、消毒作業を日々継続して実施し、感染防止の徹底を図っている。</p> <p>2. 学生及び教員からの文献検索希望については、図書館から希望学生等にリモートによる利用方法を案内し、3～4年生に限らず、全学年からの要望に応じることができた。</p> <p>3. 利用頻度の極めて低い図書について調査し、各学科・科・研究科に必要な有無を確認して、図書情報委員会で最終判定を行い、蔵書管理の徹底を図った。</p> <p>4. グループ学習室については、三密回避のため、当初利用を中止したが、教育研究評議会及び新型コロナウイルス感染症対策本部から、感染対策を十分講じて開室するようにとの指示があり、机の配置を工夫し、常時ドアを開放して、使用前後の消毒作業を行った上、各室1名ないしは2名の利用を続けている。</p> <p>5. 図書館は、平日 17:00-21:00、土日・祝日 10:00-17:00 を開館とし、学生アルバイト導入を復活した。</p> <p>2020年度中はアルバイトの補充ができなかったため、2月に1～2年生の補充を行い、次年度への体制固めを行った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. コロナ禍が収束するまで、学生・教職員の感染防止のため、三密回避・マスクの常時着用・毎日の消毒作業などを徹底する。</p> <p>2. 遠隔授業用の設備等については、今後も補助金申請などを行って補強し、教育及び研究環境の改善に努める。</p>

1.1. 情報処理システム

担 当：図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理</p> <p>2. 新棟建設に伴うサーバー室移設</p> <p>3. 学内ネットワークの強化</p> <p>4. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実</p> <p>5. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓発</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年以上に情報システムが活用された。障害発生時には職員間で連携の基、解消に努めた。</p> <p>2号館無線 LAN に接続不良等の課題が見られるため、導入ベンダーと連携し、課題の解消に取り組む必要がある。</p> <p>2. 新棟建設に伴うサーバー室移設</p> <p>8月14日-16日に4号館サーバー室より2号館サーバー室へサーバー、ネットワーク機器類を移設した。また、8月19日に他課・室職員協力の基、周辺機器類及び什器類を移設した。</p> <p>3. 学内ネットワークの強化</p> <p>当初の予定では7月に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による、遠隔授業の実施に伴い、5月に実施した。</p> <p>2020年11月に申請した文部科学省による補助金の交付が決定した場合、学内ネットワークのさらなる強化を予定している。</p> <p>4. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用頻度は上がったが、掲載情報の充実化には至っていない。</p> <p>5. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓発</p> <p>遠隔授業の実施により、要所で注意喚起を実施したが、全学的なセキュリティ強化にはつながっていない。次年度は、Google Classroom 等の活用を検討する。</p> <p>2020年度は遠隔授業に関わる要件整理や支援業務が多くあった為、当初計画は未達成となった。遠隔授業に関わる運用検討や設備整理は一定の水準に達した為、次年度は計画通り実践するよう努める。</p>

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. サーバシステム、学内LAN、無線LAN環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理2. 新型コロナウイルス感染状況に応じた情報処理設備の運用及び活用3. 学内ネットワークの拡張4. 学内LAN掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実5. 教職員、学生への情報セキュリティ対策の啓発6. 次期サーバネットワークシステムの更新検討
---------	--

12. 施設・設備

担 当： 事務局（財務室）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期施設整備計画に基づき、既存棟における建物や設備の老朽化に伴う改修工事や機器の更新工事を実施する。</p> <p>2. 新棟の竣工に伴っての光熱水費上昇に注視し契約について見直しを検討する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準8 教育研究等環境②、⑥</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>VIII-4</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 中期計画に則り6号館空調圧縮機更新工事及び4号館、8号館の屋上防水工事を実施し施設の整備を行った。</p> <p>また、新棟が完成し体育館、講義室、実習室の他、ラーニングcommonsも設置され学生の学習環境は大幅に改善されたと考える。</p> <p>加えてテニスコートを駐車場に用途変更し、天使病院職員の利用を可能とすることにより天使病院との連携を深めた。</p> <p>2. 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため遠隔授業を実施したことから、学生の登校日が限られたため、既存建物の光熱水費は昨年度より抑えられた。しかし、新棟が完成したことから全体の光熱水費は増額した。</p> <p>引き続き光熱水費の上昇に注視し、費用の削減に向けて検討する。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中期施設整備計画に基づき、既存棟における建物や設備の老朽化に伴う改修工事や機器の更新工事を実施する。</p>

13. 管理運営

担 当：事務局（総務課）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 学長のリーダーシップを支えるために設置された副学長は、改めて「大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程」の設置に向けて取り組むとともに、教学事項について幅広く特命事項を検討する。</p> <p>2. 2019年度に策定した中期計画に基づき、2020年度に大学運営の方針を策定する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>基準10 大学運営・財務－(1) 大学運営－①・②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>戦略目標Ⅱ－1 (1)</p> <p>戦略目標Ⅳ－1 (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 副学長の任期満了に伴い2020年度から学長を支える教学マネジメントの一つとして、新たに学長補佐体制を整備した。学長補佐については、学長からの諮問事項について相談に預かり報告する役割を担うものであるが、決定権限は有しないものである。</p> <p>学長が指名し、理事長が任命するものであり、2020年4月から学長補佐に、教務部長、学生部長、宗務舞踏、図書館長及び事務局長が任命された。</p> <p>学長補佐会議はこれまで6回開催し、教育の質保証に係る客観的指標踏査への対応、遠隔授業への対応方針、教員評価制度等について学長と意見交換を行い、教育研究評議会への提案につなげた。</p> <p>2. 中期計画に基づく大学運営の方針について、事務局として資料収集を行ったが、具体的な検討には至らなかった。</p> <p>主な資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本私立大学協会憲章「私立大学版ガバナンスコード」 ・ 私立大学連盟版「私立大学版ガバナンスコード」 ・ 国立大学法人の取組状況
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学長補佐会議において、本学の各学科、科、研究科の将来像について検討し、教育研究評議会、教授会等への提案につなげる。</p> <p>2. ガバナンスコードの検討を進める。</p>

14. 財務

担 当： 事務局（財務室）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中期財務計画の見直し 2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動の推進</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 10 大学運営・財務 (2) 財務①、②</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) Ⅷ-3</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 7月及び9月の理事会により中期財務計画を見直し 2025 年度までを策定した。 年度別施設設備計画で計画していた改修工事を全て実施した場合、本学の財政を圧迫する要因になりかねないことから、4号館の改修工事以外は2～3年先延ばしにすることとした。 次年度は教職員に本学の財務状況や大学運営についての説明会を開催し、経営の改善に向けて全学で取り組んでいきたい。 また、中期財務計画については財政状況をみながら毎年度、見直しを行うこととする。</p> <p>2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金の活動最終年度であった今年度の募金額は約 5 百万円であり、2017 年 10 月からの累計額は 61 百万円超となったが、募金目標額の 1 億円には届かなかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中期財務計画の見直し 2. 経常費補助金(特別補助)の獲得を目指す 3. 給付奨学金のための寄付金募集の検討 4. 旅費規程の見直し</p>

15. 事務組織

担 当：事務局（総務課）

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 多くの教職員にFDSD研修会への参加の機会を設け、出席できるように取り組む。</p> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄) 基準 10 大学運営・財務－(1) 大学運営－④・⑤</p> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄) 戦略目標Ⅱ－6 (1)・(2)</p>																											
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの研修会が中止になったが、学内でのFDSD研修会をオンライン開催することによって、より多くの教職員が参加した。</p> <p>2020年度は12回のFD（ファカルティ・ディベロップメント）、2回のSD（スタッフ・ディベロップメント）の他、FDSD合同研修会を実施した。</p> <p>また、教員が遠隔授業で使用した動画又は対面授業の録画を選択してGoogle Classroomの授業参観ページにアップロードし、各教員が動画を視聴し、FD参加の機会とした。</p> <table border="1" data-bbox="480 1137 1385 1536"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FD</td> <td>随時</td> <td>授業参観</td> </tr> <tr> <td>FDSD</td> <td>2020年10月2日</td> <td>FDSD研修会(オンライン開催有)</td> </tr> <tr> <td>SD</td> <td>2020年12月21日</td> <td>教職員修養会(オンライン開催有)</td> </tr> <tr> <td>SD</td> <td>2020年12月23日</td> <td>SD研修会</td> </tr> <tr> <td>FD</td> <td>2021年1月29日</td> <td>教職課程FD</td> </tr> <tr> <td>FD</td> <td>2021年1月29日</td> <td>看護栄養学研究科FD</td> </tr> <tr> <td>FD</td> <td>2021年2月10日～3月26日</td> <td>助産研究科FD(全7回)</td> </tr> <tr> <td>FD</td> <td>2021年3月3日</td> <td>看護栄養学研究科FD</td> </tr> </tbody> </table>	区分	日程	内容	FD	随時	授業参観	FDSD	2020年10月2日	FDSD研修会(オンライン開催有)	SD	2020年12月21日	教職員修養会(オンライン開催有)	SD	2020年12月23日	SD研修会	FD	2021年1月29日	教職課程FD	FD	2021年1月29日	看護栄養学研究科FD	FD	2021年2月10日～3月26日	助産研究科FD(全7回)	FD	2021年3月3日	看護栄養学研究科FD
区分	日程	内容																										
FD	随時	授業参観																										
FDSD	2020年10月2日	FDSD研修会(オンライン開催有)																										
SD	2020年12月21日	教職員修養会(オンライン開催有)																										
SD	2020年12月23日	SD研修会																										
FD	2021年1月29日	教職課程FD																										
FD	2021年1月29日	看護栄養学研究科FD																										
FD	2021年2月10日～3月26日	助産研究科FD(全7回)																										
FD	2021年3月3日	看護栄養学研究科FD																										
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策により、研修会の参加が制限されているが、オンラインでの研修会参加など次年度も教職員のFD、SDへの参加を積極的に進める。</p>																											

16. 自己点検・評価活動

担 当：内部質保証推進委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 本学の内部質保証体制を整備する。 2. 客観的指標調査による補助金獲得に向け、情報収集と自己点検を推進する。</p> <hr/> <p>(大学基準協会の点検・評価項目の基準番号等記入欄)</p> <p>2. 内部質保証 ①②③④</p> <hr/> <p>(中期計画戦略目標に該当する項番記入欄)</p> <p>II-1 教学マネジメントの確立と課題への対応 (2) (3) (4) (5) II-2 内部質保証体制と点検評価の実質化 (1) (2) (3) (4)</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教学マネジメントの確立と課題に対して、以下を実施した。</p> <p>①ディプロマポリシーに対する学修成果の評価として外部機関からの客観的評価を得るため、卒業生の能力評価アンケートを実施した。</p> <p>2. 内部質保証の体制と点検評価の実質化の促進について</p> <p>①内部質保証と教学の関連図を作成し、本学の内部質保証の方針と PDCA サイクルにおける各担当部署の位置づけ、および役割を明確にし、教職員全体に周知を図った。</p> <p>②従来、学部の中の二つの学科において行われていた学生によるカリキュラム評価のフォームを改訂した。DPに対する学生の到達度、社会人基礎力、学習支援について評価する形式とし、学修成果の評価につなげた。</p> <p>③従来、年度末評価として、各学科において実施されていた教育に関する教員による科目評価のフォームを改訂した。教員の教育活動の達成状況をDP及び科目が掲げる達成目標に対する評価として、教育活動のPDCAのCheck評価を可視化した。</p> <p>④学修成果に関するステークホルダーによる評価の一つとして、DPの観点から卒業生の能力評価に関するアンケート調査を就職先に実施した。</p> <p>⑤教学に関する自己点検の担当部署が、学科ごとに分散していたが、学部の教務委員会の担当として一元化し、データのデジタル化を図ることで、IRにおける分析の可能性を追求した。</p> <p>⑥2020年度活動報告会を全学的に実施した。</p> <p>今年度は、活動目標1.中期戦略目標II-2の内部質保証体制を整えることに重点を置き、学内周知も図り、一定の成果を上げることができた。一方学部中心の体制の検討にとどまった。今後大学院も含む大学全体の教育・研究活動に有機的に活用し、大学全体のプレゼンスを上げる必要がある。</p> <p>活動目標の2.客観的指標調査による補助金獲得は、学内説明会と中間報告会により、周知徹底を図りFD・SDに関する得点を確保するなど、前年度より進展が見られたが、IRの活用など、教学マネジメント体制の確立が課題として残った。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 2018年度に大学基準協会の認証評価を受けて明らかになった課題に対する改善を進める(2022年7月末まで)。</p> <p>2. 私立大学改革総合支援事業及び教育の質にかかる客観的指標調査において、明らかになった課題に対する改善を進める。</p> <p>2-① IR室の機能確立のための情報、資料提供および分析結果を共有し自己点検に活用するシステムを整備する。</p>

	<p>2-② 教育プログラムの質保証の観点から学外メンバーも含むプログラムレビューの導入について検討する。</p> <p>2-③ 内部質保証の観点からの2020年度の到達状況を公表する。</p> <p>3. 内部質保証システムにおける大学院の位置づけを明確にする。</p> <p>4. 教員評価制度の確立に内部質保証の観点から参画する。</p> <p>5. 大学全体、教育課程、授業の3つの階層からの自己点検、評価を統括し、改善計画とともに学長に報告する。(2021年度末)</p> <p>6. 内部質保証システムの構築と質向上のため、委員の研修機会を設ける。</p>
--	--

自己点検・評価資料

目 次

1. 学事暦	77
2. 2020年度開講科目一覧	82
3. 学生数・奨学金の採用状況	95
4. 国家試験合格率	99
5. 就職・進学状況	100
6. 2021年度入学試験結果	104
7. 教員組織	105
8. 事務組織	107
9. 研究等の活動	108
10. 組織図	110
11. 会議の開催状況	111
12. 委員会構成一覧	124
13. 委員会の活動報告	126
14. 図書館の利用状況	147
15. 情報処理室の利用状況	148
16. 施設・設備の状況	149
17. 財務状況	151

1. 学事曆

2020年度 学事曆 【看護学科】

2020年7月27日現在

曆								1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等
4	日	月	火	水	木	金	土	4/2 入学式(中止) 4/3 オリエンテーション(中止) 4/6・7 出会いと親睦ゼミ(中止)	4/3 在学生ガイダンス(中止)	4/3 在学生ガイダンス(中止)	4/3 在学生ガイダンス(中止)	4/2 入学式(中止) 4/3 定期健康診断(延期)
	29	30	31	1	2	3	4					4/13PM イスターの集い/学生総会(中止)
	5	6	7	8	9	10	11					
	12	13	14	15	16	17	18					
	19	20	21	22	23	24	25					
5	26	27	28	29	30	1	2					
	3	4	5	6	7	8	9	5/11 遠隔授業開始(前期) 5/11-15 履修登録期間	5/11 遠隔授業開始(前期) 5/11-13 履修登録期間	5/11 遠隔授業開始(前期) 5/11-13 履修登録期間	5/11-7/31(学内) 成人看護学臨地実習Ⅱ 精神看護学臨地実習 在宅看護学臨地実習 母子看護学臨地実習Ⅱ (小児のみ8/4まで)	5/18PM 合唱コンクール(中止) 5/23 開学20周年記念式典・祝賀会(中止)
	10	11	12	13	14	15	16					
	17	18	19	20	21	22	23					
	24	25	26	27	28	29	30					
6	31	1	2	3	4	5	6	【 前期は、9月26日まで開講日とする 】 ※ 土曜・祝日は基本的に開講する ※ ただし、8月14日～16日は除外する				6/11～6/13 天使祭(中止) 6/13 オープンキャンパス(中止)
	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	29	30	1	2	3	4					
7	5	6	7	8	9	10	11					8/4 看護 オープンキャンパス(中止)
	12	13	14	15	16	17	18					8/5 栄養 オープンキャンパス(中止)
	19	20	21	22	23	24	25					8/8-8/9 定期健康診断
	26	27	28	29	30	31	1					8/14-8/16 大学休業日
	8	9	10	11	12	13	14					
8	16	17	18	19	20	21	22					9/6 看護 オープンキャンパス
	23	24	25	26	27	28	29					9/19 大学院入試
	30	31	1	2	3	4	5					※10/17追試験日
	6	7	8	9	10	11	12					9/27栄養 オープンキャンパス
	13	14	15	16	17	18	19					9/30 学位記授与式
9	20	21	22	23	24	25	26					10/15 ステップアップセレモニー
	27	28	29	30	1	2	3	↑ 後期 9/28～2月26日 9/28-10/2履修登録変更期間 基礎看護学臨地実習Ⅰ 半日 10/2・9 1日 10/27・28・11/2・4 ↓	↑ 8/31-9/11 基礎看護学臨地実習Ⅱ ↓	↑ 8/31-10/30 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ ↓	↑ 後期 8/31～2月26日 8/31-9/4履修登録変更期間 ↓	10/17 大学院入試 ※10/31追試験日(看栄研) ※1/23追試験日(助産研)
	4	5	6	7	8	9	10					10/17 大学院入試
	11	12	13	14	15	16	17					※10/31追試験日(看栄研)
	18	19	20	21	22	23	24					※1/23追試験日(助産研)
10	25	26	27	28	29	30	31					11/21 学部入試
	1	2	3	4	5	6	7					※12/5 追試験日
	8	9	10	11	12	13	14					11/25 戴帽式
	15	16	17	18	19	20	21					11/30 体育祭
	22	23	24	25	26	27	28					12/7 開学20周年記念講演会(中止)
11	29	30	1	2	3	4	5					12/8 創立記念日
	6	7	8	9	10	11	12					12/14 クリスマスの集い (集合型では開催しない)
	13	14	15	16	17	18	19					12/25 キリスト降誕祭
	20	21	22	23	24	25	26					1/16・17 大学入学共通テスト
	27	28	29	30	31	1	2					1/23 大学院入試
12	3	4	5	6	7	8	9	【 後期は、2月26日まで開講日とする 】 ※ 土曜・祝日は基本的に開講する 後期授業予定、後期試験期間等の詳細については、別途通知する。				※3/6追試験日
	10	11	12	13	14	15	16					1/30・31 大学入学共通テスト
	17	18	19	20	21	22	23					※2/13・14追試験日
	24	25	26	27	28	29	30					2/6 学部入試
	31	1	2	3	4	5	6					※2/20追試験日
1	7	8	9	10	11	12	13					3/12 卒業修了感謝のミサ
	14	15	16	17	18	19	20					3/15 卒業証書・学位記授与式
	21	22	23	24	25	26	27					3/15 卒業証書・学位記授与式
	28	1	2	3	4	5	6					3/28 オープンキャンパス
	7	8	9	10	11	12	13					
2	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	1	2	3	4	5	6					
	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	16	17	18	19	20					
3	21	22	23	24	25	26	27					
	28	29	30	31	1	2	3					

※ この学事曆は、2020年7月27日現在で作成しています。新型コロナウイルス感染症の影響等も含めて変更する場合があります。

2020年度 学事暦 【栄養学科】

2020年7月27日現在

暦								1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等
4	日	月	火	水	木	金	土	4/2 入学式(中止) 4/3 オリエンテーション(中止) 4/6・7 出会いと親睦ゼミ(中止)	4/3 在学生ガイダンス(中止)	4/3 在学生ガイダンス(中止)	4/3 在学生ガイダンス(中止)	4/2 入学式(中止) 4/3 定期健康診断(延期)
	29	30	31	1	2	3	4					4/13PM イースターの集い/学生総会(中止)
	5	6	7	8	9	10	11					
	12	13	14	15	16	17	18					
	19	20	21	22	23	24	25					
5	26	27	28	29	30	1	2					
	3	4	5	6	7	8	9	5/11 遠隔授業開始(前期) 5/11-15 履修登録期間	5/11 遠隔授業開始(前期) 5/11-13 履修登録期間	5/11 遠隔授業開始(前期) 5/11-13 履修登録期間		5/18PM 合唱コンクール(中止) 5/23 開学20周年記念式典・祝賀会(中止)
	10	11	12	13	14	15	16					
	17	18	19	20	21	22	23					
	24	25	26	27	28	29	30					
6	31	1	2	3	4	5	6	【 前期は、9月26日まで開講日とする 】 ※ 土曜・祝日は基本的に開講する ※ ただし、8月14日～16日は除外する				6/11～6/13 天使祭(中止) 6/13 オープンキャンパス(中止)
	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	29	30	1	2	3	4					
7	5	6	7	8	9	10	11				↕ 7/6～7/17(うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ	8/4 看護 オープンキャンパス(中止)
	12	13	14	15	16	17	18					8/5 栄養 オープンキャンパス(中止)
	19	20	21	22	23	24	25					8/8-8/9 定期健康診断 8/14-8/16 大学休業日
	26	27	28	29	30	31	1					9/6 看護 オープンキャンパス
	2	3	4	5	6	7	8					9/19 大学院入試 ※10/17追試験日
8	9	10	11	12	13	14	15				↕ 8/10～9/25(うち5日間) 給食経営管理論実習Ⅳ 8/10～9/11(うち15日間) 臨床栄養学実習Ⅴ 5/18～6/5、8/10～9/11 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ	9/27栄養 オープンキャンパス
	16	17	18	19	20	21	22					9/30 学位記授与式
	23	24	25	26	27	28	29					10/15 フード&ライフステップアップセレモニー
	30	31	1	2	3	4	5					10/17 大学院入試 ※10/31追試験日(看栄研) ※1/23追試験日(助産研)
	6	7	8	9	10	11	12					11/21 学部入試 ※12/5 追試験日
9	13	14	15	16	17	18	19					11/25 戴帽式
	20	21	22	23	24	25	26					11/30 体育祭
	27	28	29	30	1	2	3					12/7 開学20周年記念講演会(中止)
	4	5	6	7	8	9	10					12/8 創立記念日
	11	12	13	14	15	16	17					12/14 クリスマスの集い (集合型では開催しない)
10	18	19	20	21	22	23	24	後期 9/28～2月26日 9/28-10/2履修登録変更期間	後期 9/28～2月26日 9/28-10/2履修登録変更期間	後期 9/28～2月26日 9/28-10/2履修登録変更期間	後期 9/28～2月26日 9/28-10/2履修登録変更期間	12/25 キリスト降誕祭
	25	26	27	28	29	30	31		10/15 修養会・フード&ライフ ステップアップセレモニー	9/28-10/2 給食経営管理論実習Ⅱ	10/5～10/9 栄養教育実習	1/16・17 大学入学共通テスト
	1	2	3	4	5	6	7			↕ 10/26-11/13 臨床栄養学実習Ⅲ		1/23 大学院入試 ※3/6追試験日
	8	9	10	11	12	13	14					1/30・31 大学入学共通テスト ※2/13・14追試験日
	15	16	17	18	19	20	21					2/6 学部入試 ※2/20追試験日
11	22	23	24	25	26	27	28					
	29	30	1	2	3	4	5					
	6	7	8	9	10	11	12					
	13	14	15	16	17	18	19					
	20	21	22	23	24	25	26					
12	27	28	29	30	31	1	2	【 後期は、2月26日まで開講日とする 】 ※ 土曜・祝日は基本的に開講する 後期授業予定、後期試験期間等の詳細については、別途通知する				3/12 卒業修了感謝のミサ
	3	4	5	6	7	8	9					3/15 卒業証書・学位記授与式
	10	11	12	13	14	15	16					
	17	18	19	20	21	22	23					
	24	25	26	27	28	29	30					
1	31	1	2	3	4	5	6					
	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	1	2	3	4	5	6					
2	7	8	9	10	11	12	13					
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	1	2	3	4	5	6					
	7	8	9	10	11	12	13					
3	14	15	16	17	18	19	20					
	21	22	23	24	25	26	27					
	28	29	30	31	1	2	3					
	4	5	6	7	8	9	10					
	11	12	13	14	15	16	17					

※ この学事暦は、2020年7月27日現在で作成しています。新型コロナウイルス感染症の影響等も含めて変更する場合があります。

2020年度 大学院看護栄養学研究科学事暦

暦								行事予定	全学行事等	臨地実習
	日	月	火	水	木	金	土			
4	29	30	31	1	2	3	4	4/2 入学式・専攻別オリエンテーション 4/3 ガイダンス・定期健康診断 4/6 授業開始(前期) 4/6~10 履修登録期間 4/16 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	4/2 入学式 4/3 ガイダンス・定期健康診断 4/13PM イースターの集い	
	5	6	7	8	9	10	11			
	12	13	14	15	16	17	18			
	19	20	21	22	23	24	25			
5	26	27	28	29	30	1	2	7/2 中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降) 7/7~10 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	5/23 開学20周年記念式典・祝賀会	6/19~7/3(うち5日間) 公衆衛生看護管理実習Ⅱ (2年次)
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
6	24	25	26	27	28	29	30	7/28 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会	7/20~7/31 ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ (2年次)	
	31	1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20			
7	21	22	23	24	25	26	27	8/19 13:00まで 修正済み論文提出	8/31~2/19(週1回) 家族看護継続実習 (1年次)	
	28	29	30	1	2	3	4			
	5	6	7	8	9	10	11			
	12	13	14	15	16	17	18			
8	19	20	21	22	23	24	25	9/18 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻2年次以降)	9/19 大学院推薦入学試験	10/12~10/23 公衆衛生看護展開実習 (1年次)
	26	27	28	29	30	31	1			
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
9	16	17	18	19	20	21	22	9/30 前期修了 学位記授与式	9/30 前期修了 学位記授与式	10/19~10/30 老年看護学実習Ⅰ (1年次)
	23	24	25	26	27	28	29			
	30	31	1	2	3	4	5			
	6	7	8	9	10	11	12			
10	13	14	15	16	17	18	19	10/21 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	10/17 大学院一般入学試験(前期)	11/2~11/13 公衆衛生看護管理実習Ⅰ (1年次)
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	1	2	3			
	4	5	6	7	8	9	10			
11	11	12	13	14	15	16	17	12/2 17:00 課題研究提出(保健師コース)	12/7 開学20周年記念講演会	11/24~12/4 老年看護学実習Ⅰ (1年次)
	18	19	20	21	22	23	24			
	1	2	3	4	5	6	7			
	8	9	10	11	12	13	14			
12	15	16	17	18	19	20	21	12/16 課題研究発表(保健師コース)・論文審査会	12/8 創立記念日 12/14PM クリスマスの集い 12/25 キリスト降誕祭	
	22	23	24	25	26	27	28			
	29	30	1	2	3	4	5			
	6	7	8	9	10	11	12			
1	13	14	15	16	17	18	19	1/12 課題研究最終提出(保健師コース) 1/12~15 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	1/23 大学院一般入学試験(後期)	
	20	21	22	23	24	25	26			
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
2	17	18	19	20	21	22	23	2/2 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会 2/16 17:00まで 修正済み論文提出 2/19 後期授業終了	2/6~7 学部入学試験 2/13 学部入学試験 2/20 学部入学試験	
	24	25	26	27	28	29	30			
	31	1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13			
3	14	15	16	17	18	19	20	3/15 10:00 学位記授与式	3/15 学位記授与式	
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13			
	14	15	16	17	18	19	20	3/26 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)		
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	31	1	2	3			
	4	5	6	7	8	9	10			

※この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	
4月				1	2	3	4	2日(木) 入学式・新入生オリエンテーション 3日(金) 新入生オリエンテーション・2年次ガイダンス・定期健康診断 6日(月) 新入生修養会 13日(月)午後 イースターの集い	
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30				
5月						1	2	7日(木) 基礎2年：「マタニティイケル独立助産実習」開始(前半グループ) 18日(月)午後 合唱コンクール 23日(土) 開学20周年記念式典等	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
6月	31	1	2	3	4	5	6	8日(月) 基礎1年：「マタニティイケル助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」開始 8日(月) 教育2年：「臨床助産教育(clinical Teaching)実習」開始 19日(金) 基礎2年：「マタニティイケル独立助産実習」終了(前半グループ) 22日(月) 基礎2年：「マタニティイケル独立助産実習」開始(後半グループ)	
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30						
7月				1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30	31			
8月							1	7日(金) 基礎2年：「マタニティイケル独立助産実習」終了(後半グループ) 7日(金) 基礎1年：「マタニティイケル助産の基礎実習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」終了 7日(金) 教育2年：「臨床助産教育(clinical Teaching)実習」終了 17日(月)～21日(金) 基礎1・2年、教育1年：補講期間・前期定期試験 24日(月) 夏季休業開始	
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29		
9月	30	31						18日(金) 夏季休業終了 23日(水) 基礎2年：「マタニティイケル助産の統合実習Ⅱ」開始(第1グループ) 30日(水) 助産研究科教育分野 学位記授与・修了感謝のミサ	
			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19		
	20	21	22	23	24	25	26		

前期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	4月 7日(火) ～ 6月 5日(金) 8月11日(火) ～ 8月21日(金)	基礎実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6月 8日(月) ～ 8月 7日(金)
	教育		—	—
2年次	基礎	4月 6日(月) ～ 5月 1日(金) 8月11日(火) ～ 8月21日(金)	独立助産実習(前半) 独立助産実習(後半)	5月 7日(木) ～ 6月12日(金) 6月22日(月) ～ 7月31日(金) (期間内1人当り：原則6週間)
	教育	4月 6日(月) ～ 8月21日(金)	臨床助産教育(clinical Teaching)実習	6月 8日(月) ～ 8月 7日(金) (期間内1人当り：2週間)

【後期】

								行事予定等	
10月	日	月	火	水	木	金	土		
					1	2	3	2日(金)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第1グループ)
	4	5	6	7	8	9	10	5日(月)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」開始(第2グループ)
	11	12	13	14	15	16	17	16日(金)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第2グループ)
	18	19	20	21	22	23	24	19日(月)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」開始(第3グループ)
	25	26	27	28	29	30	31	30日(金)	基礎2年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅱ」終了(第3グループ)
11月	1	2	3	4	5	6	7	2日(月)～6日(金)	基礎1年： 演習、実習オリエンテーション
	8	9	10	11	12	13	14	9日(月)	基礎1年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅰ」開始
	15	16	17	18	19	20	21	16日(月)	教育1年：「独立助産実習」開始
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30							
12月			1	2	3	4	5		
	6	7	8	9	10	11	12	8日(火)	創立記念日
	13	14	15	16	17	18	19	14日(月)午後	クリスマスの集い
	20	21	22	23	24	25	26	24日(木)	教育1年：「独立助産実習」終了
	27	28	29	30	31			25日(金)	クリスマス降誕祭
								28日(月)	基礎1・2年, 教育1年：冬季休業開始
1月						1	2		
	3	4	5	6	7	8	9	8日(金)	基礎1・2年, 教育1年：冬季休業終了
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
2月	31	1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13	12日(金)	基礎1年：「マニティイクル助産学総合実習Ⅰ」終了
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27	26日(金)	修了前修養会
	28								
3月		1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13	12日(金)	修了・卒業感謝のミサ
	14	15	16	17	18	19	20	15日(月)	修了証書・学位記授与式
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31					

後期

学年	専攻	学内授業期間	臨地実習期間	
1年次	基礎	9月23日(水)～11月6日(金) 2月15日(月)～2月26日(金)	統合実習Ⅰ	11月9日(月)～12月24日(木) 1月12日(火)～2月12日(金)
	教育	9月23日(水)～11月13日(金) 1月12日(火)～2月26日(金)	独立助産実習	11月16日(月)～12月24日(木) (期間内1人当り：原則6週間)
2年次	基礎	9月23日(水)～12月24日(木) 1月12日(火)～2月12日(金)	統合実習Ⅱ	9月23日(水)～10月30日(金) (期間内1人当り：2週間)

2. 2020年度教育課程

1) 看護学科

〈2020年度以降入学生対象〉

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
しきたり 人間教育を 基盤と する 科目群	キリスト教概論	1前	2		○			必修科目111単 位、選択科目15 単位以上(選択 必修科目含む) 修得	
	聖書の講読	1後		▲2	○				
	キリスト教人間学	2前		▲2	○				
	キリスト教思想論	2後		▲2	○				
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1前	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅢ	3後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅣ	4後	1		○				
小計(8科目)		—	6	6	—				
教養教育科目群	共通 基礎	基礎学修演習	1前	1		○		必修科目111単 位、選択科目15 単位以上(選択 必修科目含む) 修得	
		情報処理演習	1前		1	○			
		教養ゼミ	2後		2	○			
	自然 科学	化学	1前	2		○			
		生物学	1前		2	○			
		データの科学	1後	2		○			
		科学的思考	2前		2	○			
	共通 基礎 教育 科目	外国 語	英語ⅠA	1前	1		○		
			英語ⅠB	1後	1		○		
			英語ⅡA	2前		1	○		
			英語ⅡB	2後		1	○		
			ホーリングリッシュⅠA	1前	1		○		
			ホーリングリッシュⅠB	1後	1		○		
			ホーリングリッシュⅡA	2前		1	○		
			ホーリングリッシュⅡB	2後		1	○		
			フランス語	2前		1	○		
			中国語	2前		1	○		
	韓国語	2前		1	○				
	スペイン語	2前		1	○				
	健康・ スポーツ	健康とスポーツⅠ	1通		1		○		
		健康とスポーツⅡ	2通		1		○		
小計(21科目)		—	9	17	—				
共通 教養 教育 科目	人間と 文化	倫理学	1後	2		○			
		宗教学	1後		2	○			
		音楽概論	1後		2	○			
		美術概論	1後		2	○			
		民族と異文化理解	2後		2	○			
	人間と 社会	法学(日本国憲法)	1前		2	○			
		対人関係の心理学	1前		2	○			
		社会学	1前		2	○			
		近現代の日本	1後		2	○			
		現代の政治経済	2後		2	○			
小計(10科目)		—	2	18	—				
小計(31科目)		—	11	35	—				
専門 教育 科目 群	専門 基礎 科目	形態機能学Ⅰ	1前	2		○			
		形態機能学Ⅱ	1後	2		○			
		栄養代謝学	1前	2		○			
		微生物学	1後	2		○			
		病理学	1後	2		○			
		看護薬理学	2前	2		○			
		病態診療学Ⅰ	2前	2		○	○		
		病態診療学Ⅱ	2後	1			○		
		環境健康論	1後	2		○			
		社会福祉論	1前	2		○			
		保健医療福祉システム論	3前	2		○			
		生涯発達論	1前	1		○			
		医療と倫理	2前	1		○			
		人間関係論	2前	1			○		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
	医療人類学	4後		1	○				
	小計 (15科目)	—	24	1	—				
専門教育科目群	看護基礎科目	看護学原理	1前	2		○			
		看護過程とヘルスアセスメントⅠ	2前	1			○		
		看護過程とヘルスアセスメントⅡ	2前	1			○		
		基礎看護技術論Ⅰ	1前	1			○		
		基礎看護技術論Ⅱ	1後	2			○		
		基礎看護技術論Ⅲ	2前	1			○		
		基礎看護技術論Ⅳ	2前	1			○		
		小計 (7科目)	—	9	0	—			
	看護臨床科目	成人看護学Ⅰ	2前	1		○			
		成人看護学Ⅱ	2後	2			○		
		成人看護学Ⅲ	3前	2		○	○		
		老年看護学Ⅰ	2前	2		○			
		老年看護学Ⅱ	3前	2		○	○		
		小児看護学Ⅰ	2後	2		○	○		
		小児看護学Ⅱ	3前	2		○	○		
		母性看護学Ⅰ	2後	1		○			
		母性看護学Ⅱ	2後	2		○			
		母性看護学Ⅲ	3前	1			○		
		精神看護学Ⅰ	2後	1		○			
		精神看護学Ⅱ	3前	2		○			
		精神看護学Ⅲ	3後	1			○		
		在宅看護学Ⅰ	3前	1		○			
		在宅看護学Ⅱ	3後	2		○			
		家族看護学	3前	1		○			
		地域看護学	3前	1			○		
		医療安全	3前	1		○			
		多職種連携	1後	1		○			
		多職種連携演習	3後	1			○		
		看護倫理	4前	1		○			
		臨地実習科目	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1後	1				○
			基礎看護学臨地実習Ⅱ	2後	2				○
			成人看護学臨地実習Ⅰ	3後	3				○
	成人看護学臨地実習Ⅱ		3後	3				○	
老年看護学臨地実習Ⅰ	2後		1				○		
老年看護学臨地実習Ⅱ	3後		3				○		
小児看護学臨地実習	3後～4前		2				○		
母性看護学臨地実習	3後～4前		2				○		
精神看護学臨地実習	4前		2				○		
在宅看護学臨地実習	4前		2				○		
	小計 (31科目)	—	51	0	—				
	小計 (53科目)	—	84	1	—				
統合発展科目群	生と死の看護ゼミ	2後	1			○			
	ホスピス・緩和ケア論	3前	1		○				
	ヘルスプロモーション活動論	3後		1	○				
	リハビリテーション看護学	4前		1	○				
	国際保健学	2前		1	○				
	国際保健学演習	2後/3後		1		○			
	看護英文講読	3後		1	○				
	看護研究の基礎	3後	1			○			
	看護研究	4前後	2			○			
	看護管理	4前	1		○				
	災害看護学	4前	1		○				
	看護教育学	4前		1	○				
	統合看護臨地実習	4前	2				○		
	統合看護技術演習	4後	1			○			
	小計 (14科目)	—	10	6	—				
	合計 (106科目)	—	111	48	—				

▲は選択必修科目

2) 栄養学科

<2020年度以降入学生対象>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必修	選択	講義	演習	実験・実習		
しきたり人間教育を基盤と目群	キリスト教概論	1前	2		○			必修科目104単位、選択科目23単位以上(選択必修科目含む)修得	
	聖書の講読	1後		▲2	○				
	キリスト教人間学	2前		▲2	○				
	キリスト教思想論	2後		▲2	○				
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1前	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅢ	3後	1		○				
	人間形成とキャリアデザインⅣ	4後	1		○				
小計(8科目)		—	6	6	—				
教養教育科目群	共通基礎	基礎学修演習	1前	1		○			
		情報処理演習	1前		1		○		
		教養ゼミ	2後		2	○			
	自然科学	化学	1前	2		○			
		生物学	1前		2	○			
		データの科学	1後	2		○			
		科学的思考	2前		2	○			
	外国語	英語ⅠA	1前	1			○		
		英語ⅠB	1後	1			○		
		英語ⅡA	2前		1		○		
		英語ⅡB	2後		1		○		
		オーラルイングリッシュⅠA	1前	1			○		
		オーラルイングリッシュⅠB	1後	1			○		
		オーラルイングリッシュⅡA	2前		1		○		
		オーラルイングリッシュⅡB	2後		1		○		
		フランス語	2前		1		○		
		中国語	2前		1		○		
	韓国語	2前		1		○			
	スペイン語	2前		1		○			
	健康・スポーツ	健康とスポーツⅠ	1通		1			○	
		健康とスポーツⅡ	2通		1			○	
小計(21科目)		—	9	17	—				
共通教養教育科目	人間と文化	倫理学	1後	2		○			
		宗教学	1後		2	○			
		音楽概論	1後		2	○			
		美術概論	1後		2	○			
		民族と異文化理解	2後		2	○			
	人間と社会	法学(日本国憲法)	1前		2	○			
		対人関係の心理学	1前		2	○			
		社会学	1前		2	○			
		近現代の日本	1後		2	○			
		現代の政治経済	2後		2	○			
小計(10科目)		—	2	18	—				
小計(31科目)		—	11	35	—				
専門教育科目群	社会・環境と健康	人間関係論	1前	1		○			
		生涯発達論	1前	1		○			
		公衆衛生学	2前	2		○			
		医療概論	2前		2	○			
		健康管理概論	2後	2		○			
		公衆衛生学実習	2後	1			○		
		保健医療福祉システム論	4前	1		○			
		小計(7科目)	—	8	2	—			
	人体の構造と機能・疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	1前	2		○			
		生化学Ⅱ	1後	2		○			
		形態機能学Ⅰ	1前	2		○			
		形態機能学Ⅱ	1後	2		○			
		有機化学	1前		2	○			
		微生物学	1後	2		○			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実 習		
	形態機能学実習Ⅰ	1後	1				○		
	形態機能学実習Ⅱ	3前	1				○		
	病理学	2前	2			○			
	生化学実験	2前	1				○		
	病態診療学	2後	2			○			
	小計 (11科目)	—	17	2	—				
専門基礎科目	食べ物 と健康	食品科学Ⅰ	1前	2		○			
		食品科学Ⅱ	1後	2		○			
		食品科学Ⅲ	4前		2	○			
		調理学	1前	2		○			
		調理学実習Ⅰ	1前	1				○	
		調理学実習Ⅱ	1後	1				○	
		食品科学実験Ⅰ	1後	1				○	
		食品科学実験Ⅱ	3前	1				○	
		食品衛生学	2前	2		○			
		食品衛生学実験	2前	1				○	
		食品微生物学実験	2前	1				○	
		食文化論	4後		1	○			
	小計 (12科目)	—	14	3	—				
小計 (30科目)	—	39	7	—					
専門教育科目群	栄養の 基礎	基礎栄養学	1後	2		○			
		応用栄養学Ⅰ	2前	2		○			
		応用栄養学Ⅱ	2後	2		○			
		応用栄養学Ⅲ	3後	2		○			
		基礎栄養学実験・実習	2後	1				○	
		応用栄養学実習	3前	1				○	
		スポーツ栄養学	4前		2	○			
		国際栄養学	4後		1	○			
	小計 (8科目)	—	10	3	—				
	栄養の 教育	栄養教育論Ⅰ	2前	2		○			
		栄養教育論Ⅱ	2後	2		○			
		栄養教育論Ⅲ	3後	2		○			
		栄養教育論実習	3前	1				○	
		カウンセリング演習	3前		1		○		
		学校栄養指導論Ⅰ	3前		2	○			
		学校栄養指導論Ⅱ	3後		2	○			
	小計 (7科目)	—	7	5	—				
	栄養の 実践	臨床栄養学Ⅰ	2前	2		○			
		臨床栄養学Ⅱ	2後	2		○			
		臨床栄養学Ⅲ	3前	2		○			
		臨床栄養学Ⅳ	3後	2		○			
		給食経営管理論Ⅰ	2前	2		○			
		給食経営管理論Ⅱ	2後	2			○		
		給食経営管理論実習Ⅰ	2後	1				○	
		臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1				○	
		臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1				○	
		臨床栄養学実習Ⅳ	4前	1				○	
公衆栄養学Ⅰ		3前	2		○				
公衆栄養学Ⅱ		3後	2		○				
公衆栄養学実習Ⅰ		3後	1				○		
多職種連携		2後	1		○				
多職種連携演習		3後	1			○			
総合演習Ⅰ		3通年	1			○			
総合演習Ⅱ		4通年	2			○			
在宅栄養管理論		4前	1		○				
地域栄養活動演習		4前		1		○			
フードサービス演習	4前		2		○				
小計 (20科目)	—	27	3	—					

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		授業形態			概要	卒業所要単位
			必 修	選 択	講 義	演 習	実 験・ 実 習		
学 外 実 習	給食経営管理論実習Ⅱ	3後	1				○		
	給食経営管理論実習Ⅲ	4前		▲1			○		
	給食経営管理論実習Ⅳ	4通年		▲1			○		
	公衆栄養学実習Ⅱ	4通年		▲1			○		
	臨床栄養学実習Ⅲ	3後	2				○		
	臨床栄養学実習Ⅴ	4通年		▲1			○		
	臨床栄養学実習Ⅵ	4通年		2			○		
	小計 (7科目)	—	3	6			—		
	小計 (42科目)	—	47	17			—		
	小計 (72科目)	—	86	24			—		
統 合 発 展 科 目 群	国際保健学	2前		1	○				
	国際保健学演習	2後		1		○			
	英文文献講読	3後		1		○			
	食といのちのゼミ	4後	1		○				
	卒業研究	4通年		3		○			
小計 (5科目)	—	1	6			—			
合計 (116科目)		—	104	71			—		

▲は選択必修科目

3) 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	教育課程論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	特別支援教育論	2	前		1	1		
	道徳教育論	2	後		1	1		
	総合学習指導論	3	前		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	栄養教育実習	4	前		1			1
	教職実践演習(栄養教諭)	4	前後		2		2	
教職総合演習	3	後		2		2		

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

4) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

2016年度以降入学生対象

授 業 科 目	共通 科目	配当 年次	学期	単 位 数		授 業 区 分				
				必修	選択	講義	演習	実習		
基礎科目	倫 理 学 特 論	☆	1		後	1		1		
	統 計 学 特 論	☆	1		前	1			1	
	疫 学	☆	1		前	1		1		
	人 間 関 係 論 特 論	☆	1		後		1	1		
	研 究 方 法 論 特 論	☆	1		前	2		2		
	医 療 情 報 ・ 医 療 経 済	☆	1		後		1	1		
	国 際 保 健 学 特 論	☆	2		前		1	1		
	国 際 保 健 学 特 論 演 習	☆	2		前		1		1	
専門基礎科目	食 品 衛 生 学 特 論		1		前	2		2		
	食 品 学 特 論		1・2	※	後		2	2		
	食 薬 理 学 特 論		1・2	※	前		2	2		
	栄 養 生 理 学 特 論		1・2	※	前		2	2		
	代 謝 栄 養 学 特 論	★	1		後	2		2		
	栄 養 免 疫 学 特 論		1・2	※	後		2	2		
	地 域 ケ ア シ ス テ ム 論	☆	1		後		1	1		
	ヘルスカウンセリング論	★	1		前		1		1	
	環 境 保 健 学	★	1		前		1	1		
	健 康 社 会 学	★	2		前		1	1		
	医 療 人 類 学 特 論	★	2		前		1	1		
専門実践科目	栄 養 管 理 学 特 論		1		前	2		2		
	栄 養 疫 学 特 論		1		後		1	1		
	健 康 行 動 科 学 特 論	☆	1		前	1		1		
	健 康 ・ 食 行 動 理 論		1		前		1	1		
	健 康 栄 養 エ ビ デ ン ス 論		1・2	※	前		2	2		
	栄 養 診 断 学 特 論		1		後	2		2		
	栄 養 管 理 学 総 合 演 習		1		前後	2			2	
	臨 床 栄 養 学 特 論		1		前	2		2		
	栄 養 管 理 学 特 別 研 究		1~2		前後	4				4
	栄 養 管 理 学 特 別 演 習		1~2		前後	4			4	
合 計						26	21	34	9	4

修了に必要な単位数:30単位以

☆:両専攻共通科目 ※:隔年開講

★:両専攻選択可能科目

5) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程) 2016年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	配当 年次	学期	単 位 数		授 業 区 分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研 究 方 法 特 論	1	前後	4		4		
基礎系栄養 管理学 分野	基礎系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	基礎系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
実践系栄養 管理学 分野	実践系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
合 計				4	28	8	0	24

修了に必要な単位数：18単位以上

6) 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻 (修士課程)

2020年度以降入学生対象

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択		必修	選択			
看護学・栄養管理学科両専攻共通科目	倫理学特論	☆	1	後	1		1		○	1		1		
	人間関係論特論	☆	1	後		1		1			1	1		
	研究方法論特論	☆	1	前	2		2		○	2		2		
	統計学特論	☆	1	前		1		1		1			1	
	疫学	☆	1	前		1		1		1		1		
	地域ケアシステム論	☆	1	後		1		1		1		1		
	健康行動科学特論	☆	1	前		1		1		1		1		
	医療情報・医療経済	☆	1	後		1		1			1	1		
	国際保健学特論	☆	2	前		1		1			1	1		
	国際保健学特論演習	☆	2	前		1		1			1		1	
看護学専攻共通基礎科目	看護理論特論		1	前	2		2		○	2		2		
	看護倫理特論		1	後	1		1		○		1	1		
	看護研究法Ⅰ(量的研究)		1	後		1		1			1		1	
	看護研究法Ⅱ(質的研究)		1	後		1		1			1		1	
	看護教育学特論Ⅰ		1	前		2	2		○		2	2		
	看護教育学特論Ⅱ		1	後		1		1			1		1	
	看護管理学特論		1	後		2		2	○		2	2		
	家族関係論特論		1	前		1		1		1		1		
コンサルテーション論		1	後		1		1	○		1	1			
専門基礎科目	薬理学特論		1	前		2		2			2	2		
	フィジカルアセスメント		1	後				2	○			2		
	病態生理学		1	前		2	2		○		2	2		
	臨床薬理学		1	前		2	2		○		2	2		
	精神病理学特論		1	前		2		2			2	2		
	保健医療福祉政策論		1~2	後		1		1	○	1		1		
	保健医療福祉行政論		1	前		3				3		3		
	疫学・保健統計特論		1	前		2				2		2		
	ヘルスカウンセリング論	★	1	前		1		1		1			1	
	代謝栄養学特論	★	1	後		2		2			2	2		
	環境保健学	★	1	前		1		1			1	1		
	健康社会学	★	2	前		1		1			1	1		
医療人類学特論	★	2	前		1		1			1	1			
専攻分野専門科目	ホスピス緩和ケア看護学コース	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ		1	前			2		○			2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ		1	後			2		○		2	2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ		1~2	後前			2		○				2
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅳ		1	後			2		○			2	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅴ		1	前			2		○			2	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ		1	前後			2		○		1	1	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ		1	後			1		○				1
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ		2	前			1		○				1
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅰ		1	後			4		○				4
		ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅱ		2	前			4		○				4
	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ		2	前			2		○				2	
	老年看護CNS	老年看護学特論Ⅰ(理論・概念)		1	前			2		○			2	
		老年看護学特論Ⅱ(健康生活評価)		1	前			2		○			2	
		老年看護学特論Ⅲ		1	後			2		○			2	
		老年看護学特論Ⅳ		1	後			2		○			2	
老年看護学特論Ⅴ			1	後			2		○			2		
老年看護学展開論Ⅰ		1	後			2		○				2		

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択		必修	選択			
コース	老年看護学展開論Ⅱ		2	前			2		○				2	
	老年看護学実習Ⅰ		1	後			4		○					4
	老年看護学実習Ⅱ		2	前			6		○					6
精神看護CNSコース	精神看護学特論Ⅰ		1	前			2		○			2		
	精神看護学特論Ⅱ		1	前			2		○			2		
	精神看護学特論Ⅲ		1	後			2		○			2		
	精神看護学特論Ⅳ		2	前			2		○			2		
	精神看護学演習Ⅰ		1	後			2		○				2	
	精神看護学演習Ⅱ		2	前			2		○				2	
	リエゾン精神看護学特論		2	前			2		○			2		
	高度実践精神看護実習Ⅰ		1	後			1		○					1
	高度実践精神看護実習Ⅱ		1	後			2		○					2
	高度実践精神看護実習Ⅲ		2	前			4		○					4
	高度実践精神看護実習Ⅳ		2	前			2		○					2
高度実践精神看護実習Ⅴ		2	後			1		○					1	
公衆衛生看護学コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ		1	前	2					2		2		
	公衆衛生看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	公衆衛生看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	公衆衛生看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
精神看護学コース	精神看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	精神看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	精神看護学演習Ⅰ		1	後	2								2	
	精神看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
成人看護学コース	成人看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	成人看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	成人看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	成人看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
老年看護学コース	老年看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	老年看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	老年看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	老年看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
母性看護学コース	母性看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	母性看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	母性看護学演習Ⅰ		1	後	2								2	
	母性看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
小児看護学コース	小児看護学特論Ⅰ		1	前	2							2		
	小児看護学特論Ⅱ		1	前	2							2		
	小児看護学演習Ⅰ		1	前	2								2	
	小児看護学演習Ⅱ		1~2	後前	2								2	
保健師コース	公衆衛生看護学原論		1	前						2		2		
	公衆衛生看護学活動論Ⅰ		1	前						2		2		
	公衆衛生看護学活動論Ⅱ		1	後						2		2		
	健康学習支援演習		1	後						1			1	
	家族看護学特論		1	前						2		1	1	
	公衆衛生看護学診断		1	後						2		1	1	
	公衆衛生看護学管理		1	後						2		2		
	健康危機管理特論		1	後						1			1	
	産業・学校看護学活動論		2	前						2		2		
	地域ケアシステム論特論		2	前						2		2		
	公衆衛生看護学課題研究演習		1	後						2			2	
家族看護学継続実習		1	後						1				1	

区分	授業科目	共通科目	配当年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		CNS対象科目	保健師コース		授業区分		
					単位数		単位数			単位数		講義	演習	実習
					必修	選択	必修	選択		必修	選択			
	公衆衛生看護展開実習		1	後						2				2
	公衆衛生看護管理実習Ⅰ		1	後						2				2
	公衆衛生看護管理実習Ⅱ		2	前						1				1
	特別看護研究		2	前後	8								8	
	公衆衛生看護課題研究		2	前後						4			4	
	ホスピス緩和ケア看護課題研究		2	前後			2						2	
	老年看護課題研究		2	前後			2						2	
	精神看護課題研究		2	前後			2						2	
合	計	—	—	—	62	37	86	32	—	49	28	106	67	36

注1：保健師コースは、大学院修士課程修了に必要な30単位に加えて、保健師国家試験受験資格取得に必須の28単位の計58単位を修得すること。

注2：修士論文コースは、専攻分野ごとに定める専門科目を履修・修得すること。

注3：高度実践看護師コースは、高度実践看護師資格を取得するための必修科目38単位を修得すること。

<記号説明>

☆：両専攻共通科目

★：各専攻の専門科目（両専攻で選択可）

7) 【助産基礎分野】

2017年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
基 礎 科 目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は、 発展・展開科目 以外から1単位 以上を含む56 単位以上修得 すること。なお、 選択科目は、 ①から④のい ずれかの領域 の単位を必ず 修得し、かつ ①、③の領域 を選択した 場合は、
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	2	後		1	1			
	専門基礎	出産の文化	1	前	1		1			
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前	1			1		
		助産薬理学Ⅰ	1	前	1		1			
		助産薬理学Ⅱ	2	前	1		1			
		妊産褥婦乳幼児の栄養	1	前	1		1			
		助産女性学	1	前	1		1			
		助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		助産研究法	1	後	1		1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後	1		1			
		助産管理論Ⅱ	2	前	1		1			
		助産師教育論	2	前	1		1			
		助産師教育方法論	2	後		1	1			
		母子保健行政・財政論	1	後	1		1			
母子保健活動論（疫学・統計を含む）		2	前	1		1				
実 践 専 門 科 目	マタニティサイクル助産ケア	マタニティサイクル助産ケアⅠ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅡ	1	通年	2		1	1		
		マタニティサイクル助産ケアⅢ	1	通年	2		1	1		
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後	1		1			
		ハイリスク助産演習	2	前	1			1		
		独立助産実践概論	2	前	1		1			
	独立助産演習	2	前	1			1			
	マタニティサイクル助産ケア実践	マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅰ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅱ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア基礎実習Ⅲ	1	前	2				2	
		マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅰ	1	後	6				6	
マタニティサイクル独立助産実習		2	前	6				6		
マタニティサイクル助産ケア統合実習Ⅱ	2	後	2				2			
発 展 ・ 展 開 科 目	発展・展開	子育て支援論Ⅰ	1	後	1	①	1			
		子育て支援論Ⅱ	2	前後		1		1		
		子育て支援論演習	2	後		1		1		
		性教育Ⅰ	2	前	1	②	1			
		性教育Ⅱ	2	前後		1		1		
		性教育実習	2	後		2			2	
		ウィメンズヘルスⅠ	1	後	1	③	1			
		ウィメンズヘルスⅡ	2	前後		1		1		
		ウィメンズヘルス演習	2	後		1		1		
		国際助産学Ⅰ	2	前	1	④	1			
		国際助産学Ⅱ	2	前後		1		1		
		国際助産学実習	2	後		2			2	
特別統合研究科目	特別統合課題研究	2	通年	1			1			
合 計					53	12	26	15	24	

8) 【助産教育分野】

2015年度以降入学生対象

区分	授 業 科 目	学年	学期	単位数		授業区分			履修方法及び 修了要件	
				必修	選択	講義	演習	実習		
助産専門科目	概念形成	助産学概論	1	前	1		1			修了要件は選択科目8単位以上を含む 45単位以上を修得すること。
		助産哲学・倫理Ⅰ	1	後	1		1			
		助産哲学・倫理Ⅱ	1	後	1		1			
		出産の文化	1	前		1	1			
		助産女性学	1	前		1	1			
	助産教育技術	助産カウンセリング	1	後	1			1		
		健康教育論Ⅰ	1	前	1		1			
		健康教育論Ⅱ	2	前	1			1		
		女性のフィジカルイグザミネーション	1	前		1		1		
	助産ケア特論・実践	独立助産実践特論	1	前	1		1			
		独立助産演習	1	前	1			1		
		独立助産実習	1	後	6				6	
		助産薬理学	2	前		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅰ	1	後		1	1			
		ハイリスク助産学Ⅱ	1	後		1	1			
	助産機能	助産管理論Ⅰ	1	後		1	1			
		助産管理論Ⅱ	1	前	1		1			
		母子保健行政・財政論	1	後		1	1			
		母子保健活動論(疫学・統計を含む)	2	前		1	1			
	発展・展開	子育て支援論	1	後		1	1			
性教育		1	前		1	1				
ウイメンズヘルス		1	後		1	1				
国際助産学		1	前		1	1				
教育科目	助産・看護教育	教育概論	1	前	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開	1	通年	2		2			
		教育計画(カリキュラム)の原理と展開演習	1	後	1			1		
		教授学習法の理論と展開	1	通年	2		2			
		教授学習法の理論と展開演習	1	後	1			1		
		教育評価	1	後	2		2			
		教育評価演習	1	後	1			1		
		教育機関の運営と評価	1	後	2		2			
		助産教育(Classroom Teaching)演習	2	前	1			1		
		助産教育(Classroom Teaching)実習	2	前	1				1	
		臨床助産教育(Clinical Teaching)演習	2	前	1			1		
		臨床助産教育(Clinical Teaching)実習	2	前	2				2	
		特別統合研究	助産研究法Ⅰ	1	前	1		1		
	助産研究法Ⅱ		1	後	1			1		
助産教育課題研究	2		前	2			2			
合 計				37	13	29	12	9		

3. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2020年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護学部 栄養	看護学科		361	101 (1)	100 (2)	99 (1)	91 (1)	391 (5)	108.3%
	栄養学科		345	92 (4)	86 (2)	98 (1)	88 (2)	364 (9)	105.5%
	小計			706	193 (5)	186 (4)	197 (2)	179 (3)	755 (14)
助産大学院 研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	21 -	19 -	- -	- -	40 -	66.7%
		助産教育分野	20	0 -	2 -	- -	- -	2 -	10.0%
	小計			80	21 -	21 -	- -	- -	42 -
看護栄養学 大学院 研究科	看護学専攻	公衆衛生看護学コース	28	0	0	- -	- -	0 (0)	57.1%
		精神看護学コース		0	2	- -	- -	2 (0)	
		成人看護学コース		1	0	- -	- -	1 (0)	
		老年看護学コース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		母性看護学コース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		小児看護学コース		0	0	- -	- -	0 (0)	
		ホスピス緩和ケア看護学コース		0	1	- -	- -	1 (0)	
		老年看護CNSコース		2	1	- -	- -	3 (0)	
		精神看護CNSコース		0	-	- -	- -	0 (0)	
		保健師コース		1	8	- -	- -	9 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	0	3	- -	- -	3 (0)	50.0%
		博士後期課程	6	2	0	5 (1)	- -	7 (1)	116.7%
小計			40	6 (0)	15 (0)	5 (1)	- -	26 (1)	65.0%
合計			826	220 (5)	222 (4)	202 (3)	179 (3)	823 (15)	99.6%

奨学金の種類と採用数（学部生） 2021年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数		
全 学 生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	24人	
	日本学生支援機 構奨学金	貸与	第一種	月 額	自宅 54,000円 自宅外 64,000円 上記以外に月額20,000円～ 50,000円まで、1万円単位 で選択することができます （自宅通学の方は50,000円 選択不可）	無利子貸与	149人
			第二種	月 額	月額20,000円～120,000円 まで、1万円単位で選択す ることができます。	有利子貸与 利率3%以内	189人
		給付	第Ⅰ区分	月 額	自宅 38,300円 自宅外 75,800円	住民税非課税世帯（年 収270万円未満の世 帯）、それに準ずる世 帯で、一定の学力・資 質要件を満たす学生等 が対象	34人
			第Ⅱ区分		自宅 25,600円 自宅外 50,600円		17人
	第Ⅲ区分		自宅 12,800円 自宅外 25,300円		8人		
	停止中		6人				
	天使大学 応急学生支援金		—	50,000円	給付、返還不要	13人	
	学生支援緊急給付金		—	住民税非課税世帯の学生 200,000円 要件を満たす上記以外の学生 100,000円	給付、返還不要、	159人	
	天使大学学生支援緊急給付金		—	100,000円	給付、返還不要、	9人	
2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ記念 奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	10人	
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人	
	天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	14人	
2～4年 次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	6人	
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上 上勤務の場合返還免除	8人	
全 学 生	その他の奨学金		札幌市奨学生(4)、天使病院奨学金(4)、日本教育文化財団育 英奨学金(1)、北海道信用金庫奨学財団 給付型奨学(2)江別市 学生臨時特別給付金(7)、レガシー基金学費助成金(1)、あし なが育英会奨学金(1)		20人		
合 計					686人		

奨学金の種類と採用数（看護栄養学研究科） 2021年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	0人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	修士課程 50,000円または88,000円 博士課程 80,000円または122,000円	無利子貸与	2人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円から選択	有利子貸与 利率3%以内	2人
学生支援緊急給付金		—	住民税非課税世帯の学生 200,000円 要件を満たす上記以外の学生 100,000円	給付、返還不要、	5人
天使大学同窓会給付奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	1人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	1人
その他の奨学金					0人
					11人

奨学金の種類と採用数（助産研究科） 2021年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	3人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	8人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円から選択	有利子貸与 利率変動3%以内	3人
学生支援緊急給付金		—	住民税非課税世帯の学生 200,000円 要件を満たす上記以外の学 生 100,000円	給付、返還不要、	2人
天使大学同窓会奨学金		年 額	100,000円	給付、返還不要	3人
日本助産師会奨学金		月 額	50,000円	無利子貸与	1人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	無利子貸与。貸与期間にかか わらず、道内に5年以上助産 師として勤務した場合返還免 除となる	12人
その他の奨学金					0人
合 計					32人

4. 国家試験合格率

国家試験合格率（2020年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
看護栄養学部看護学科	看護師国家試験	91 人	89 人	97.8%	95.4%
看護栄養学研究科看護専攻	保健師国家試験	7 人	7 人	100.0%	97.4%
助産研究科助産専攻	助産師国家試験	19 人	19 人	100.0%	99.7%
看護栄養学部栄養学科	管理栄養士国家試験	88 人	80 人	90.9%	91.3%

5. 就職・進学状況

看護栄養学部就職状況（2021年5月1日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	78	98.7%	1	1.3%	79	86.8%	84	97.7%	2	2.3%	86	97.7%
	希望無しの者	12	100.0%	0	0.0%	12	13.2%	2	100.0%	0	0.0%	2	2.3%
計(卒業生数)		90	98.9%	1	1.1%	91	100.0%	86	97.7%	2	2.3%	88	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		78	100.0%	1	100.0%	79	100.0%	78	92.9%	2	100.0%	80	93.0%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	12	15.4%	0	0.0%	12	15.2%	12	15.4%	0	0.0%	12	15.0%
	道内	66	84.6%	1	100.0%	67	84.8%	66	84.6%	2	100.0%	68	85.0%
	市内(再掲)	64	(82.1%)	1	(100.0%)	65	(82.3%)	47	(60.3%)	0	0.0%	47	(58.8%)
職種別	看護師	78	100.0%	1	100.0%	79	100.0%	/		/		/	
	管理栄養士	/		/		/		52	66.7%	0	0.0%	52	65.0%
	栄養士	/		/		/		12	15.4%	1	50.0%	13	16.3%
	栄養教諭	/		/		/		5	6.4%	0	0.0%	5	6.3%
	上記以外	/		/		/		9	11.5%	1	50.0%	10	12.5%

〔進学状況〕

学科		看護学科				栄養学科							
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合
進学希望者数		9		0		9	/	1		0		1	/
進学合格者数		9		0		9	100.0%	1		0		1	100.0%

5. 就職・進学状況

看護栄養学研究科就職状況（2021年5月1日現在）

〔就職希望者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科	
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	修了者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	7	87.5%	1	12.5%	8	100.0%	1	100.0%	—	—	1	100.0%	9	100.0%
	希望無しの者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—	—	0	0.0%	0	0.0%
計(修了者数)		7	87.5%	1	12.5%	8	100.0%	1	100.0%	—	—	1	100.0%	9	100.0%

〔就職決定者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科	
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	就職希望者に対する割合
就職者数/決定率		7	100.0%	1	100.0%	8	100.0%	1	100.0%	—	—	1	100.0%	9	100.0%

〔地域別決定者〕

所属		看護学専攻						栄養管理学専攻						看護栄養学研究科	
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		計		博士前期課程		博士後期課程		計		合計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—	—	0	0.0%	0	0.0%
	道内	7	100.0%	1	100.0%	8	100.0%	1	100.0%	—	—	1	100.0%	9	100.0%
	市内(再掲)	6	(85.7%)	1	(100.0%)	7	(87.5%)	1	(100.0%)	—	—	1	(100.0%)	8	(88.9%)

5. 就職・進学状況

助産研究科就職状況（2021年5月1日現在）

〔就職希望者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	卒業者に 対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	19	2	21	100.0%
	希望無しの方	0	0	0	0.0%
計(修了者数)		19	2	21	100.0%

〔就職決定者〕

分野	助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
決定数/決定率	19	2	21	100.0%

〔地域別・就職別決定者〕

分野		助産基礎分野	助産教育分野	計	就職者に 対する割合
地域別	道外	6	1	7	33.3%
	道内	13	1	14	66.7%
	市内(再掲)	10	1	11	(52.4%)
職種別	助産師	19	1	20	95.2%
	教員	0	1	1	4.8%
	上記以外	0	0	0	0.0%

5. 2020年度求人件数・人数（2021年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	39	103	212	315	780	1,525	9,421	10,946
保健師	3	108	30	138	13	207	223	430
助産師	10	34	93	127	47	122	581	703
計	52	245	335	580	840	1,854	10,225	12,079

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	35	65	34	99	235	271	2,749	3,020
管理栄養士	49	111	68	179	189	264	3,281	3,545
栄養教諭	0	0	3	3	0	0	15	15
食品衛生監視員	3	4	2	6	16	17	30	47
その他保健医療従事者	4	14	4	18	30	87	163	250
計	91	194	111	305	470	639	6,238	6,877

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	29	82	84	166	427	981	3,493	4,474
合計	172	521	530	1,051	1,737	3,474	19,956	23,430

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

6. 2021年度入試結果

看護栄養学部

◆看護学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	6	(6)	6	(6)	6	(6)	6	(6)	1.0
公募制推薦		37	(59)	37	(59)	36	(36)	36	(36)	1.0
社会人	40	0	(3)	0	(3)	0	(1)	0	(0)	-
一般		232	(287)	228	(285)	88	(74)	39	(39)	2.6
センター利用	20	176	(150)	176	(150)	77	(41)	21	(19)	2.3
総計	100	451	(505)	447	(503)	207	(158)	102	(100)	

◆栄養学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	44	2	(5)	2	(5)	2	(5)	2	(5)	1.0
公募制推薦		55	(35)	55	(35)	43	(34)	43	(34)	1.3
社会人	36	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般		83	(73)	83	(73)	47	(48)	38	(40)	1.8
センター利用	10	75	(52)	75	(52)	26	(13)	10	(11)	2.9
総計	90	215	(165)	215	(165)	118	(100)	93	(90)	

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0
一般 前期		1	(3)	1	(3)	1	(2)	1	(1)	1.0
一般 後期		2	(2)	2	(2)	2	(2)	2	(2)	1.0
総計	14	4	(6)	4	(6)	4	(5)	4	(4)	

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般 前期	3	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	-
一般 後期		1	(1)	1	(1)	1	(0)	1	(0)	1.0
総計	3	1	(1)	1	(1)	1	(0)	1	(0)	

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般 前期	2	0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	-
一般 後期		1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1.0
総計	2	1	(2)	1	(2)	1	(2)	1	(2)	

大学院 助産研究科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	5	(14)	5	(13)	5	(11)	5	(11)	1.0
	前期一般	15	10	(12)	10	(12)	9	(8)	9	(8)	1.1
	前期社会人		1	(2)	1	(1)	1	(0)	1	(0)	1.0
	後期一般	5	1	(2)	1	(2)	1	(1)	1	(1)	1.0
	後期社会人		0	(3)	0	(3)	0	(1)	0	(1)	-
分教 野育	前期	10	0	(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	-
	後期		0	(1)	0	(1)	0	(0)	0	(0)	-
総計	40	17	(35)	17	(33)	16	(21)	16	(21)		

7. 教員組織

教員組織一覽

(2020年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	6人	0人	1人	3人	0人	10人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	26人
看護栄養学部	看護学科	9人	3人	10人	9人	0人	31人
	栄養学科	5人	7人	5人	1人	4人	22人
	教養教育科	4人	2人	0人	0人	0人	6人
	計	18人	12人	15人	10人	4人	59人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	141人
合計		24人	12人	16人	13人	4人	236人

専任教員年齢構成

(2020年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	25歳以下	計	
助産研究科	教授	0 0.0%	2 33.3%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100%	
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%	
	講師	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0%	
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100%
	計	0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100%
	助手	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%
小計		0 0.0%	2 20.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1 5.6%	9 50.0%	2 11.1%	1 5.6%	3 16.7%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 100%	
	准教授	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 100%	
	講師	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	4 26.7%	2 13.3%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100%	
	助教	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	3 30.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100%	
	計	1 1.8%	9 16.4%	3 5.5%	7 12.7%	13 23.6%	9 16.4%	9 16.4%	3 5.5%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	55 100%	
	助手	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100%	
小計		1 1.7%	9 15.3%	3 5.1%	7 11.9%	13 22.0%	9 15.3%	9 15.3%	3 5.1%	2 3.4%	2 3.4%	1 1.7%	59 100%	
合計		1 1.4%	11 15.9%	7 10.1%	7 10.1%	16 23.2%	9 13.0%	10 14.5%	3 4.3%	2 2.9%	2 2.9%	1 1.4%	69 100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2021年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者			退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	准教授から教授	講師から准教授	助教から講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	2人	2人	0人	0人	1人	0人
看護学科	3人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人
栄養学科	1人	1人	0人	0人	2人	2人	3人	1人	1人	0人	0人	0人	0人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	4人	1人	0人	3人	2人	3人	3人	3人	3人	0人	1人	1人	0人

8. 事務組織

(2020年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職 員	臨時職員	パート職員	派遣職員	計
			うち管理職					
法人 業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学 業務系	総務課	3	0	5	1	1	0	10
	学務課	7	1	4	0	3	0	14
	図書情報課	4	1	3	1	0	0	8
	財務室	3	1	2	1	5	0	11
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	20	4	15	3	9	0	47
合 計		20	4	16	3	9	0	48

9. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	松下 真美	ω3脂肪酸のヒト褐色脂肪に対する作用とその抗メタボ効果
2	継続	基盤研究(C)	田中 さおり	SGA性低身長症児と家族のGH療法をシームレスに支える看護支援プログラムの開発
3	継続	基盤研究(C)	中田 かおり	正期産期の血圧の安定につながる妊婦の水とくらしに関する研究
4	継続	基盤研究(C)	吉田 礼維子	住民の視点による介護予防システムの評価指標の開発と有用性の検討
5	継続	若手研究	高桑 暁子	離乳食の新しい指標としてのαディフェンシンによる腸内細菌叢制御の解明
6	継続	基盤研究(C)	小澤 涼子	女性新規就農者が健康を獲得するプロセスの解明と健康増進プログラムの開発
7	継続	若手研究	伊藤 治幸	酸化ストレスマーカーを指標としたdaily hasslesの実態と評価
8	継続	若手研究	船木 沙織	原爆傷害調査委員会が実施した遺伝学調査における助産婦の活動
9	新規	基盤研究(C)	伊織 光恵	改訂版初経教育プログラムの構築による知的障害のある女子の母親への継続支援
10	新規	若手研究	小島 有沙	介護老人保健施設におけるスキナーテア予防策の構築 - 援助者の認識する発生状況から -

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	—	特別研究費	本宿 美砂子	専門職大学院における助産教育評価 第2報
2	—	特別研究費	長田 雅子	開業助産師の助産技術に影響する要因
3	—	特別研究費	小澤 芳子	認知症高齢者の在宅での最後の現状と家族の看取り体験
4	—	特別研究費	伊藤 治幸	日常生活習慣の程度が精神的ストレスに及ぼす影響 - 抗酸化力の違いからの評価 -
5	—	特別研究費	新関 幸子	静脈血採血における静脈怒張を促すマッサージの手技に関する検討
6	—	特別研究費	福田 早織	成人看護学における臨床看護師と連携したシミュレーション教育の有用性の検討
7	—	特別研究費	小野澤 かおり	出生前検査を受けられる子どもの側から考える検査の意味～看護系大学生を対象とした意識調査～
8	—	特別研究費	田中 裕子	老年看護学の学内演習におけるジグソー法導入による学習効果
9	—	特別研究費	鈴木 純子	地方在住高齢者の生活習慣病重症化予防における訪問栄養食事指導の効果検証
10	—	特別研究費	長谷川 めぐみ	妊婦の食の安全行動に関連する要因の検討

受託研究等

	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	奨学寄付	鈴木 純子	—	天使大学看護栄養学部栄養学科および看護栄養学研究科栄養管理栄養学専攻における教育研究の発展の寄与に対する助成
2	受託研究	鈴木 純子	—	血中中性脂肪の代謝メカニズムに関する研究
3	受託研究	吉田 真弓	—	日本人若年女性における血中ビタミンD濃度の実態調査及びビタミンD欠乏判定のための予測モデル開発研究

F D ・ S D の実施状況

分類	日時	参加人数	テーマ・内容
F D	随時		授業参観 教員各自が遠隔授業で使用した(する)動画又は対面授業の録画を選択してGoogle Classroomの授業参観ページにアップし、各教員は、Google Classroomにアップされた動画を視聴して参観する。
F D	2021年1月29日	15	教職課程F D テーマ：札幌市における栄養教諭の教員育成指標と教員育成機関への期待
F D	2021年1月29日	26	看護栄養学研究科F D テーマ：いのち・ケア・エスノグラフィー
F D	2021年2月10日 ～3月26日		助産研究科F D (全7回) 第1回 文部科学省による新カリキュラム方針について、解説と意見交換 第2回 文部科学省・厚生労働省の指定規則と授業内容の確認 第3回 全国助産師教育協議会による大学院コアカリキュラムと授業内容の確認 第4回 I C Mのコアコンペテンシーと授業内容の確認 現状カリキュラムについてMAPを用い教授内容の確認と健闘 第5回 修了時到達目標のための新カリキュラムの検討・作成 第6回 修了時到達目標のための新カリキュラムの検討・作成 第7回 効果的な教授法(講義・演習・実習)の学習
F D	2021年3月3日		看護栄養学研究科F D 内容：カリキュラム評価研修
F D S D	2020年10月2日+ オンライン開催	91	F D S D研修会 [講義] 建学の精神「愛をとおして真理へ」を改めて理解し、天使大学の教職員としていかにあるべきかを自分の仕事や学生対応をとおして見直す。 テーマ：人間の尊厳と教職員人材養成の目標—福音書と建学の精神を読み直す— [ワークショップ] 教員：アクティブラーニング型授業を具体的に設計できる。 職員：アクティブラーニング型授業を具体的に理解する。
S D	2020年12月21日 +オンライン開催	100	教職員修養会 テーマ：カトリック大学の強みとは
S D	2020年12月23日 +オンライン開催	74	S D研修会 1. 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について 2. 中期財務計画の見直しについて 3. 2020年度第2回補正予算について 4. 公的研究費の不正使用、研究活動における不正行為について

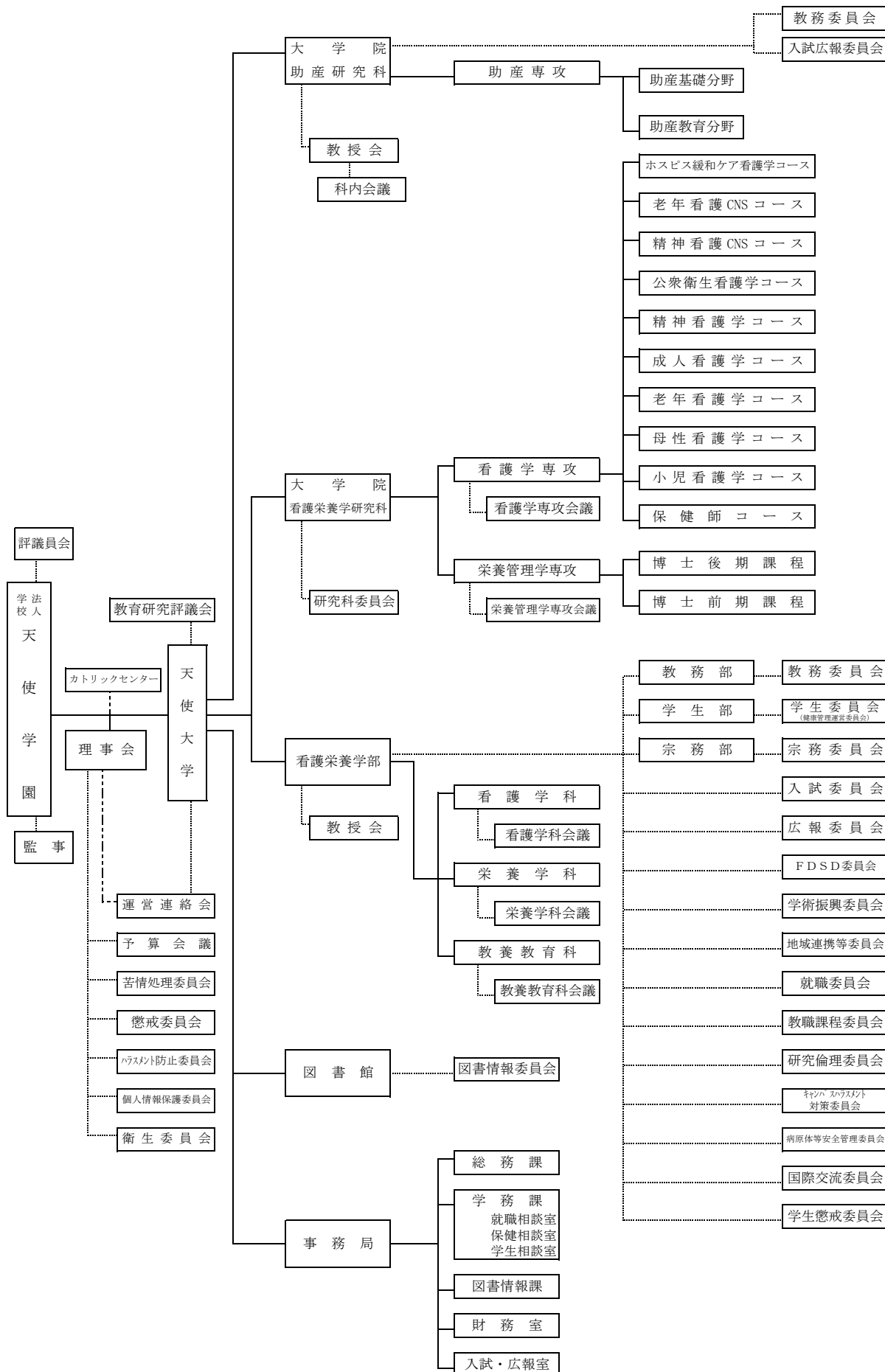
公開講座の実施状況

日時	テーマ	内容
2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施を中止。		

10. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



11. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
臨時 4月1日(水)	17名	審議事項 1 2020年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2020年度専任教員の新規授業科目の担当について 2 2020年度一般入学試験及び大学入試センター試験利用入学試験の追加合格について 3 2020年度校務分掌・委員会一覧について 4 2020年度教授会・研究科委員会の開催日程について 意見聴取事項 なし
第1回 4月13日(月)	18名	審議事項 なし 報告事項 1 休学・退学の許可について 2 2020年度校務分掌・委員会一覧について 3 2020年度科学研究費助成事業の交付状況について 4 新型コロナウイルス感染症に対応した授業時の留意事項について 5 新型コロナウイルス感染症に対応した学事暦(前期)の変更について 6 2020年度天使祭の中止について 7 2020年度学校医(内科医・精神神経科医)について 意見聴取事項 なし
第2回 (書面会議) 5月11日(月)	18名	審議事項 1 2020年度既修得単位の認定・単位授与について 2 2021年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2019年度 1年次生英語学力の変化 意見聴取事項 なし
第3回 6月8日(月)	18名	審議事項 1 2020年度授業科目の開講期の変更について 2 2020年度非常勤講師の委嘱および取消について 3 大学入学共通テスト利用選抜「英語」における配点の変更につ

		<p>いて</p> <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 休学の許可について 2 6月以降の授業について 3 「三密」対策を講じる場合の2021年度看護栄養学部 一般選抜学力試験における座席配置及び試験室について 4 2020年度オープンキャンパス実施計画の変更について 5 2020年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座の中止について 6 学生支援緊急給付金について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教員の採用に係る募集大綱について
第4回 7月13日(月)	18名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2020年度授業科目の開講期の変更について 2 2020年度非常勤講師の委嘱および委嘱取消について 3 2021年度入学者選抜日程及び学生募集要項の一部変更について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学業成績優秀者奨励金対象者について 2 休学の許可について 3 新型コロナウイルス感染症の影響による学事暦の具体的な対応について 4 7月以降の授業について 5 遠隔授業におけるトラブルについて 6 2020年度前期評価日程について 7 2020年度ミサの開催について 8 2020年度来学型オープンキャンパスの日程変更及び9月以降における広報活動への教員の派遣等について 9 2020年度教員免許状更新講習の実施について 10 主な講義室・実習室等の換気回数について 11 教員の退職について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 なし
第5回 9月14日(月)	18名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 名誉教授の選考について 2 2020年度授業科目の開講期等の変更について 3 2020年度非常勤講師の委嘱・取消について 4 履修規程の一部改正について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2021年度人事方針について 2 休学・退学の許可について

		<ul style="list-style-type: none"> 3 2020年度修養会・ステップアップ・セレモニーの実施について 4 専任教員の新規授業科目の担当について 5 2020年度後期授業実施の基本方針について 6 学生支援緊急給付金第2次募集の推薦結果について 7 2020年度体育祭の中止について 8 2020年度後期宗務行事予定について 9 2020年度後期アッセンブリー・アワーの中止について 10 天使大学ハラスメント防止および問題解決のためのガイドライン」および「天使大学キャンパス・ハラスメント相談員のための対応マニュアル」の改正について 11 2020年度の授業参観について 12 2020年度FDSD研修会について 13 育の質に係る客観的指標調査票の提出に向けて今後の課題について（事務局事項） 14 その他 <ul style="list-style-type: none"> ① FDSD委員会における取組進捗状況報告および今後の全学的取組への要望について ② 天使大学人材育成の目標・方針とFDSD実施計画の作成について <p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 教員の採用に係る募集大綱について
第6回 10月12日(月)	19名	<p>審議事項 なし</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 「天使大学における人材育成の目標・方針とFDSD実施計画」の策定とSD研修の実施について 2 教員評価制度の導入について 3 2020年度教職員修養会の開催について 4 2020年度戴帽式の実施について <p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 教員採用に係る教員募集大綱について
第7回 11月9日(月)	20名	<p>審議事項 なし</p> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 私立大学等改革総合支援事業への申請に向けた現状把握調査について 2 令和2年度教育の質に係る客観的指標調査票の得点について 3 2021年度学部入学生のパソコン必携について 4 2020年度授業科目の開講期の変更について

		<ul style="list-style-type: none"> 5 図書館利用状況について 6 天使大学卒業生の能力に関するアンケートについて 7 大学等における本年度後期等の授業の実施状況等について <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時 12月11日 (木)</p>	17名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2021年度学校推薦型選抜の合否判定について <p>報告事項 なし</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第8回 12月14日 (月)</p>	19名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2021年度非常勤講師の委嘱について 2 2021年度学事暦について 3 2022年度(令和4年度)入学式日程について 4 2022年度入学者選抜日程について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 教員の採用について 2 教員業績評価制度の導入及び教育研究費の見直しについて 3 アセスメントポリシーの検討体制について 4 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について 5 私立大学等改革総合支援事業の申請に係る担当委員会の追加について 6 SD研修の開催について 7 2020年度クリスマス関連行事の予定について 8 2020年度教職課程FD研修会の開催について 9 2022年度新カリキュラムの変更承認申請について 10 新型コロナウイルス感染症対策本部構成員の一部変更について <p>意見聴取事項 なし</p>
<p>第9回 1月14日(火)</p>	20名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2020年度非常勤講師の委嘱・取消および訂正について 2 2021年度入学式日程等について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 教員の採用及び昇任について 2 2019年度2・3月の宗務行事予定について 3 カトリックセンターのカトリック司祭の就任について 4 2019年度海外研修旅行の実施について 5 2019年度特別研究費による研究報告会の開催について

		6 専任教員の新規授業科目の担当について 7 教員の個人研究費の見直しに関する意見について 8 学校法人天使学園中期計画素案について 9 研究室の教員配置について 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について
第10回 2月9日(火)	20名	審議事項 1 2021年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について 報告事項 1 2020年度卒業証書・学位記授与式の実施概要について 2 2020年度戴帽式の実施の概要について 3 2020年度教育課程に関する学生の自己評価と教員の自己評価について 4 専任教員の新規授業科目担当について 5 2021年3月の文部科学省の省令改正に伴う教職課程における教育課程改正等の検討・決定等の対応日程案について 6 2020年度オープンキャンパスの実施について 7 2020年度卒業・修了感謝のミサについて 意見聴取事項 なし
臨時 2月24日(火)	20名	審議事項 1 2021年度一般選抜及び大学入学共通テスト利用選抜における合否判定について 2 2020年度卒業判定について 3 2020年度教職課程修了判定について 4 2021年度科目等履修生の受入れについて 5 2021年度授業科目の開講期の変更について 報告事項 なし 意見聴取事項 1 学生の懲戒について
第11回 3月16日(木)	18名	審議事項 1 2020年度進級判定について 2 2021年度既修得単位の認定・単位授与について 3 2021年度非常勤講師の委嘱・変更について 報告事項 1 休学・復学・退学の許可について 2 2021年度入学式の実施概要について 3 2021年度校務分掌一覧について 4 研究費に関する規程の一部改正について

		<ul style="list-style-type: none"> 5 2021 年度イースターの集い、前期週日のミサについて 6 公式ホームページにおける教員紹介ページの制作について 7 規程集の整理について 8 警備内容の変更について 9 印刷室業務について 10 専任教員の新規授業科目担当について 11 遠隔授業で行う成績評価に係る試験における不正防止のための留意事項について 12 2020 年度遠隔授業データ削除について <p>意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 編入学に関する規程の廃止について 2 教務委員会規程の一部改正について
--	--	--

大学院看護栄養学研究科委員会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月13日(月)	24名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2020 年度看護栄養学研究科目標について 2 研究科委員会構成員の追加について 3 2020 年度専任教員の新規授業科目の担当について 4 2020 年度特別講師の委嘱について 5 院生研究費の使用方法について <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2019 年度日本学生支援機構 大学院第一種奨学金返還免除推薦者について 2 2020 年度看護栄養学研究科開講科目一覧（看護学専攻）について 3 2020 年度看護学専攻学位論文研究計画書の指導教員について 4 2020 年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について 5 2020 年度栄養管理学専攻博士後期課程新入学生の研究指導教員について 6 2020 年度栄養管理学専攻博士後期課程研究指導教員の変更について 7 2020 年度栄養管理学専攻博士後期課程院生の研究副指導教員について <p>意見聴取事項 なし</p>
第2回 (書面会議) 5月11日(月)	29名	<p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 2021 年度学生募集要項について 2 2020 年度非常勤講師の委嘱および取消について 3 2020 年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査について 4 2020 年度看護学専攻専任教員の新規担当科目について

		報告事項 なし 意見聴取事項 なし
第3回 6月8日(月)	27名	審議事項 1 2020年度非常勤講師の委嘱取消について 2 院生研究費の使用方法について 報告事項 1 2020年度栄養管理学専攻学位論文研究計画書について 2 2020年度栄養管理学専攻学位論文中間発表会の開催について 3 2020年度栄養管理学専攻博士前期課程院生の研究副指導教員について 意見聴取事項 なし
第4回 7月13日(月)	27名	審議事項 1 2020年度授業科目の開講期の変更について 2 2021年度入学者選抜日程及び学生募集要項の一部変更について 3 2021年度推薦型選抜日における看護栄養学部授業開講について 4 新型コロナウイルス感染症に関する大学院生の救済措置について 5 研究の活性化についての検討 報告事項 1 院生の校舎利用について 意見聴取事項 なし
第5回 9月14日(月)	26名	審議事項 1 2020年度授業科目の開講期の変更について 2 2020年度非常勤講師の委嘱について 3 長期履修学生申請書の提出について 報告事項 1 2020年度後期看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について 意見聴取事項 なし
臨時 9月24日(木)	21名	審議事項 1 2021年推薦型選抜の合否判定について 報告事項 なし 意見聴取事項 なし

第6回 10月12日(月)	28名	<p>審議事項</p> <p>1 2020年度授業科目の開講期の変更について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2020年度看護学専攻課題研究論文の指導教員について</p> <p>2 2020年度後期看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
臨時 10月21日(水)	25名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度一般選抜(I期)の合否判定について</p> <p>報告事項</p> <p>なし</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第7回 11月9日(月)	25名	<p>審議事項</p> <p>1 長期履修学生申請書の提出について</p> <p>2 長期履修学生の履修期間変更について</p> <p>3 2020年度学位論文関連スケジュールについて</p> <p>4 2020年度学位論文提出予定者の主査及び副査について</p> <p>5 2020後期看護学専攻学位論文研究計画書の審査について</p> <p>報告事項</p> <p>1 休学の許可について</p> <p>2 2020年度看護学専攻FD研修会について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第8回 12月14日 (月)	27名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2 2021年度学事暦(案)について</p> <p>3 2022年度入学者選抜日程について</p> <p>4 2020年度学位論文関連スケジュールについて</p> <p>5 2020年度学位論文発表会(保健師コース)の開催について</p> <p>6 2020年度学位論文提出予定者の主査及び副査について</p> <p>報告事項</p> <p>1 2022年度新カリキュラムの変更承認申請について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第9回 1月18日(月)	26名	<p>審議事項</p> <p>1 2020年度からの栄養管理学専攻大学院生(博士前期課程)の研究費について</p> <p>報告事項</p> <p>大学院看護栄養学研究科授業料等の減額措置について</p>

		意見聴取事項 なし
臨時 1月27日(月)	25名	審議事項 1 天使大学大学院看護栄養学研究科学則、天使大学大学院看護栄養学研究科履修規程及び天使大学大学院看護栄養学研究科における単位互換に関する規程の一部改正について 報告事項 1 休学の許可について 意見聴取事項 なし
第10回 2月9日(火)	29名	審議事項 1 2021年度非常勤講師の委嘱について 2 2020年度特別講師の委嘱について 3 2021年度特別講師の委嘱について 4 2021年度栄養管理学専攻専任教員の新規担当科目について 報告事項 1 2020年度看護栄養学研究科FD研修会の開催について 意見聴取事項 なし
臨時 2月24日(水)	29名	審議事項 1 2020年度修了判定について 2 2021年度看護学専攻専任教員の新規担当科目について 3 2021年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2020年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について 意見聴取事項 なし
第11回 3月16日(火)	24名	審議事項 1 2021年度非常勤講師の委嘱について 2 2021年度長期履修学生申請の許可について 3 2020年度授業科目の開講期の変更について 4 2020年度非常勤講師の委嘱取消について 5 2021年度看護学専攻専任教員の新規授業科目担当について 6 博士前期課程院生の指導教員・副指導教員の変更について 7 2021年度栄養管理学専攻専任教員の新規授業科目担当について 報告事項 1 休学の許可について 2 院生研究費の残額繰越について 3 研究費に関する規程の一部改正について 4 2020年度自己点検・評価報告書について

		<p>5 警備内容の変更について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>1 天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について</p> <p>2 天使大学大学院看護栄養学研究科履修規程の一部改正について</p>
--	--	--

大学院助産研究科教授会

開催日時	出席人数	議 案 名
第1回 4月15日(水)	11名	<p>審議事項 なし</p> <p>報告事項</p> <p>1 2019年日本学生支援機構 大学院第一種奨学金返還免除推薦者について</p> <p>2 2020年度校務分掌・委員会一覧について</p> <p>3 大学院助産研究科教育課程連携協議会規程の制定及び委員について</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症に対応した授業時の留意事項について</p> <p>5 4月20日(月)以降の学生スケジュールについて</p> <p>6 2020年度学校医(内科医・精神神経科医)について</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
第2回 (書面会議) 5月13日(水)	11名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度学生募集要項について</p> <p>報告事項 なし</p> <p>意見聴取事項 なし</p>
第3回 6月10日(水)	11名	<p>審議事項 なし</p> <p>報告事項</p> <p>1 学生支援緊急給付金について</p> <p>2 評価結果に対する改善報告書の提出について</p> <p>3 6月以降の授業運営・時間割編成について</p> <p>4 教員の退職について</p> <p>意見聴取事項 なし</p>

第4回 7月15日(水)	10名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2020年度授業料科目開講期の変更について 2021年度入学者選抜日程及び学生募集要項の一部変更について 2021年度推薦型選抜日における看護栄養学部授業開講について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2020年度ミサの開催について <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第5回 9月9日(水)	11名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 助産研究科改革の理事長提案について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 学生支援緊急給付金第2次募集の推薦結果について 2020年度後期宗務行事予定について 2020年度の授業参観について 2020年度FDSD研修会について 教育の質に係る客観的指標調査票の提出に向けて今後の課題について <p>意見聴取事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 教員の採用に係る募集大綱について <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
臨時 9月24日(木)	11名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 2020年度助産教育分野の修了判定について 2021年度推薦型選抜の合否判定について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 「天使大学ハラスメント防止および問題解決のためのガイドライン」および「天使大学キャンパス・ハラスメント相談員のための対応マニュアル」の改正について <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第6回 10月7日(水)	12名	<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 助産研究科改革の理事長提案に対する回答について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 「天使大学における人材育成の目標・方針とFDSD実施計画」の策定とSD研修の実施について 2020年度教職員修養会の開催について 教員評価制度の導入について <p>意見聴取事項</p>

		なし
臨時 10月21日(水)	11名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度Ⅰ期選抜(助産基礎分野一般選抜・社会人選抜)の合否判定について</p> <p>報告事項</p> <p>なし</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第7回 12月9日(水)	9名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について</p> <p>2 2022年度入学者選抜日程について</p> <p>報告事項</p> <p>1 教員業績評価制度の導入及び教育研究費の見直しについて</p> <p>2 アセスメントポリシーの検討体制について</p> <p>3 学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について</p> <p>4 私立大学等改革総合支援事業の申請に係る担当委員会の追加について</p> <p>5 SD研修の開催について</p> <p>6 2020年度新型コロナウイルス感染症対策本部構成員の一部変更について</p> <p>7 2021年度予算編成方針について</p> <p>8 2022年度新カリキュラムの変更承認申請について</p> <p>9 新型コロナウイルス感染症対策本部構成員の一部変更について</p> <p>意見聴取事項</p> <p>なし</p>
第8回 1月27日(水)	11名	<p>審議事項</p> <p>1 2021年度Ⅱ期選抜(助産基礎分野一般選抜)の合否判定について</p> <p>2 2021年度非常勤講師の委嘱について報告事項</p> <p>3 2022年度(令和4年度)入学式等日程について</p> <p>4 2022年度入学者選抜日程について</p> <p>報告事項</p> <p>1 教員の採用及び昇任等について</p> <p>2 内部質保証と教学の関連図案について</p> <p>3 2020年度年報作成について</p> <p>4 2020年度教育課程に関する自己点検・評価について</p> <p>5 2021年度合唱コンクールの中止について</p> <p>6 2020年度1・2・3月の宗務行事予定について</p>

		意見聴取事項 なし
第9回 2月17日(水)	12名	審議事項 1 2021年度兼任教員について 2 2021年度非常勤講師の委嘱について 報告事項 1 2020年度卒業証書・学位記授与式の実施概要について 2 2020年度卒業・修了感謝のミサについて 3 文科省への変更承認申請等の準備状況について 意見聴取事項 1 教員の採用に係る募集大綱について その他 1 2022年度助産研究科教育分野の募集停止について
臨時 2月24日(水)	9名	審議事項 1 2020年度助産基礎分野の修了判定について 報告事項 なし 意見聴取事項 なし
第10回 3月17日(水)	11名	審議事項 1 2021年度兼任教員について 2 2021年度授業科目開講期の一部変更について 報告事項 1 休学の許可について 2 2021年度入学式の実施概要について 3 研究費に関する規定の一部改正について 4 2021年度校務分掌一覧について 5 2021年度授業科目担当者について 6 次年度以降の助産研究科教育分野担当教員について 7 規程集の整理について 8 警備内容の変更について 9 印刷室業務について 意見聴取事項 1 天使大学大学院院助産研究科校務分掌規程の一部改正について

12. 委員会構成一覧

2020年度校務分掌 委員会一覧

2020.12.1 現在

教育研究評議会	学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、 教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長	11	2年	総務課
内部質保証推進委員会	看護：大野、栄養：岡部、教養：堀井、看護学専攻：日沼、栄養管理学専攻：鈴木、 助産：今崎、事務局長	7	2年	総務課

【看護栄養学部関係】

◎看護学科長：吉田礼維子 ◎栄養学科長：中川幸恵 ◎教養教育科長：川口雄一

学部教授会	学長、看護学科：吉田(礼)・大野・小澤(芳)・菅原・高木・中田・服部・日沼・山本、 栄養学科：中川・菊池・清水・進藤・鈴木・山口、教養教育科：川口・新井・鹿内・堀井
-------	---

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	事務局
常設委員会	教務委員会	教務部長	教務部長：新井、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、 (教職課程委員長)、看護：伊藤、栄養：吉田(真)、教養：小原	7	2年	学務課
	学生委員会 (健康管理運営委員会)	学生部長	学生部長：小澤(芳)、看護：前田・船木、栄養：菊池・高桑、教養：目時 (健康管理運営委員会構成員) 学生委員会委員+助産研究科教務委員会委員長	6	2年	学務課
	宗務委員会	宗務部長	宗務部長：菅原、看護：重岡・田中(裕)、栄養：金澤・坂本、 教養：堀井、助産：杉田、事務局：菊池 カトリックセンター司祭：ケン・スレイマン	9	2年	学務課
	図書情報委員会	図書館長	図書館長：高木、看護：高橋(順)・伊織、栄養：西・志賀、 教養：目時、助産：三浦、図書情報課長：平野	8	2年	図書情報課
	入試委員会	山本	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護：柴田、栄養：金澤、 教養：(川口)、入試・広報室長：鈴木	7	2年	入試・ 広報室
	広報委員会	服部	看護：小澤(涼)・横山、栄養：峯岸・松下、 入試・広報室長：鈴木	6	2年	入試・ 広報室
	FDSD委員会	中田	看護：高木、栄養：岡部、教養：鹿内、助産：津田、 総務課長、総務課：松田、学務課：渡邊	8	2年	総務課
	学術振興委員会	堀井	看護：田中(さ)、栄養：山口、教養：堀井、助産：今崎	4	2年	図書 情報課
	地域連携等委員会	山口	看護：新関・若山、栄養：山口・長谷川・高桑、教養：(-)、助産：三浦	7	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護：臺野(-)、栄養：清水・岩淵、教養：目時	4	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当：新井、鹿内、長谷川、岩淵、松下	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長：本宿、看護栄養学研究科長：進藤、 学長指名：山本、鈴木、堀井、岩間、[学外：大久保岩男、久々湊晴 夫]	8	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント 対策委員会	日沼	学生部長：小澤(芳)、看護：日沼、栄養：山口、 助産：津田、事務局長：岩間	5	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	菊池	専門：菊池・岩淵、学校医：西村	3	2年	財務室
	国際交流委員会	高木	看護：高木、栄養：志賀、教養：小原、看栄研：鈴木、 助産：津田、事務局長：岩間	6	2年	総務課
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護： 、栄養： 、教養： 、助産：	5	2年	学務課
	名 称	構 成 員				
	看護：学生支援教員	1年：○前田、服部、新関、船木、重岡、小島、高橋(彩) 2年：○柴田、臺野、小澤(涼)、秋山、井口、小野澤、福田 3年：○高橋(順)、伊藤、中田、伊織、横山、田中(裕) 4年：○田中(さ)、日沼、大野、若山、中洞				
	栄養：学生支援教員	1年：○吉田、岡部、西、金澤、金吉 2年：○長谷川、進藤、坂本、松下、竹中 3年：○清水、菊池、鈴木、高桑、金野 4年：○山口、志賀、峯岸、岩淵、高橋(咲)				

※ ○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	構 成 員
教育講演会ワーキング	看護:秋山・高橋(彩)、栄養:坂本・岩淵 事務局:総務課

名 称	構 成 員
I R室	室長:菅原、室員:総務課 上村・学務課 星

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長:進藤正信 ◎看護学専攻主任:山本勝則 ◎栄養管理学専攻主任:鈴木純子

研究科委員会	看護学専攻:山本、大野、小澤(芳)、菅原、高木、中田、服部、日沼、吉田(礼)、堀井、伊藤、柴田、高橋(順)、小澤(涼)、前田、若山 栄養管理学専攻:進藤、鈴木、菊池、清水、中川、山口、鹿内、岩淵、岡部、志賀、西、長谷川、松下
--------	---

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長:本宿美砂子

助産研究科教授会	学長、研究科長、今崎、津田、臨床専任教員:高室、宮下、山本、兼担:進藤、高木、中田、堀井、山口
----------	---

区分	委員会名	委員長	委 員
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員
	教務委員会	本宿	(講義基礎)(学生・就職)今崎、(講義教育)本宿、(実習)津田三浦、杉田、長田
	入試広報委員会	今崎	本宿、今崎、津田

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	事務局
常設機関	学園運営連絡会	理事長	理事長、学長、研究科長:進藤・本宿、学科長:吉田(礼)・中川、科長:川口、学内理事/評議員:菅原・高木、監事:土産田、事務局長	11	1年	総務課
	(仮称)学園中期計画推進委員会	理事長	未定			
	苦情処理委員会	互選	理事3名、教職員2名、学外者1名	6		総務課
	懲戒委員会	理事長指名	その都度	5		総務課
	ハラスメント防止委員会	互選	理事:菅原、本間、白崎、佐藤、 教員:菊池、堀井 職員:梅村次長	7	2年	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、理事:本間、前田、事務局長	5	1年	総務課
	衛生委員会	事務局長	産業医:辻崎、衛生管理者(保健師):亀田、看護:若山、栄養:岡部、教養:川口、助産:今崎、事務局:局長・豊島	8	2年	財務室

名 称	センター長	構 成 員	人数	任期	事務局
カトリックセンター	学長	センター長:田畑学長、司祭:スレイマン、宗務担当理事:近藤理事・佐藤理事、宗務部長:菅原、宗教教育担当教員:堀井・小原	7	2年	学務課

13. 委員会の活動報告

2020年度 内部質保証推進委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：日沼千尋 委員：大野和美、岡部哲子、堀井泰明、鈴木純子、今崎裕子、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>4回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長の選任について ・ 内部質保証推進委員会の役割について ・ IR室の役割について ・ 客観的指標調査による補助金獲得にむけての課題と今後の活動について ・ 私立大学等改革総合支援事業への申請に向けて ・ 内部質保証委員会の今後の課題とスケジュールについて ・ アセスメント・ポリシーの検討委員及び事務局について ・ 天使大学における内部質保証と教学の関連図（案）について ・ 私立大学等改革総合支援事業への申請に向けた現状把握調査の回答について ・ 2021年度活動計画書（案）について ・ 2021年度予算見積内訳書（案）について ・ 2020年度年報について ・ 2020年度教育課程に関する自己点検・評価について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 卒業生の能力に関するアンケート結果について ・ 教育の質にかかる客観的指標調査票得点について ・ 卒業生の能力に関するアンケートの公表について 	

2020年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：新井英志 委員：吉田礼維子、中川幸恵、川口雄一、伊藤治幸、吉田真弓、小原琢</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>定例 15 回、臨時 1 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対応としての授業実施にあたっての留意事項について ・新型コロナウイルス感染症対応としての時間割編成と使用教室について ・遠隔授業の実施回数について ・緊急事態宣言措置解除後の授業再開に向けた各学科・科の対応について ・新型コロナウイルス感染症の影響による学事暦の具体的な対応について ・履修規程（GPA活用、履修取消）について ・非常勤講師の委嘱等について ・特別講師の委嘱等について ・実習指導教員の委嘱等について ・学事暦（案）について ・新入生オリエンテーション(案)について ・時間割編成のガイドライン・編成条件について ・既修得単位の認定・単位の授与について ・看護学科2・3年生実習科目の履修判定について ・栄養学科3年生実習科目の履修判定について ・教職課程修了判定について ・卒業判定について ・科目等履修生の受け入れについて ・授業概要（シラバス）の作成について ・「教育の質に係る客観的指標調査」教務委員会担当分について ・内部質保証に係る学生の自己評価アンケートと教員の自己評価票について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業サポート体制について ・遠隔授業におけるトラブルについて ・土曜・祝日開講に伴う事務局出勤体制について ・発熱・風邪症状による出校停止に関する報告書について ・授業資料の設置場所について ・教室の収容人数について ・遠隔授業サポートに係るアルバイト予算申請について 	

2020年度 学生委員会活動報告

委員会組織	委員長：小澤芳子 委員：前田朝子、船木沙織、菊池直哉、目時光紀
委員会開催数	9回（2021年2月26日現在）
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度 役割分担について ・2020年度 学生部長不在時の代理について ・学生の新型コロナウイルス感染防止への対応について ・経済的に新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への支援について ・新型コロナウイルス感染防止のための部活動ガイドラインについて ・オフィスアワーについて ・2020年度 天使祭の中止について ・2020年度 体育祭の中止について ・2020年度 「学生生活についての調査」について ・2021年度 活動計画書について ・2021年度 予算について ・2021年度 合唱コンクール、天使祭、体育祭等の実施について ・2021年度 アssenブリー・アワー 学生委員会プログラムについて ・2020年度 葦の会役員リーダー研修会について ・2020年度 葦の会役員と学生委員会の交流会について ・2021年度 海外研修について ・ベルックスの学生玄関の警備体制について ・学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について ・2021年度 学校医（内科医・精神神経科医）の委嘱について ・2020年度年報（学生委員会）について ・2020年度 卒業証書・学位記授与式 アカデミックガウンの貸出について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生への新型コロナウイルス感染防止等の情報提供について ・学生の現況について ・学びの継続のための「学生支援緊急給付金」について ・学生への電話連絡（2020年4月実施）について ・札幌市 福祉避難場所等への学生等ボランティアの申込者について ・葦の会 新型コロナウイルス感染防止プロジェクトについて ・飲食店におけるクラスター発生の防止に向けた取組の徹底について 	

- ・天使大学同窓会給付奨学金（第2次募集）について
- ・2020年度 クラス委員について
- ・2020年度 卒業アルバムの作成、卒業祝賀会について
- ・2021年度 学事暦について
- ・天使大学学生支援緊急給付金について
- ・「集会届・施設使用願（学生用）」の運用の変更について

2020年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原邦子 委員：ケンスレイマン、重岡妙、田中裕子、金澤康子、坂本洋子、堀井泰明、杉田樹美、菊池史恵</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗教行事、ミサの実施について <ul style="list-style-type: none"> イースターの集い 前期修了感謝ミサ 死者追悼のミサ クリスマス点灯式、クリスマスキャロルの放送 クリスマスの集い 新年のミサ 灰の儀式（灰の水曜日） 退職する教職員への感謝ミサ 卒業・修了感謝のミサ 週日のミサ ・委員長不在時の委員長代理について ・新型コロナウイルス禍における2020年度活動方針、目標の見直しについて ・アッセンブリー・アワーについて ・チャペルアワーの実施について ・2021年度宗務委員会活動計画書及び予算見積内訳書について ・2021年度アッセンブリー・アワー利用希望調査について ・2020年度自己点検評価について ・学校法人天使学園中期計画について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度宗務委員会活動計画書及び予算見積内訳書について ・2020年度第1回補正予算の提出について ・第36回カトリック医療関連学生セミナー2020 in 新潟の延期について ・ミサの実施報告について ・2020年度教職員修養会について ・ミサの年間スケジュールについて ・学生修養会について 	

2020年度 図書情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：高木廣文 委員：高橋順子、伊織光恵、西隆司、志賀一希、三浦恵津子、目時光紀、平野敦子
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Web 授業等の可能性に関する教育研究評議会からの検討依頼について ・2020 年度前期補正予算提出事項 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限ガイドラインに基づく図書館及び情報処理室の運用について(案) ・2020 年 7 月 1 日(水)からの図書館の運用について ・2020 年 7 月 1 日(水)からの情報処理室の運用について ・2020 年 8－9 月の図書館開館について ・2020 年 9 月末－12 月の図書館開館予定について ・看護学科長からの図書館利用に関する要望について ・第 1 回～第 4 回後援会寄贈図書の選定について ・新型コロナウイルス感染症対策本部からの情報処理室等の利用制限の緩和について ・2021 年度洋雑誌及びデータベース等の継続について ・2020 年 7～10 月の図書館利用状況について ・2020 年 11～12 月の図書館開館予定について ・2021 年度 1～3 月の図書館開館予定(案) ・2021 年度和雑誌の継続購読について ・2021 年度情報処理室予算内訳書(案) <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度図書資料費予算について ・2020 年度活動計画及び予算について ・2021 年度図書館活動計画書案について ・2020 年度図書館及び情報処理室活動計画について ・グループ学習室三室の利用について ・2020 年度図書館予算 ・2021 年度図書館予算内訳書案について ・2020 年度情報処理室予算 ・学生アルバイトの 1 月募集について(年度当初不補充のため) ・看護学科事例研究保管場所について(旧図書館前 A V 視聴室) ・2020 年度図書資料費予算配分表と執行開始について ・2019 年度図書資料費執行状況報告 ・2020 年度図書資料費執行状況 ・授業目的公衆送信補償金制度利用に係る教育機関名の届け出について 	

- ・メディカルオンラインにおける大量ダウンロードの注意喚起について
- ・サーバー室移設に伴う学内システム停止について
- ・第4回図書情報委員会後の決定事項について
- ・看護学科事例研究の電子化について
- ・2020年度後期補正予算の提出について
- ・大学図書館の現状アンケートについて(10月1日時点調査)
- ・日本看護図書館協会加盟館対象アンケート結果報告について

2020年度 入試委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山本勝則 委員：吉田礼維子、中川幸恵、川口雄一、柴田和恵、金澤康子、鈴木敏郎</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長代理について ・ 2021年度入学 学生募集要項について ・ 2021年度入学者選抜における新型コロナウイルス対策について（意見聴取） ・ 2021年度入学 学校推薦・社会人選抜入試問題出題者について ・ 小論文・面接試験評価項目一覧について ・ 大学入学共通テスト利用選抜「英語」の配点比率の変更について ・ 学力試験の座席配置及び試験室について ・ 大学入試センター利用試験の入試結果の公表について ・ 入学者選抜が実施できない場合の合否判定について（意見聴取） ・ 2021年度天使大学入学者選抜について ・ 学校推薦型選抜及び社会人選抜の日程について ・ 一般選抜及び大学入学共通テストにおける試験科目・日程の変更について ・ アドミッション・ポリシーにおける適応性審査について ・ 2021年度学校推薦型・社会人選抜実施要領・監督要領（案）について ・ 2021年度天使大学入学者選抜追試験対象者の範囲設定等について ・ 2021年度入学手続要項について ・ 2021年度入学大学入学共通テストについて ・ 2022年度入学者選抜候補日について ・ 2021年度学校推薦型の点検評価について ・ 2021年度入試委員会活動計画について ・ 2021年度入試委員会予算について ・ 2021年度私立大学等総合支援事業について ・ 大学入学共通テスト説明会プログラムについて ・ 2021年度入学者選抜 一般選抜（特例追試験）問題表紙等について ・ 2021年度学校推薦型・社会人選抜小論文問題の選定について ・ 2021年度一般選抜実施要領・監督要領について ・ 追加合格決定のプロセスについて ・ 中期計画について ・ 2021年度一般選抜学力試験 得点調整について ・ 2021年度「大学入学共通テスト」、「一般選抜」に関する事後アンケートについて 	

[主な報告事項]

- ・2020年度入試委員会活動計画について
- ・2020年度入試委員会予算について
- ・2020年度入学入試問題の著作権処理について
- ・2021年度入学 一般選抜問題事前・事後チェックの業務委託書について
- ・監督者人選に伴う事前確認等について
- ・2021年度入学 予備問題について
- ・2021年度入学 推薦型・一般選抜・予備問題作成スケジュールについて
- ・北海道胆振東部地震、平成30年度7月豪雨および熊本地震における災害救助法が適用されている地域で被災した2021年度選抜試験志願者の検定料等の免除について
- ・2021年度一般選抜全体説明会について（案内）
- ・2021年度大学入学共通テスト配置（案）について

2020年度 広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：服部容子 委員：小澤涼子、横山聖美、松下真美、峯岸夕紀子、鈴木敏郎
委員会開催数	7回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度オープンキャンパス年度計画の変更について ・2020年度広報戦略の変更について ・2020年度前期学報について ・本学学生への大学院説明会について ・2020年度来学型オープンキャンパスについて ・7月以降の広報活動について ・2020年度前期学報進捗状況 ・広報活動勉強会に代わる資料配布について ・2020年度来学型オープンキャンパスについて ・次年度大学案内制作業者の確認 ・受験生への公開授業について ・在学生による高校訪問の実施について ・2020年度第3回来学型オープンキャンパスについて ・来学型オープンキャンパスの振り返り ・オープンキャンパス配布グッズの件 ・2022年大学案内の製作について ・進学相談会等の担当について ・学報「天使」vol.30号について ・アンジリーク・コア以外の学生会館との提携について・2021年度予算について ・2021年度オープンキャンパス日程及びコンテンツについて ・第4回オープンキャンパス実施大綱について ・2021年度私立大学等改革総合支援事業について ・2020年度オープンキャンパス ・2021年度オープンキャンパス実施大綱について ・2020年度中期計画実施状況調査回答について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員への広報活動協力要請について ・2021年大学案内（2020年6月発行）進捗について ・撮影について ・広報活動協力不可学生について 	

- ・ Web オープンキャンパスについて
- ・ 2020 年度大学院看護栄養学研究科の広報計画について
- ・ 2021 年大学案内（2020 年 6 月発行）完成
- ・ 講義・演習の取材協力について
- ・ アンジェリーク・コア運営事業者変更
- ・ 札幌啓成高等学校進路通信のコラム執筆について
- ・ ダイヤ書房Dガイドランスについて
- ・ 大学認知用ポスターの制作について
- ・ 入学者選抜ガイドの発送について
- ・ Web オープンキャンパスについて
- ・ 2020 年度大学院看護栄養学研究科の広報活動について
- ・ アンジェリーク・コア運営事業者の変更について
- ・ 学報「天使」 vol. 29 号の制作状況について
- ・ 出張講義状況について
- ・ 第 1 回 Web オープンキャンパス参加者数について
- ・ 学報「天使」 vol. 29 号完成報告
- ・ 広報勉強会の資料動画について
- ・ 2021 年度入学者選抜の志願動向（現状分析）について
- ・ 学報「天使」 vol. 30 号について
- ・ 2022 年大学案内進捗状況
- ・ 出張講義の派遣について
- ・ 本学ホームページ記載の「新型コロナウイルス感染症に対する本学の対応について」について
- ・ 学報「天使」 vol. 30 号進捗状況
- ・ 大学案内進捗状況
- ・ 中学生訪問依頼

2020年度 F D S D委員会活動報告

委員会組織	委員長：中田かおり 委員：高木廣文、岡部哲子、鹿内信善、津田万寿美、梅村直基（10月まで） 豊島利昭（11月から）、松田ゆかり、渡邊泰央
委員会開催数	5回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度のFD及びSD研修について ・外部研修会への教職員参加の推薦について ・FDSD活動のための外部研修会への委員の派遣について ・2020年度FDSD研修会について ・「2020年度教育の質に係る客観的指標調査票進捗確認」をSD研修として取り扱うことについて ・私立大学等改革総合支援事業への申請に向けた現状把握調査について ・2021年度のFDSD研修会について ・本委員会以外が企画するFD研修会について ・2021年度活動計画及び予算について ・学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について ・本委員会以外が企画するFDSD研修会について ・2020年度授業参観報告書（案）について ・2020年度自己点検評価報告書について ・2020年度授業評価アンケート実施結果報告について ・2020年度助産研究科のFD研修について [主な報告事項] <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度北海道FD・SD協議会総会について ・学生による授業評価アンケートの今後の予定について ・2020年度の授業参観について ・2020年度の授業参観の実施状況について ・FDSD研修会参加状況とアンケート集計結果について ・後期授業評価アンケートの今後の予定について ・私立大学等改革総合支援事業の申請に係る担当の追加について ・北海道FD・SD協議会情報交換会の中止について 	

2020年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井泰明 委員：今崎裕子、山口敦子、田中さおり</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度年報：自己点検・評価報告書「IV. 研究活動・研究環境」について ・2020年度学術振興委員会活動計画及び予算書について ・紀要第21巻第1号投稿原稿の査読委員等について ・延期した2019年度特別研究費による研究報告会の開催について(数回検討) ・紀要第21巻第2号の発刊及び巻号数の見直しについて ・2020年度紀要の発刊について ・紀要第21巻第1号の査読委員及び査読・再査読結果について ・紀要第21巻第2号の査読委員及び査読・再査読結果について ・紀要第21巻第1号、第2号の発刊について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀要第20巻第2号の発刊について 	

2020年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山口敦子 委員：新関幸子、若山好美、長谷川めぐみ、高桑暁子、三浦恵津子、佐々木雅彦</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>3回、紙面審議1回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ・委員長不在時の委員長代理について ・2020年度第2回補正予算について ・本学webサイトにおける地域連携等活動紹介ページについて（案） ・2021年度活動計画書（案）について ・2021年度予算見積内訳書（案）について ・東区5者連携事業「健康づくりパネル展」（2021.1）への協力について ・天使大学Webサイト 地域連携等活動ページの作成について ・2020年度年報 自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度活動計画書・予算について ・2019年度年報 自己点検・評価報告書について ・今年度東区5者連携事業「東区健康・スポーツまつり」の中止について ・地域連携プラットフォームについて ・2020年度 地域連携事業活動報告書について ・2021年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座担当教員について 	

2020年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水真理 委員：臺野美奈子、岩淵絵里子、目時光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>6回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の委員長代理について ・役割分担について ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う就職面談方法について ・2020・2021年度就職活動支援（就職ガイダンス・セミナー等）の実施について ・新就職相談室（4号館1階4113）のレイアウトについて ・就職相談室ニュース第1～3号の発行について ・求人開拓パンフレット「採用ご担当者の皆様へ」の発行について ・「就職活動と就職支援に関する調査」について ・2019年度卒業・修了生の「就職状況調査」について ・就職活動ガイドブック2021年度版の発行について ・自己点検評価について ・2021年度活動計画・予算について ・天使大学における内部質保証と教学の関連図について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画及び予算内訳見積書、第1回、第2回補正予算について ・就職内定状況・就職活動支援状況等の報告について ・就職ガイダンス・セミナー報告、就職活動支援情報等の配信について ・2020年度就職相談員の紹介について ・看護学科の病院採用試験の受験方法について ・学内企業説明会報告について ・求人訪問対応報告について ・出張関係について ・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について ・2019年度「就職活動と就職支援に関する調査」の結果について ・2019年度就職先への礼状の発送について ・2018年度卒業・修了生の就職状況調査送付及び調査結果について ・求人開拓について ・学校法人天使学園中期計画について ・2021年度アッセンブリー・アワー利用希望調査について 	

2020年度 教職課程委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：新井英志 委員：鹿内信善、岩淵絵里子、長谷川めぐみ、松下真美</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規程の改正について(履修規程、教職課程履修規程) ・ 教職課程における質保証に係る対応について ・ 2021年度以降の教職課程科目担当者および教職課程委員会体制について ・ 中期計画(案)に関する教職課程委員会の意見について ・ 科目等履修生(教職課程)の受入れについて ・ サッポロさとらんどでの体験学習について ・ 非常勤講師および特別講師の委嘱について ・ 教員免許状更新講習について ・ 2020年度教職課程修了判定 ・ 2021年度栄養教育実習履修判定 ・ 2021年度授業科目の担当者について ・ 2021年度活動計画書および予算について ・ 2021年度新入生オリエンテーションについて ・ 2021年度教職課程履修の手引について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020年度活動計画および予算について ・ 教職課程履修者数および教職課程履修取消者について ・ 教員採用試験結果について ・ 教員採用選考検査のための対策ゼミについて ・ 栄養学科3年生の面接の実施予定について ・ 全私教協研究交流集会の参加報告について ・ 教職課程FD研修会について 	

2020年度 研究倫理委員会活動報告

委員会組織	委員長：堀井泰明 委員：本宿美砂子、進藤正信、山本勝則、鈴木純子、岩間久哉、 久々湊晴夫（学外委員）、大久保岩男（学外委員）
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> ・ 天使大学における人を対象とする研究倫理申請について（審査件数 32 件） ・ 2021 年度予算について ・ 天使大学における研究倫理審査のためのチェックリストについて ・ 天使大学における人を対象とした研究倫理申請書の様式変更について [主な報告事項] <ul style="list-style-type: none"> ・ 2020 年度研究倫理委員会開催日程について ・ 倫理審査終了後の研究期間変更などの変更届について ・ 他の研究機関への試料・情報の提供に関する届出書について ・ 研究倫理研修会の開催日について 	

2020年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：日沼千尋 委員：小澤芳子、山口敦子、津田万寿美、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス・ハラスメント対策委員会2020年度年間活動計画案について ・「天使大学ハラスメント防止および問題解決のためのガイドライン」および「天使大学キャンパス・ハラスメント相談員のための対応マニュアル」の修正について ・天使大学キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程について ・2021年度活動計画書について ・2021年度予算見積内訳書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度予算について ・2020年度ハラスメントに関する相談窓口について 	

2020年度 病原体等安全管理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菊池直哉 委員：菊池直哉、岩淵絵里子、西村光弘</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度自己点検評価報告書の原稿について ・病原体等譲渡申請書について <p>[主な報告事項]</p> <p>なし</p>	

2020年度 国際交流委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高木廣文 委員：志賀一希、小原琢、鈴木純子、津田万寿美、岩間久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項] ・学校法人天使学園中期計画の進捗状況調査について（メール審議）</p> <p>[主な報告事項] なし</p>	

2020年度 助産入試広報委員会活動報告

委員会組織	委員長：今崎裕子 委員：本宿美砂子、津田万寿美
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度 助産研究科オープンキャンパスについて（日程変更等） ・2020年度 助産研究科パンフレットの件 ・助産研究科チラシデザイン及び発行数の確認 ・2020年度 雑誌の掲載号について ・アッセンブリー・アワーの件（毎週月曜日 13：10～14：40） ・2021年度入学者 助産研究科学生募集要項について ・2021年度助産研究科選抜試験について ・2020年8月22日実施オープンキャンパスについて ・2020年度入学試験過去問題集の作成・取扱について ・2020年9月19日（土）助産研究科推薦型選抜実施要領・監督要領について ・2021年度入学者に向けた広報活動について ・新入生アンケートについて ・助産研究科推薦型選抜合否判定について ・助産研究科Ⅰ期選抜（一般・社会人）実施要領・監督要領について ・2020年度活動計画について ・助産研究科Ⅰ期選抜（一般・社会人）合否判定について ・2021年度助産研究科入試広報委員会活動報告書について ・2021年度助産研究科予算申請書について ・2021年度助産研究科オープンキャンパス日程について ・2022年度入学者向け助産研究科学校案内について ・2021年度大学院助産研究科一般選抜（Ⅱ期）合否判定について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度 助産研究科入試・広報委員会予算について ・2021年度入学 助産研究科学生募集要項の進捗状況について ・2021（令和3）年度入学者選抜における学内入構禁止について ・助産研究科入学者選抜合格者発送 入学手続要項について ・2020年度入学 新入生アンケート集計結果について ・2021年度入学者選抜 一般選抜（Ⅱ期）について 	

14. 図書館利用状況

2020年度入館者統計

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	0	0	0	807	686	790	2,126	2,469	1,786	1,920	1,546	314	12,444

2020年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	0	0	0	253	143	430	700	348	221	117	36	20	2,268
栄養学科	0	0	0	47	371	84	225	192	268	88	69	48	1,392
助産研究科	0	0	0	246	105	118	160	128	58	79	70	53	1,017
看護栄養学 研究科	0	0	0	26	44	28	34	28	56	17	21	12	266
科目等履修生・ 研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	123	177	133	147	125	174	141	122	134	101	98	130	1,605
学外者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	123	177	133	719	788	834	1,260	818	737	402	294	263	6,548

15. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	0	3	4	50	57	0	132	86	55	273	330
4301室(夜間)	0	0	0	5	5	0	0	2	3	5	10
4302室(日中)	1	30	47	348	426	11	224	205	472	912	1,338
4302室(夜間)	0	1	3	63	67	0	18	59	34	111	178
総計	1	34	54	466	555	11	374	352	564	1,301	1,856

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	4	4	0	0	81	12	93	97
10	0	6	19	156	181	1	16	42	129	188	369
11	0	19	8	191	218	4	100	36	171	311	529
12	0	3	16	84	103	2	40	27	159	228	331
1	1	2	8	14	25	4	203	51	53	311	336
2	0	3	3	8	14	0	12	94	37	143	157
3	0	1	0	9	10	0	3	21	3	27	37
総計	1	34	54	466	555	11	374	352	564	1,301	1,856

16. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	大学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差
校地面積	30,390	6,910	23,480
校舎面積	18,058	6,402	11,656

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	41	928.53	2階建
2号館	2020 (R2)	1	5,393.45	6階建
3号館	1963 (S38)	54	1,977.11	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	46	2,428.96	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	37	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	17	2,668.40	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	15	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	13	1,855.69	4階建 (耐震構造)
中沼グランド 更衣室等	1992 (H 4)	25	79.38	平屋建
計	—	—	18,057.91	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(㎡)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当たり面積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	14	1,947	共用	1,634	778	2.50	看護栄養学研究科と共用
	演習室	15	673	共用	373	820	0.82	大学院と共用
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	大学院と共用
看護栄養学研究科	講義室							
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	看護栄養学部、助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	135	42	5.40	
	学生学習室	3	441	共用	250	820	0.54	看護栄養学部、看護栄養学研究科と共用
体育館/講堂		1	725					

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	2302看護実習室	100	416	4.16
	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	262	4.37
	生理学実験室・微生物学実験室	65	397	6.11
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.17
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,701	3.62

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積(m ²)	収容人数(総数)	収容人員1人当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	18	2,874	783	3.67	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	19	3,048	823	3.70	—	—

17. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	74.4	79.9
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△11.7	△13.8
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.6	93.2
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	96.4	78.9
5	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資金}}$	96.7	102.9
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	80.7	90.9
7	資産構成はどうか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	72.0	82.3
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	63.3	65.9
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	7.9	13.2
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	27.9	17.6
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	37.7	45.6
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	9.6	7.4
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.0	0.1
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	257.9	185.9
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	282.5	325.4
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.4	26.0
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資金}}$	14.7	10.5
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資金}}$	10.8	9.5
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	25.5	20.0
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	34.3	25.0

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は収容定員500～1000名の保健系学部を有する全国12法人の2018年度決算額の平均。

事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	1.4	1.5
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	1.5	△2.2
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	1.7	△2.2
4	収入構成はどうか なっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	77.4	36.4
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.9	2.1
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	17.1	5.5
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	60.0	53.3
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	32.7	39.1
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.5	9.4
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.2	0.2
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	12.6	8.1
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	11.9	5.7
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	77.6	146.4
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	112.9	107.3

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	13.7	8.6

2020年度 内部質保証推進委員会

委員長：日沼 千尋（看護学専攻）

委員：大野 和美（看護学科）

岡部 哲子（栄養学科）

堀井 泰明（教養教育科）

鈴木 純子（栄養管理学専攻）

今崎 裕子（助産研究科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2020年度

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院 看護栄養学研究科
天使大学大学院 助産研究科

年 報
—自己点検・評価報告書—

2021年6月完成
自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>
